

**第三期小樽市子ども・子育て支援事業計画
ニーズ調査結果報告書**

令和6年3月

小 樽 市

目次

1	子ども・子育て支援事業計画の策定に係るニーズ調査の実施.....	- 1 -
	(1) 調査目的	- 1 -
	(2) 調査対象	- 1 -
	(3) 調査方法	- 1 -
	(4) 回収結果	- 1 -
	(5) 備考	- 1 -
2	就学前児童を対象としたニーズ調査の結果.....	- 2 -
	1. お子さんご家族の状況	- 2 -
	2. 子どもの育ちをめぐる環境	- 5 -
	3. 母親の就労状況	- 9 -
	4. 父親の就労状況	- 15 -
	5. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況.....	- 20 -
	6. お子さんの土曜日・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望.....	- 30 -
	7. お子さんの病気の際の対応	- 33 -
	8. お子さんの不定期の教育・保育事業や、宿泊を伴う一時預かり等の利用...	- 37 -
	9. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況.....	- 44 -
	10. お子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方.....	- 47 -
	11. 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について.....	- 56 -
	12. その他	- 70 -
	《資料編》 調査票について	- 80 -

1 子ども・子育て支援事業計画の策定に係るニーズ調査の実施

(1) 調査目的

- ・本調査は、「第三期小樽市子ども・子育て支援事業計画」の策定に当たり、教育・保育事業及び子育て支援事業の「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握し、需要量の見込みなどを算定する基礎資料とするために実施したものです。

(2) 調査対象

- ・小学校就学前児童の保護者 2,267件

(3) 調査方法

- ・就学前児童の保護者・・・Web アンケートでの回答
- ・調査期間は、令和5年12月1日～12月24日

(4) 回収結果

	送付数	回収数	回収率
就学前児童の保護者	2,267	970	42.8%
(参考) 平成30年11月調査時	2,000	890	44.5%

(5) 備考

- ・質問に対して無回答であったものを「無回答」と表記している。割合は、無回答分も含めている。
- ・本文中の表における比率は、少数第2位を四捨五入したため、単数回答の項目でも個々の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・それぞれのグラフ中に表記した「n=〇〇」のnは、回答者総数（もしくは質問対象者総数）を示す。
- ・問2における子どもの年齢について誤回答が2件あり、当該設問にはどちらも無回答とする処理を行った。

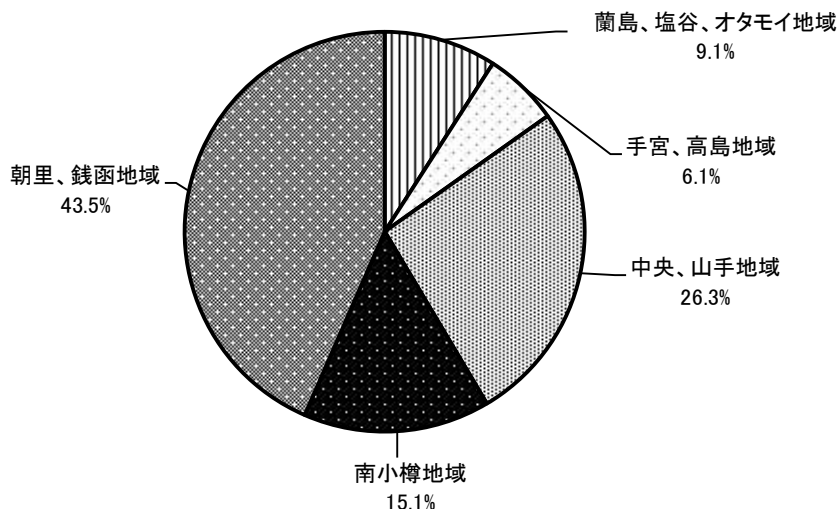
2 就学前児童を対象としたニーズ調査の結果

1. お子さんご家族の状況

【お住まいの地域】

問1 お住まいの住所はどちらになりますか。

住まいの地域は、「朝里、銭函地域」(43.5%)が最も多く、次いで「中央、山手地域」(26.3%)、「南小樽地域」(15.1%)、「蘭島、塩谷、オタモイ地域」(9.1%)、「手宮、高島地域」(6.1%)となった。



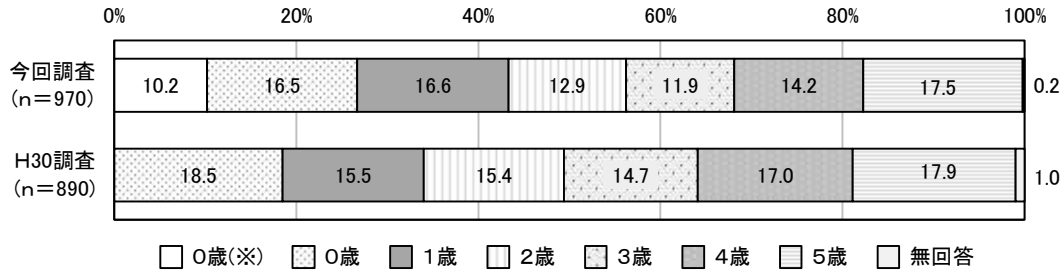
■地域の内訳

蘭島、塩谷、オタモイ地域	1. 蘭島、2. 忍路、3. 桃内、4. 塩谷、5. オタモイ、6. 幸、7. 長橋、8. 旭町
手宮、高島地域	9. 手宮、10. 末広町、11. 梅ヶ枝町、12. 錦町、13. 清水町、14. 豊川町、15. 石山町、16. 色内3丁目、17. 祝津、18. 赤岩、19. 高島
中央、山手地域	20. 稲穂、21. 花園、22. 色内1・2丁目、23. 港町、24. 堺町、25. 東雲町、26. 山田町、27. 相生町、28. 入船1・2丁目、29. 富岡、30. 緑、31. 最上、32. 松ヶ枝、33. 入船3～5丁目、34. 天狗山
南小樽地域	35. 住ノ江、36. 住吉町、37. 有幌町、38. 信香町、39. 若松、40. 奥沢、41. 天神、42. 真栄、43. 潮見台、44. 新富町、45. 勝納町、46. 若竹町、47. 築港
朝里、銭函地域	48. 桜、49. 船浜町、50. 朝里、51. 新光、52. 望洋台、53. 新光町、54. 朝里川温泉、55. 張碓町、56. 春香町、57. 桂岡町、58. 銭函、59. 見晴町、60. 星野町

【お子さんの年齢】

問2 お子さんの生年月をお答えください。(令和5年4月1日現在)

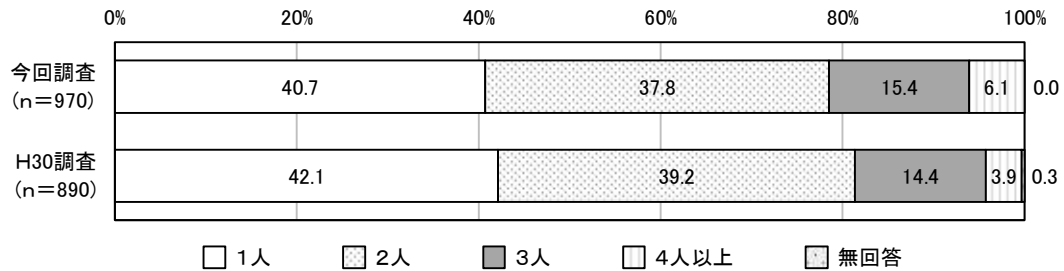
子どもの年齢は、0歳(※令和5年4月以降生まれ)が10.2%、0歳が16.5%、1歳が16.6%、2歳が12.9%、3歳が11.9%、4歳が14.2%、5歳が17.5%となった。



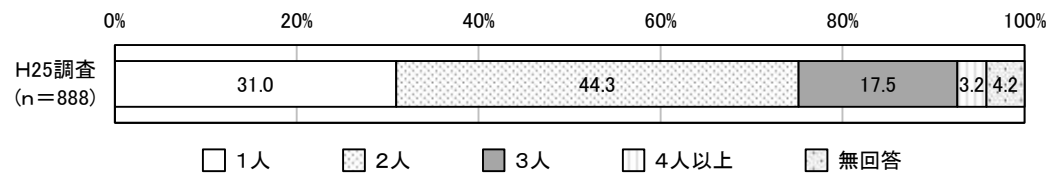
【きょうだいの数】

問3 お子さんは何人きょうだいですか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。

きょうだいの数は「1人」(40.7%)が最も多く、次いで「2人」(37.8%)となった。



【参考：H25調査】

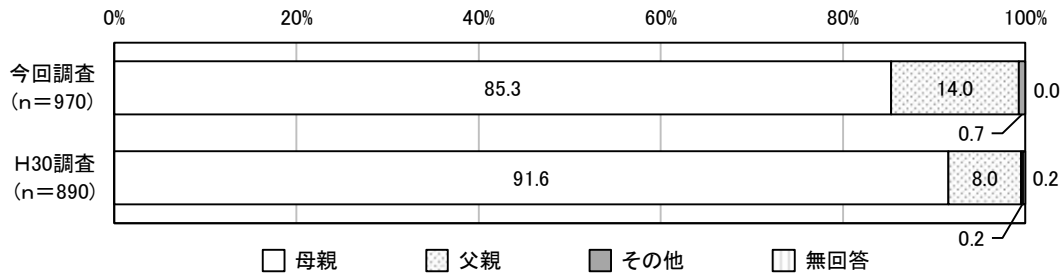


H30調査と比較すると、兄弟の数の割合に大きな変化は見られない。
H25調査の結果を含めると、H25～H30にかけて一人っ子世帯の割合が二人きょうだい世帯の割合を上回り、その状況が続いている。

【調査票の回答者】

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

回答者は「母親」が85.3%、「父親」が14.0%となった。

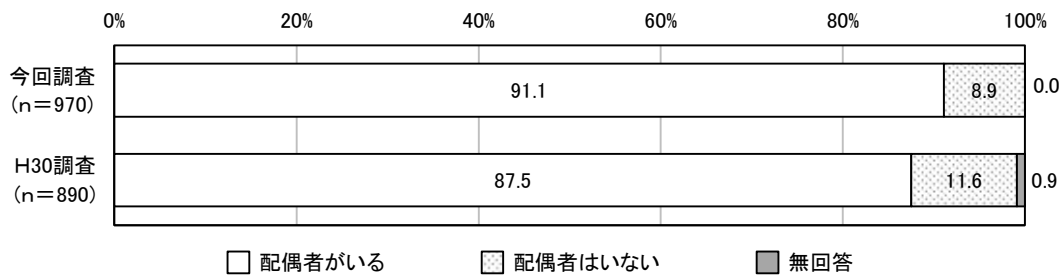


H30 調査と比較すると、「父親」が6.0%増加した。

【回答者の配偶関係】

問5 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。

回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が91.1%、「配偶者はいない」が8.9%となった。

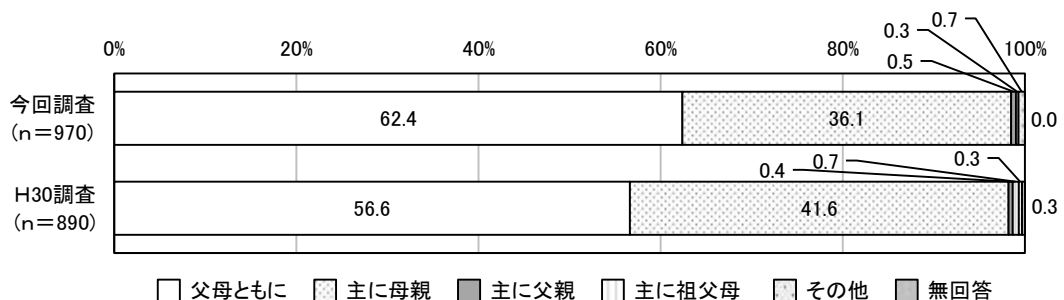


H30 調査と比較すると、「配偶者がいる」が3.6%増加した。

【子育てを主に行っている方】

問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。（お子さんからみた関係で1つ選択）

子育てを主に行っている方は、「父母ともに」(62.4%)が最も多く、次いで「主に母親」(36.1%)となった。



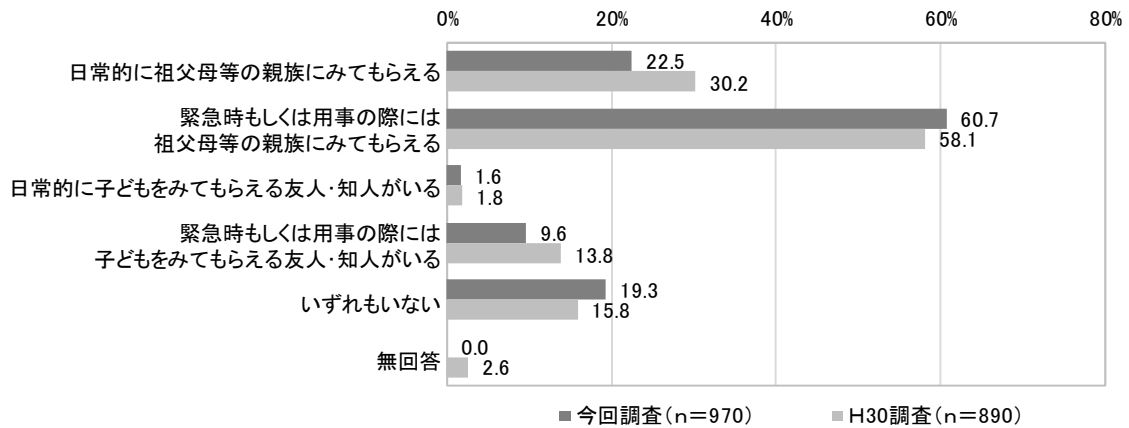
H30 調査と比較すると、「父母ともに」が5.8%増加し、「主に母親」が5.5%減少した。

2. 子どもの育ちをめぐる環境

【お子さんを預かってもらえる親族・知人の有無】

問7 日頃、お子さんをみてもらえる親戚・知人はいますか。預かってもらうことに関する状況とあわせてお答えください。（当てはまるものすべてを選択）

お子さんを預かってもらえる人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(60.7%)が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(22.5%)となった。



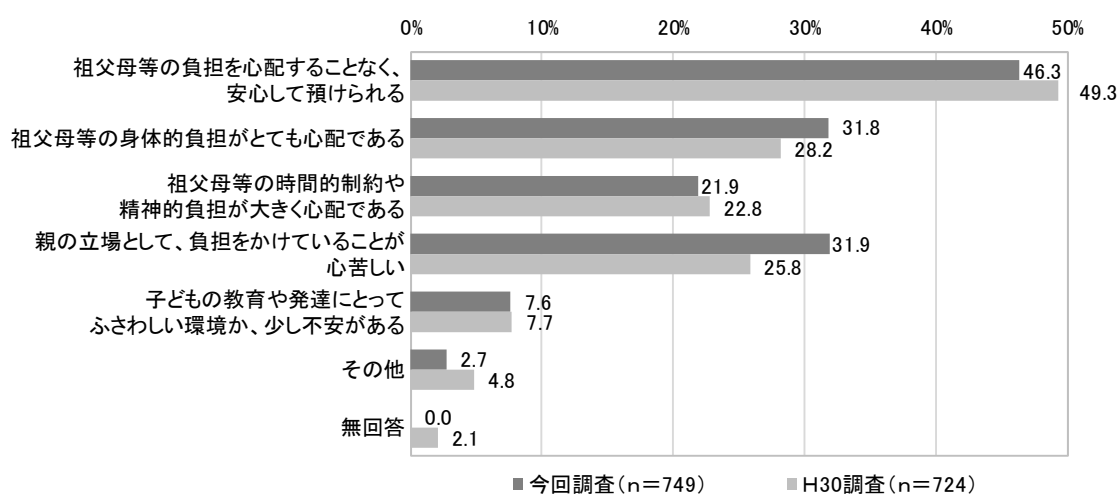
H30 調査と比較すると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が7.7%減少し、「いずれもない」が3.5%増加した。

【預かり先の状況（祖父母等の親族）】

問7 預かってもらうことに関する状況をお答えください。（祖父母等の親族）
（当てはまるものすべてを選択）

◆回答対象者：問7で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」を選択した方

「祖父母等の親族に預かってもらえる」方の預かってもらうことに関する状況は、「祖父母等の負担を心配することなく、安心して預けられる」（46.3%）が最も多く、次いで「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（31.9%）、「祖父母等の身体的負担がとても心配である」（31.8%）、「祖父母等の時間的制約や精神的負担が大きく心配である」（22.9%）となった。



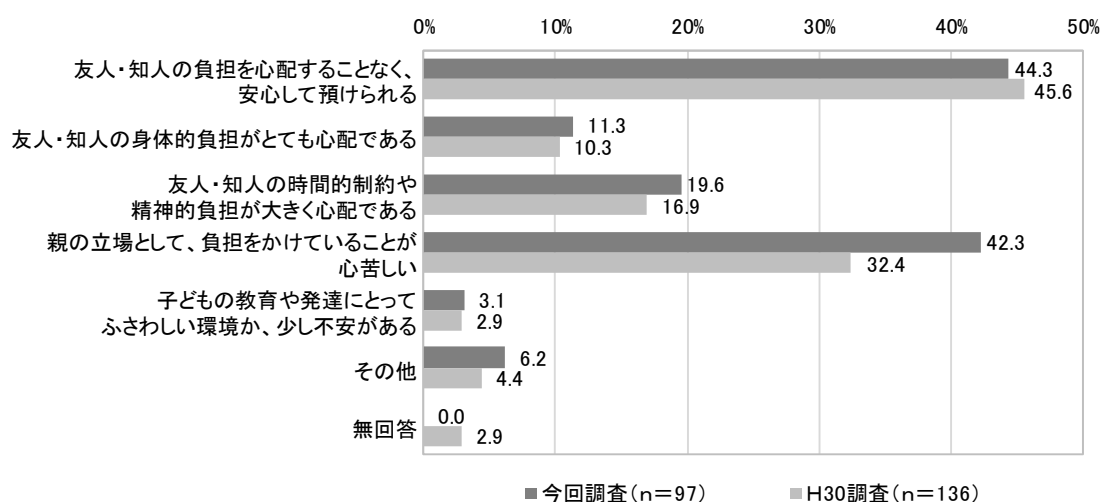
H30 調査と比較すると、「祖父母等の身体的負担がとても心配である」が 3.6%、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 6.1%増加した。

【預かり先の状況（友人・知人）】

問7 預かってもらうことに関する状況をお答えください。（友人・知人）
（当てはまるものすべてを選択）

◆回答対象者：問7で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」を選択した方

「友人・知人に預かってもらえる」方の預かってもらうことに関する状況は、「友人・知人の負担を心配することなく、安心して預けられる」（44.3%）が最も多く、次いで「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（42.3%）、「友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である」（19.6%）となった。

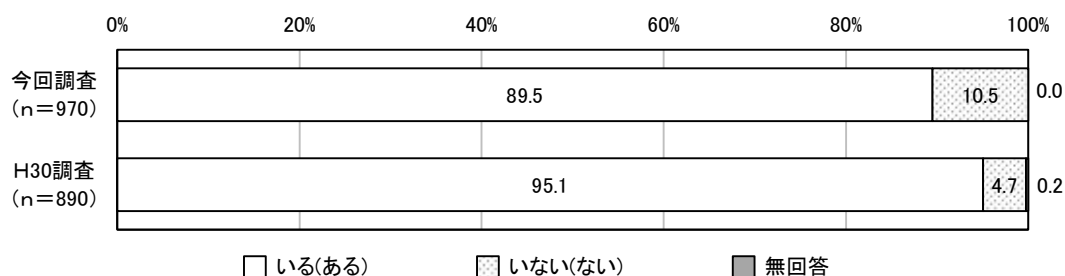


H30 調査と比較すると、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が9.9%増加した。

【相談相手（場所）の有無】

問8 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人（場所）はいますか（ありますか）。

子育てについて気軽に相談できる人（場所）の有無は、「いる（ある）」が89.5%、「いない（ない）」が10.5%となった。



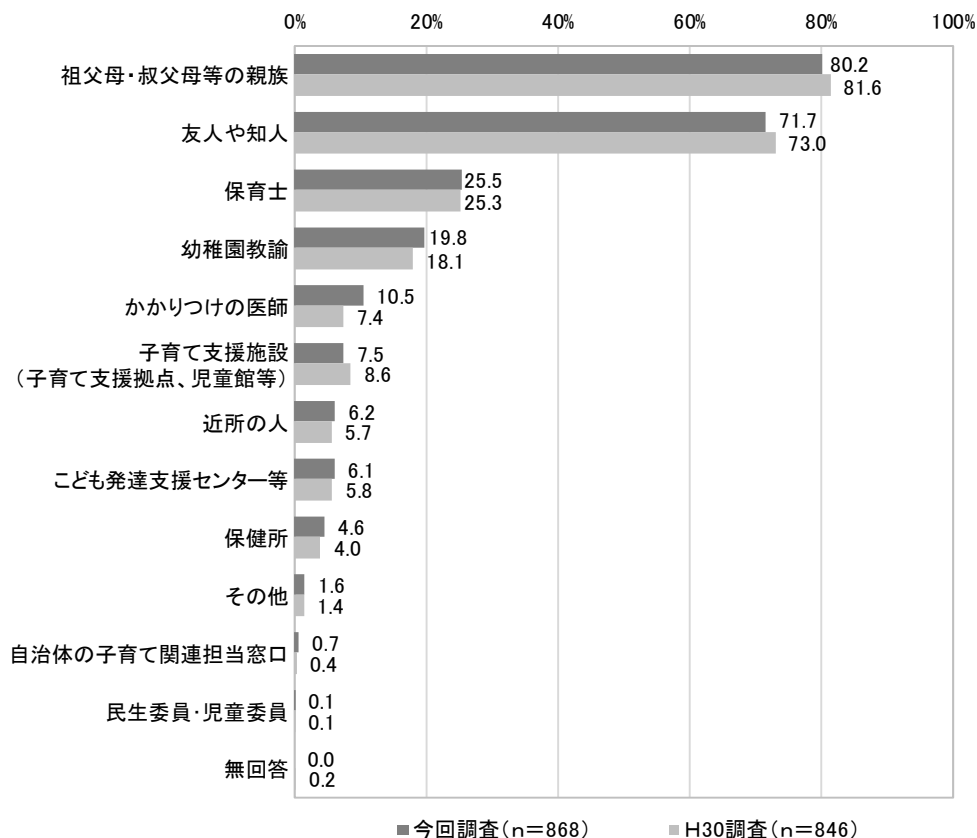
H30 調査と比較すると、相談できる人（場所）が「いない（ない）」が5.8%増加した。

【相談相手（場所）】

問8 相談先についてお答えください。（当てはまるものすべてを選択）

◆回答対象者：問8 相談相手（場所）の有無で「いる（ある）」を選択した方

子育てについて気軽に相談できる人（場所）が「いる（ある）」方の相談相手（場所）は、「祖父母・叔父母等の親族」（80.2%）が最も多く、次いで「友人や知人」（71.7%）、「保育士」（25.5%）となった。



H30 調査と比較すると、「かかりつけの医師」が 3.1%、「幼稚園教諭」が 1.7%増加し、「祖父母・叔父母等の親族」が 1.4%、「友人や知人」が 1.3%減少した。

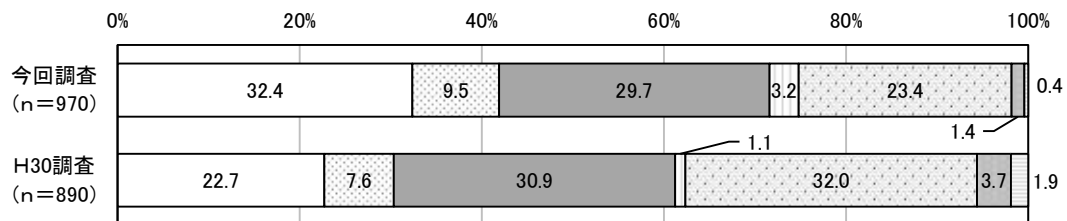
3. 母親の就労状況

問9 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。
（父子家庭などで、母親がいない場合は回答不要です）

【就労状況（母親）】

問9-1 母親の「就労状況」と「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合はもっとも多いパターンについてお答えください。
※フルタイムとは1週5日程度、1日8時間程度の就労を、パート・アルバイト等とはそれ以外の就労をいいます。

母親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（32.4%）が最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中ではない」（29.7%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（23.4%）となった。



- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

H30 調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が9.7%増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が8.6%減少した。

【クロス集計】「母親の就労状況」は、1歳以上になると「フルタイム」、「パート・アルバイト等」に関わらず、産休・育休・介護休業中ではないと答えた方の割合が高くなっている。

現在の就労状況（母親）

	合計	フルタイム で就労して おり、産 休・育休・ 介護休業 中ではない	フルタイム で就労して いるが、産 休・育休・ 介護休業 中である	パート・ア ルバイト等 で就労して おり、産 休・育休・ 介護休業 中ではない	パート・ア ルバイト等 で就労して いるが、産 休・育休・ 介護休業 中である	以前は就 労していた が、現在は 就労してい ない	これまで就 労したこと がない	無回答	
全体	970 100.0%	314 32.4%	92 9.5%	288 29.7%	31 3.2%	227 23.4%	14 1.4%	4 0.4%	
年齢	0歳(R5.4以降)	99 100.0%	2 2.0%	36 36.4%	6 6.1%	12 12.1%	41 41.4%	2 2.0%	-
	0歳	160 100.0%	42 26.3%	37 23.1%	33 20.6%	10 6.3%	36 22.5%	2 1.3%	-
	1歳	161 100.0%	56 34.8%	8 5.0%	40 24.8%	4 2.5%	52 32.3%	1 0.6%	-
	2歳	125 100.0%	39 31.2%	7 5.6%	44 35.2%	2 1.6%	30 24.0%	2 1.6%	1 0.8%
	3歳	115 100.0%	59 51.3%	-	35 30.4%	1 0.9%	17 14.8%	2 1.7%	1 0.9%
	4歳	138 100.0%	52 37.7%	3 2.2%	58 42.0%	-	21 15.2%	3 2.2%	1 0.7%
	5歳	170 100.0%	62 36.5%	1 0.6%	72 42.4%	2 1.2%	30 17.6%	2 1.2%	1 0.6%
	無回答	2 100.0%	2 100.0%	-	-	-	-	-	-

※網掛け部分については各集計の最大値を表示

【就労日数と就労時間（母親）】

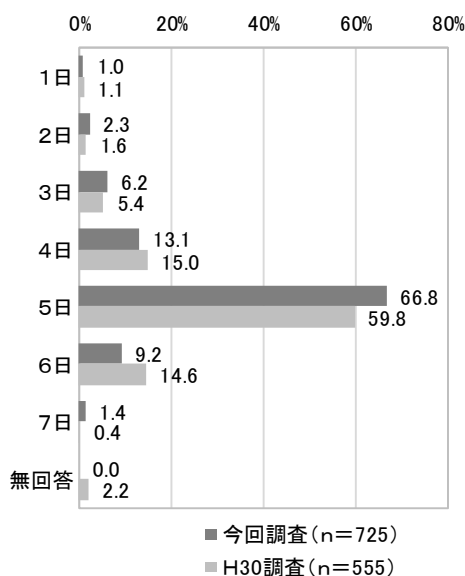
問 9-1 1 週当たりの就労日数と 1 日当たりの就労時間をお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況でお答えください。

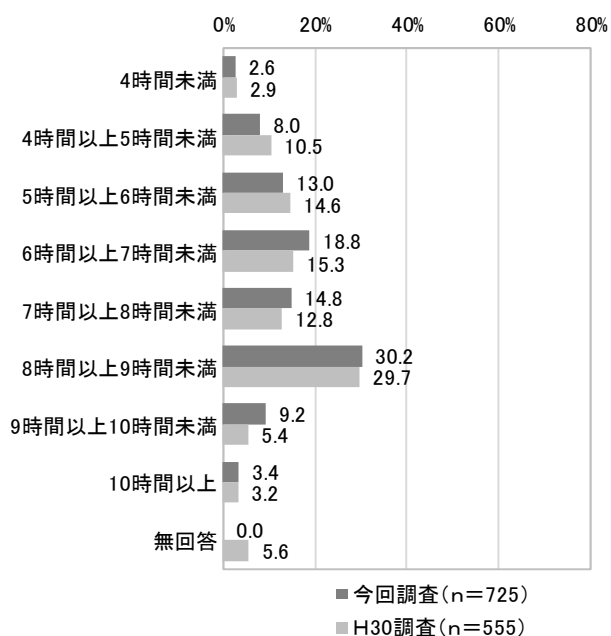
◆回答対象者：問 9-1 就労状況（母親）で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を選択した方

1 週当たりの就労日数は、「5 日」（66.8%）が最も多く、次いで「4 日」（13.1%）となった。
 1 日当たりの就労時間は、「8 時間以上 9 時間未満」（30.2%）が最も多く、次いで「6 時間以上 7 時間未満」（18.8%）、「7 時間以上 8 時間未満」（14.8%）となった。

< 1 週当たりの就労日数 >



< 1 日当たりの就労時間 >

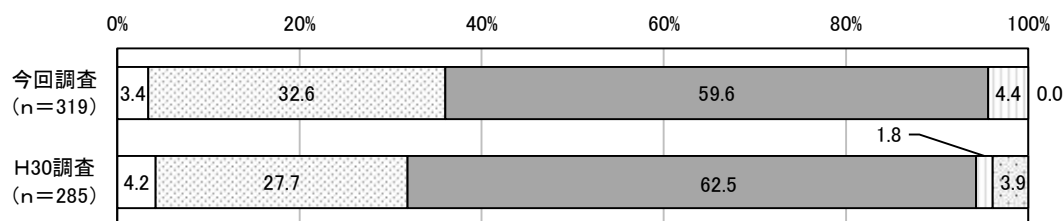


H30 調査と比較すると、1 週当たりの就労日数は「5 日」が 7.0% 増加し、1 日当たりの就労時間は、「6 時間以上 7 時間未満」が 3.5%、「7 時間以上 8 時間未満」が 2.0%、「9 時間以上 10 時間未満」が 3.8% 増加した。

【フルタイムへの転換希望（母親）】

問 9-2 問 9-1 で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」または「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を選択した方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。

パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」（59.6%）が最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、1年以内に実現できる見込みはない」（32.6%）となった。



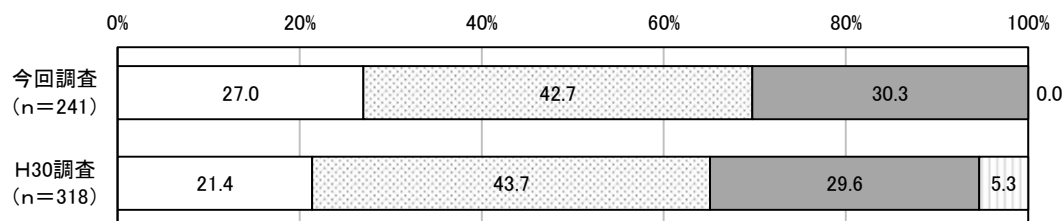
- フルタイムへの転換希望があり、1年以内に実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、1年以内に実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

H30 調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望はあるが、1年以内に実現できる見込みはない」が4.9%増加した。

【就労希望（母親）】

問 9-3 問 9-1 で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」を選択した方にうかがいます。
就労したいという希望はありますか。

現在就労していない方の就労希望は、「1年以上先に就労したい」（42.7%）が最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（30.3%）となった。



- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年以上先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答

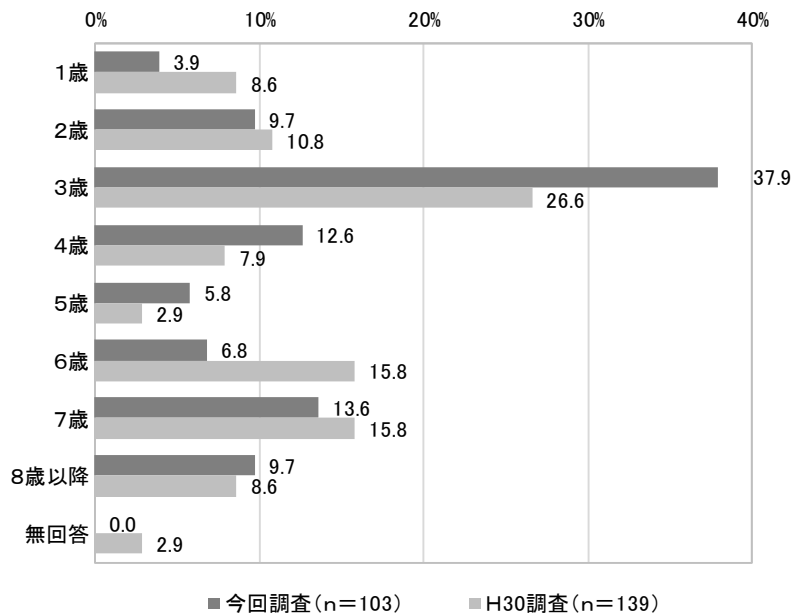
H30 調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が5.6%増加した。

【就労希望時のお子さんの年齢（母親）】

問 9-3 一番下のお子さん何歳になったら就労したいか、お子さんの年齢をお答えください。

◆回答対象者：問 9-3 就労希望（母親）で「1年以上先、一番下の子どもが（ ）歳になったら就労したい」を選択した方

「1年以上先に就労したい」と回答した方の希望する就労時期は、一番下の子どもが「3歳」になったころ（37.9%）が最も多く、次いで「7歳」（13.6%）となった。



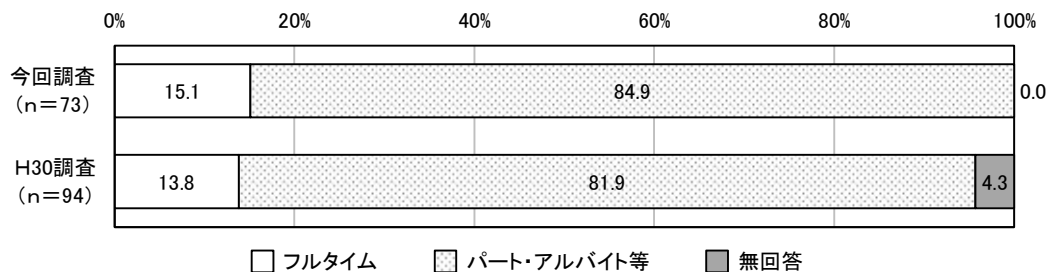
H30 調査と比較すると、「3歳」が 11.3%増加し、「6歳」が 9.0%減少した。

【希望する就労形態（母親）】

問 9-3 希望する就労形態についてお答えください。

◆回答対象者：問 9-3 就労希望で「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」を選択した方

「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方の希望する就労形態は、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）」（84.9%）、「フルタイム」（15.1%）となった。



H30 調査と比較すると、「フルタイム」が 1.3%増加し、「パート・アルバイト等」は 3.0%減少した。

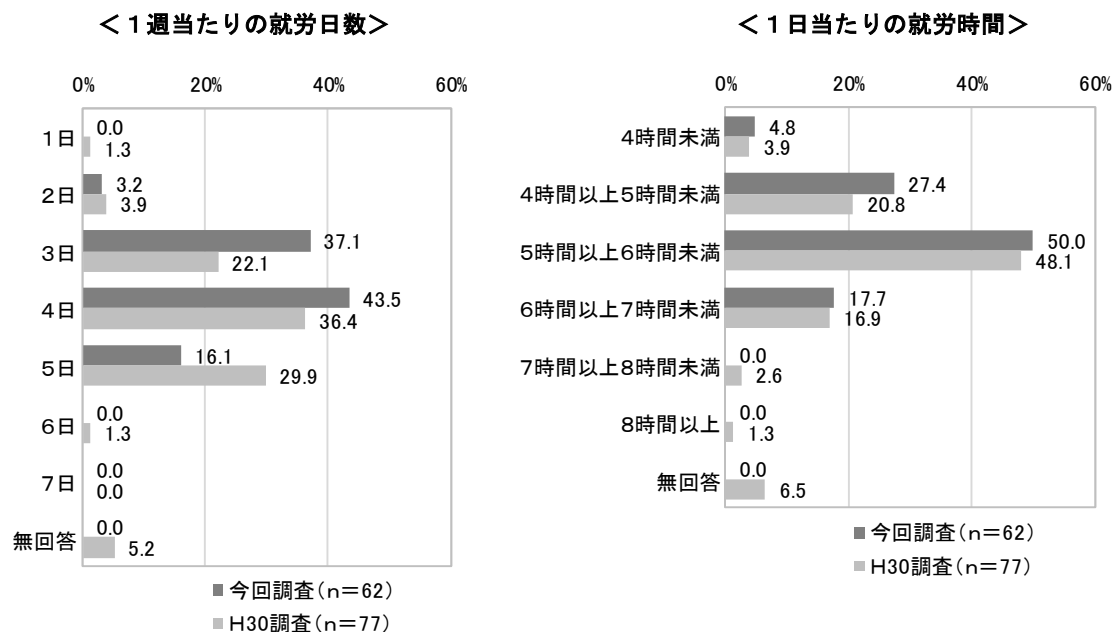
【パート・アルバイト等として希望する就労日数と就労時間（母親）】

問 9-3 希望する 1 週当たりの就労日数と 1 日当たりの就労時間をお答えください。

◆回答対象者：問 9-3 希望する就労形態（母親）で「パート・アルバイト等」を選択した方

「パート・アルバイト等」と回答した方の希望する 1 週当たりの就労日数は、「4 日」(43.5%) が最も多く、次いで「3 日」(37.1%) となった。

希望する 1 日当たりの就労時間は「5 時間以上 6 時間未満」(50.0%) が最も多く、次いで「4 時間以上 5 時間未満」(27.4%) となった。



H30 調査と比較すると、希望する 1 週当たりの就労日数は「3 日」が 15.0%、「4 日」が 7.1%増加し、「5 日」は 13.8%減少した。希望する 1 日当たりの就労時間は「4 時間以上 5 時間未満」が 6.6%、「5 時間以上 6 時間未満」が 1.9%増加し、「7 時間以上 8 時間未満」が 2.6%減少した。

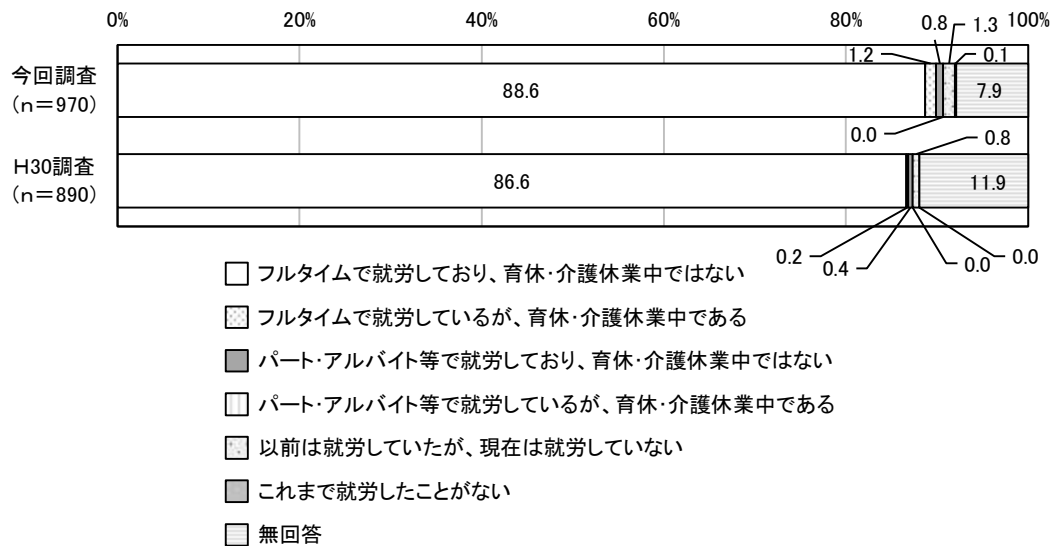
4. 父親の就労状況

問 10 父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。
（母子家庭などで、父親がいない場合は回答不要です）

【就労状況（父親）】

問 10-1 父親の「就労状況」と「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合はもっとも多いパターンについてお答えください。
※フルタイムとは1週5日程度、1日8時間程度の就労を、パート・アルバイト等とはそれ以外の就労をいいます。

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」（88.6%）と圧倒的に多く、他は「以前は就労していたが、現在は就労していない」（1.3%）、「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」（1.2%）、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」（0.8%）、「これまで就労したことがない」（0.1%）となった。また、「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」は、該当者がいなかった。



H30 調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 2.0%増加した。

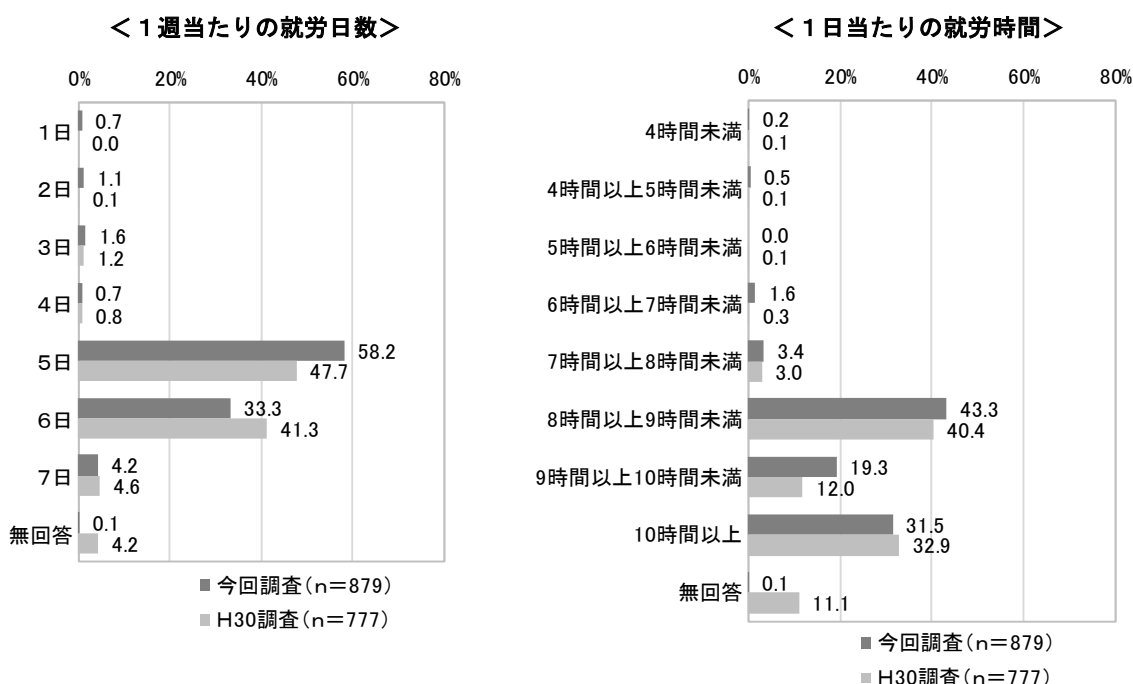
【就労日数と就労時間（父親）】

問 10-1 1 週当たりの就労日数と 1 日当たりの就労時間をお答えください。

※育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況でお答えください。

◆回答対象者：問 10-1 就労状況（父親）で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」、「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を選択した方

1 週当たりの就労日数は、「5 日」（58.2%）が最も多く、次いで「6 日」（33.3%）となった。
1 日当たりの就労時間は「8 時間以上 9 時間未満」（43.3%）が最も多く、次いで「10 時間以上」（31.5%）となった。

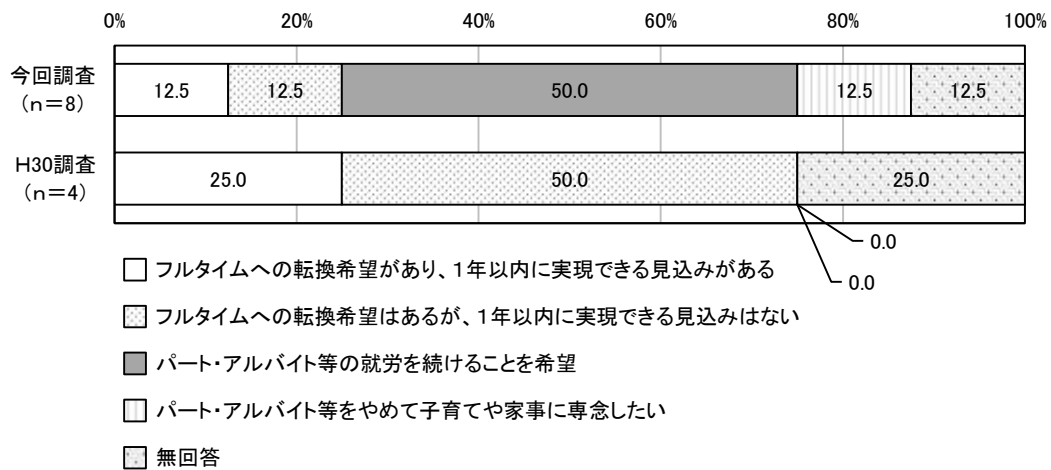


H30 調査と比較すると、1 週当たりの就労日数では「5 日」が 10.5%増加し、「6 日」が 8.0%減少した。1 日当たりの就労時間は「8 時間以上 9 時間未満」が 2.9%、「9 時間以上 10 時間未満」が 7.3%それぞれ増加し、「10 時間以上」は 1.4%減少した。

【フルタイムへの転換希望（父親）】

問 10-2 問 10-1 で「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」または「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」を選択した方にかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。

パート・アルバイト等で就労している方（8名）のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が4名（50.0%）、「フルタイムへの転換希望があり、1年以内に実現できる見込みがある」が1名（12.5%）、「フルタイムへの転換希望はあるが、1年以内に実現できる見込みはない」が1名（12.5%）、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が1名（12.5%）となった。

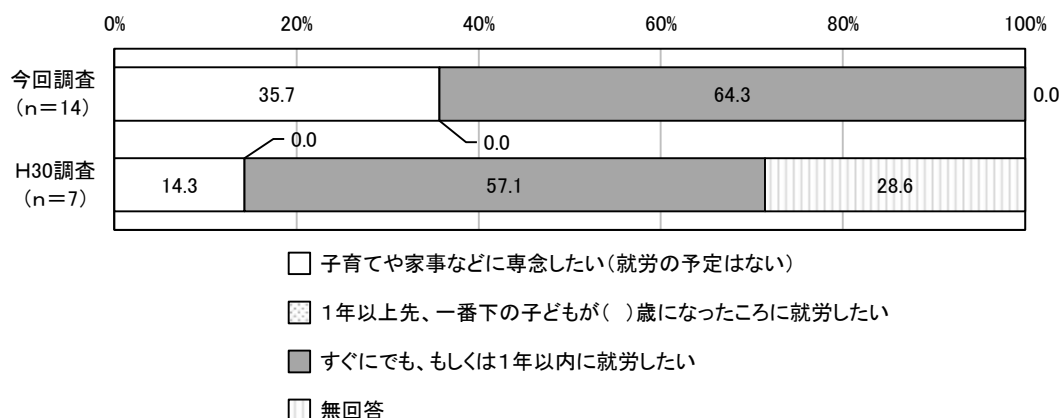


H30 調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望があり、1年以内に実現できる見込みがある」が12.5%減少し、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が50.0%増加した。

【就労希望（父親）】

問 10-3 問 10-1 で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」を選択した方にうかがいます。
就労したいという希望はありますか。

現在就労していない方（14 名）の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が9名（64.3%）、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が5名（35.7%）となっており、H30 調査に続き「1年以上先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」と回答した方はいなかった。

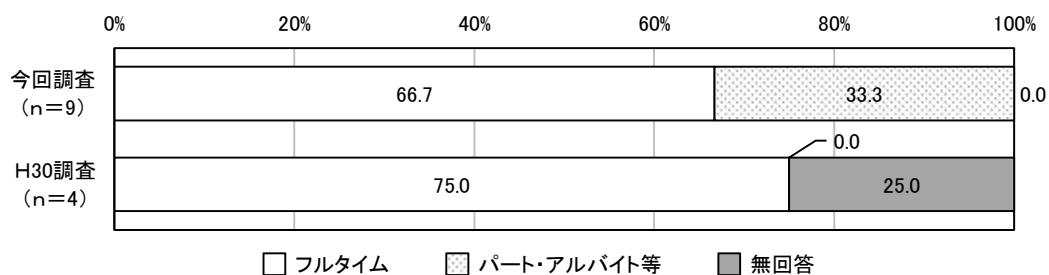


【希望する就労形態（父親）】

問 10-3 希望する就労形態についてお答えください。

◆回答対象者：問 10-3 就労希望で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選択した方

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答とした方（9名）の希望する就労形態は、「フルタイム」が6名（66.7%）、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）」が3名（33.3%）となった。



【パート・アルバイト等として希望する就労日数と就労時間（父親）】

問 10-3 希望する1週当たりの就労日数と1日当たりの就労時間をお答えください。

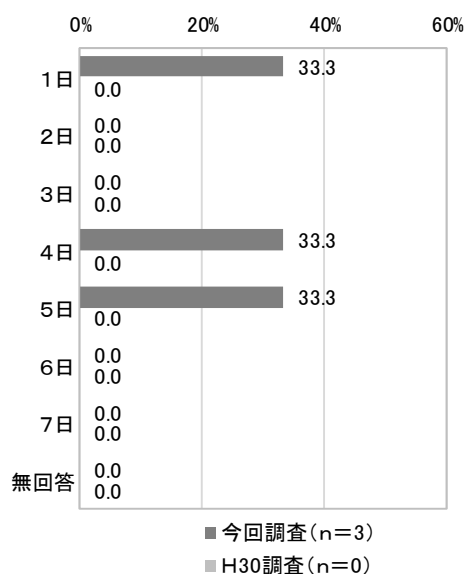
◆回答対象者：問 10-3 希望する就労形態で「パート・アルバイト等」を選択した方

「パート・アルバイト等」と回答した方（3名）の希望する就労日数は、1週当たり「1日」、「4日」、「5日」が各1名（各33.3%）となった。

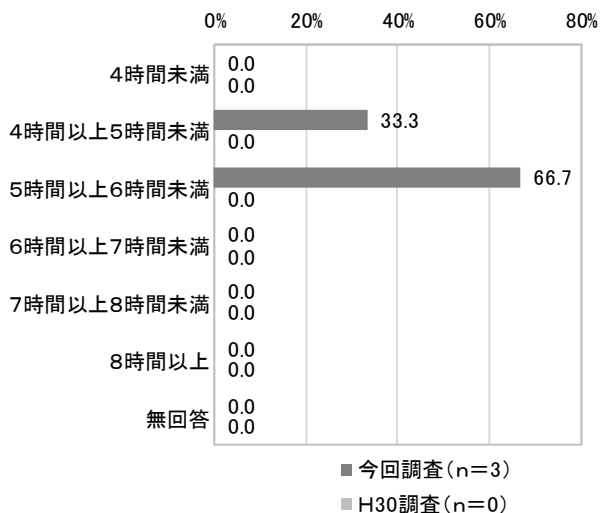
希望する1日当たりの就労時間は、「5時間以上6時間未満」が2名（66.7%）、「4時間以上5時間未満」が1名（33.3%）となった。

なお、H30調査では回答対象者はいなかった。

< 1週当たりの就労日数 >



< 1日当たりの就労時間 >

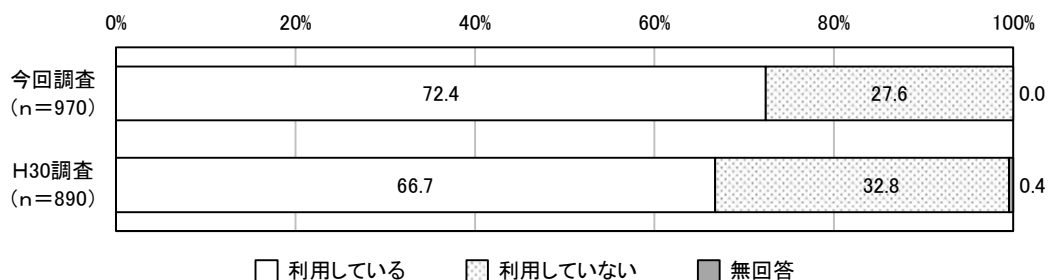


5. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

【定期的な教育・保育事業の利用状況】

問 11 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。

お子さんの現在の定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が 72.4%、「利用していない」が 27.6%となった。



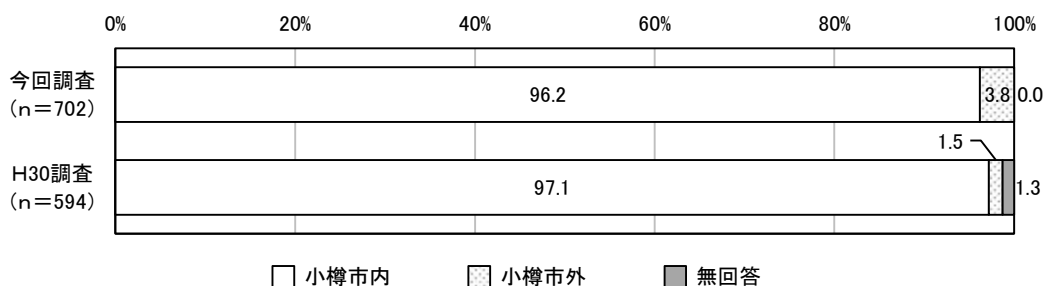
H30 調査と比較すると、「利用している」が 5.7%増加し、「利用していない」が 5.2%減少した。

【利用している教育・保育事業の実施場所】

問 11-1 問 11 で「利用している」を選択した方にうかがいます。

現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。

幼稚園や保育所などの利用している教育・保育事業の実施場所は、「小樽市内」が 96.2%、「小樽市外」が 3.8%となった。

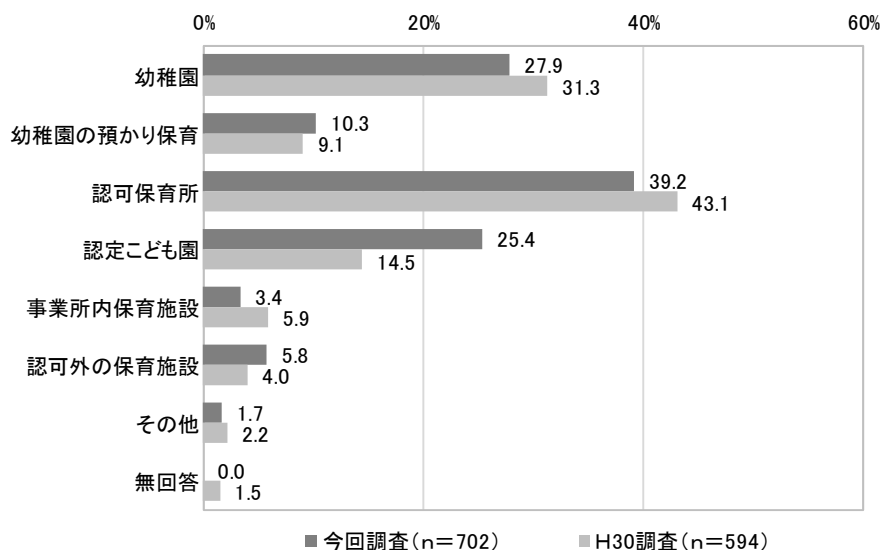


H30 調査と比較すると、「小樽市外」が 2.3%増加した。

【利用している教育・保育事業】

問 11-2 お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（当てはまるものすべてを選択）

「定期的な教育・保育事業を利用している」方の実際に利用している教育・保育事業は、「認可保育所」（39.2%）が最も多く、次いで「幼稚園」（27.9%）、「認定こども園」（25.4%）「幼稚園の預かり保育」（10.3%）となった。



H30 調査と比較すると、「認定こども園」が 10.9%増加し、「認可保育所」が 3.9%減少した。

【クロス集計】「平日の定期的な教育・保育の利用状況」を子どもの「年齢別」で見ると、子どもが1歳になるころから、教育・保育事業の利用が増え始めている。また、0歳～3歳までは認可保育所の割合が高いが、4歳、5歳だと幼稚園の割合が増える傾向にある。

「定期的な教育・保育の事業」利用有無

	合計	利用している	利用していない	
全体	970	702	268	
	100.0%	72.4%	27.6%	
年齢	0歳(R5.4以降)	99	5	94
		100.0%	5.1%	94.9%
	0歳	160	69	91
		100.0%	43.1%	56.9%
	1歳	161	101	60
		100.0%	62.7%	37.3%
	2歳	125	106	19
		100.0%	84.8%	15.2%
	3歳	115	112	3
		100.0%	97.4%	2.6%
4歳	138	137	1	
	100.0%	99.3%	0.7%	
5歳	170	170	-	
	100.0%	100.0%	-	
無回答	2	2	-	
	100.0%	100.0%	-	

年間を通じて平日「定期的に」利用している事業

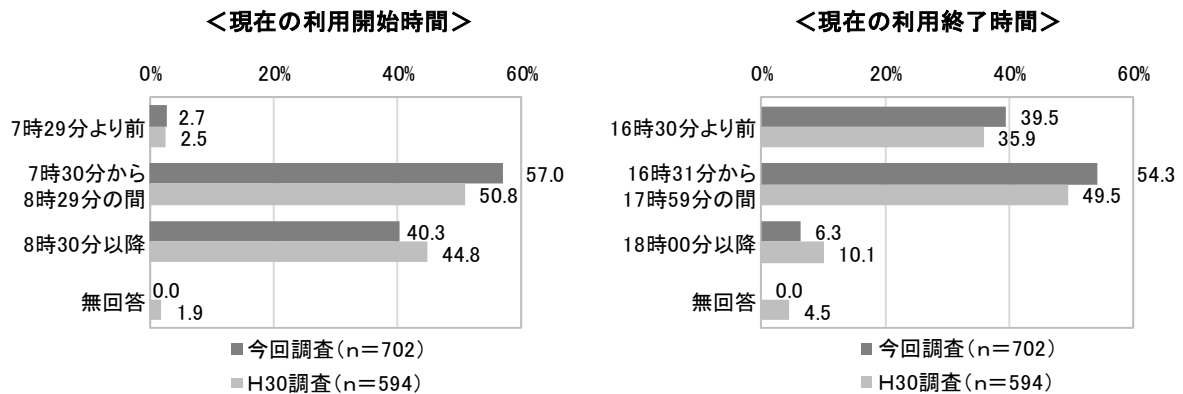
	合計	幼稚園	幼稚園の 預かり保育	認可保育 所	認定こども 園	事業所内 保育施設	認可外の 保育施設	その他
全体	702	196	72	275	178	24	41	12
	100.0%	27.9%	10.3%	39.2%	25.4%	3.4%	5.8%	1.7%
年齢	0歳(R5.4以降)	5	-	-	3	2	-	-
		100.0%	-	-	60.0%	40.0%	-	-
	0歳	69	1	-	41	12	6	10
		100.0%	1.4%	-	59.4%	17.4%	8.7%	14.5%
	1歳	101	4	1	54	28	7	11
		100.0%	4.0%	1.0%	53.5%	27.7%	6.9%	10.9%
	2歳	106	17	8	47	35	5	5
		100.0%	16.0%	7.5%	44.3%	33.0%	4.7%	4.7%
	3歳	112	36	14	41	30	4	4
		100.0%	32.1%	12.5%	36.6%	26.8%	3.6%	3.6%
4歳	137	62	18	39	34	1	3	
	100.0%	45.3%	13.1%	28.5%	24.8%	0.7%	2.2%	
5歳	170	76	31	49	37	1	7	
	100.0%	44.7%	18.2%	28.8%	21.8%	0.6%	4.1%	
無回答	2	-	-	1	-	-	1	
	100.0%	-	-	50.0%	-	-	50.0%	

※網掛け部分については各集計の最大値を表示

【現在の利用時間・希望する利用時間】

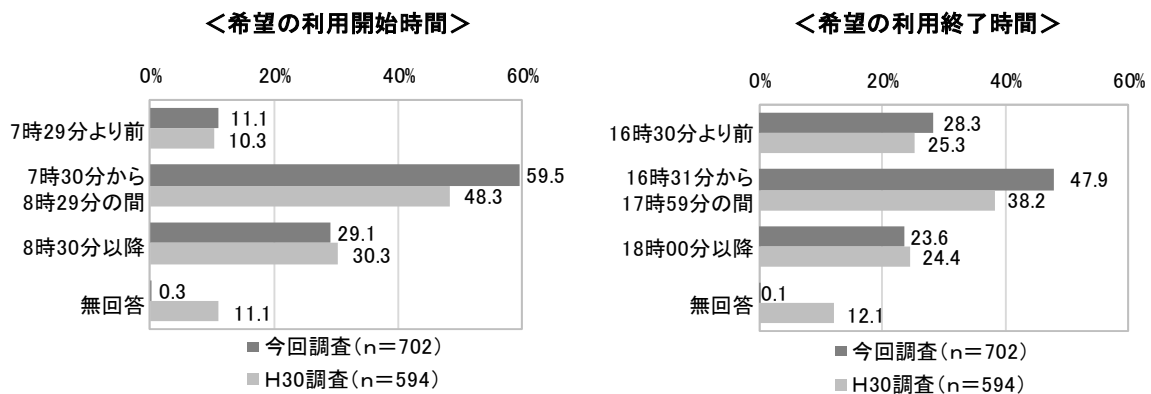
問 11-3 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、現在の利用時間と希望する利用時間をお答えください。

現在の利用時間についてみると、利用開始時間は「7時30分から8時29分」（57.0%）が最も多く、利用終了時間は「16時31分から17時59分」（54.3%）が最も多い。



H30 調査と比較すると、開始時間は「7時30分から8時29分の間」が6.2%増加し、「8時30分以降」が4.5%減少した。終了時間は「16時30分より前」が3.6%、「16時31分から17時59分の間」が4.8%それぞれ増加し、「18時00分以降」が3.8%減少した。

希望する利用時間についてみると、希望開始時間は「7時30分から8時29分」（59.5%）が最も多く、希望終了時間は「16時31分から17時59分」（47.9%）が最も多い。

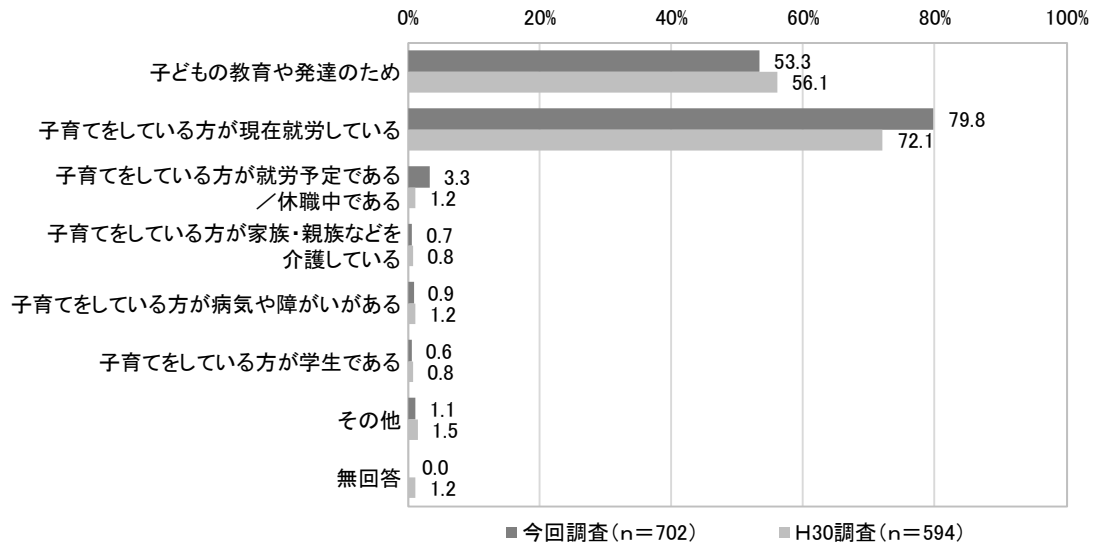


H30 調査と比較すると、開始時間は「7時30分から8時29分の間」が11.2%増加し、終了時間は「16時30分より前」が3.0%、「16時31分から17時59分の間」が9.7%それぞれ増加した。

【教育・保育事業を利用している理由】

問 11-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は何ですか。(当てはまるものすべてを選択)

「定期的に教育・保育事業を利用している」方の理由は、「子育てをしている方が現在就労している」(79.8%)が最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」(53.3%)となった。

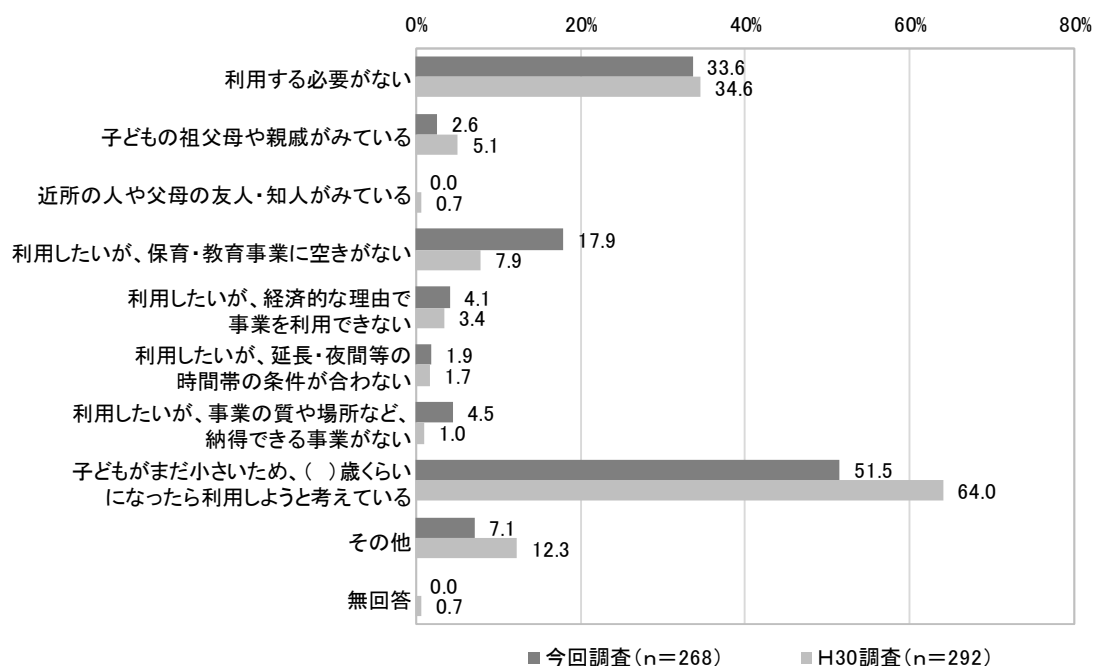


H30 調査と比較すると、「子育てをしている方が現在就労している」が 7.7%増加した。

【教育・保育事業を利用していない理由】

問 11-5 問 11 で「利用していない」を選択した方にうかがいます。
 利用していない理由は何ですか。（当てはまるものすべてを選択）

「定期的な教育・保育事業を利用していない」方の理由は、「子どもがまだ小さいため」(51.5%)が最も多く、次いで「利用する必要がない」(33.6%)となった。

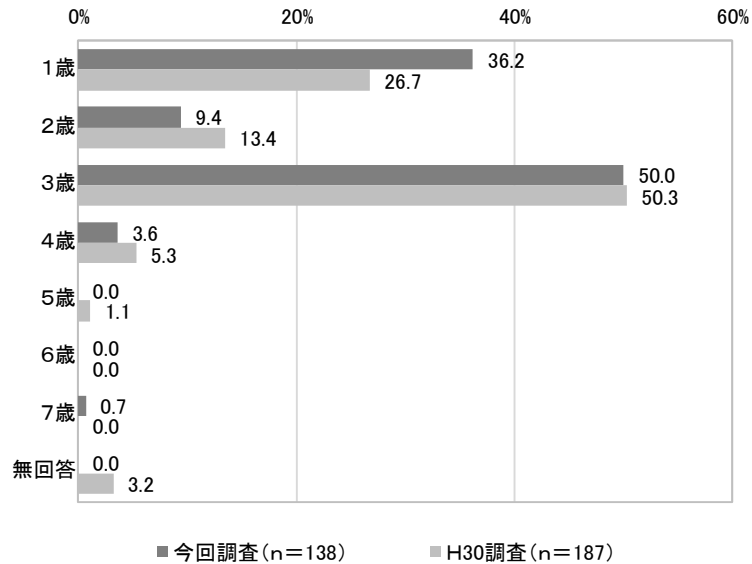


H30 調査と比較すると、「利用したいが、保育・教育事業に空きがない」が 10.0%増加し、「子どもがまだ小さいため」が 12.5%減少した。

【利用希望時のお子さんの年齢】

問 11-5 で「子どもがまだ小さいため、() 歳くらいになったら利用しようと考えている」を選択した方は、お子さんが何歳になったら利用したいか年齢をお答えください。

「子どもがまだ小さいため」と回答した方について、子どもが何歳くらいになったら利用しようと考えているか尋ねた結果、「3歳」(50.0%)が最も多く、次いで「1歳」(36.2%)となった。

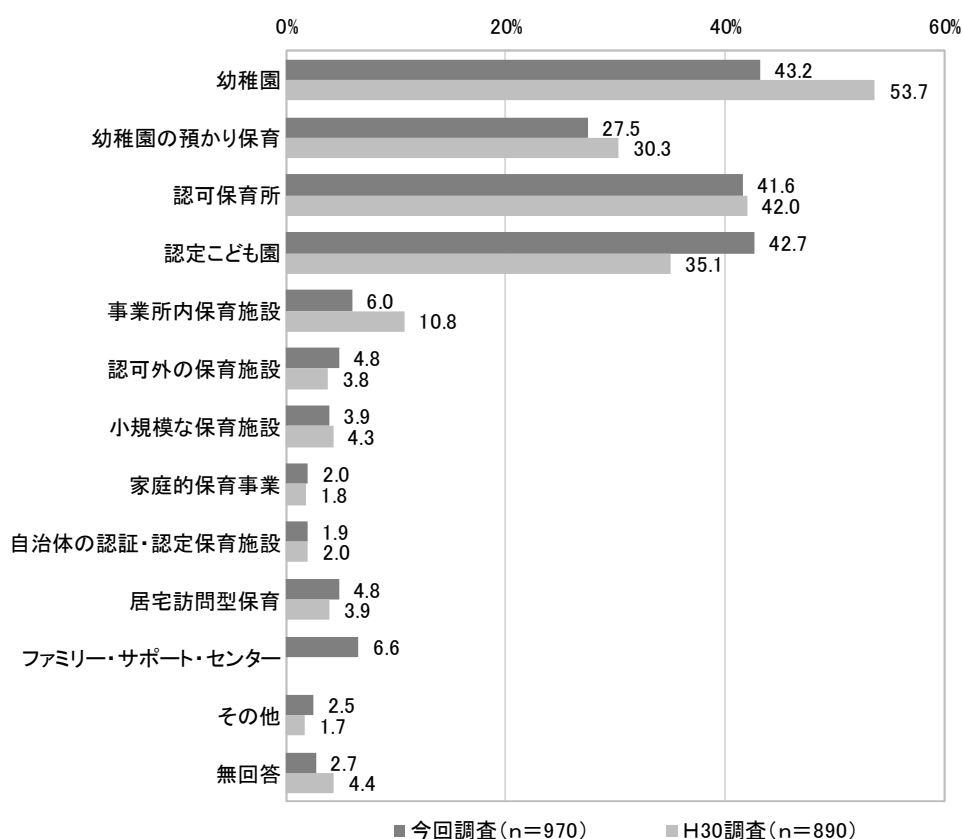


H30 調査と比較すると、1歳が9.5%増加した。

【利用したい教育・保育事業】

問 12 現在、利用している、利用していないに関わらず、お子さんの平日の教育・保育事業で、「定期的に」利用したい事業は何ですか。（当てはまるものすべてを選択）

現在の利用有無に関わらず平日の教育・保育事業で「定期的に」利用したい事業は、「幼稚園」（43.2%）が最も多く、次いで「認定こども園」（42.7%）、「認可保育所」（41.6%）、「幼稚園の預かり保育」（27.5%）となった。

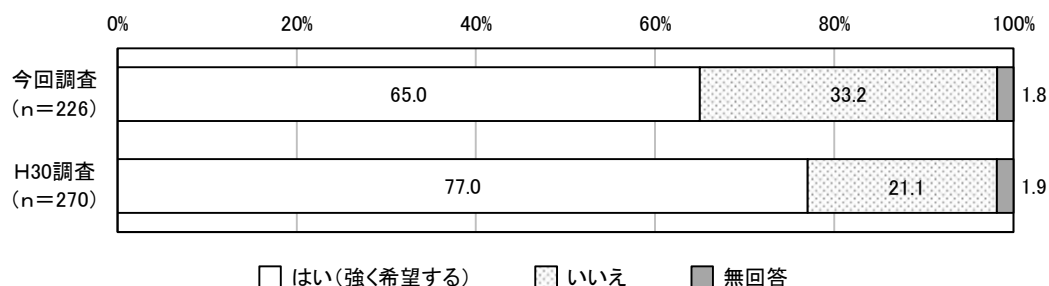


H30 調査と比較すると、「認定こども園」が 7.6%増加し、「幼稚園」は 10.5%減少した。今回選択肢に追加した「ファミリー・サポート・センター」については 6.6%となった。

【幼稚園利用の強い希望の有無】

問 12-1 問 12 で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「幼稚園の預かり保育」を選択し、かつ「認可保育所」～「ファミリー・サポート・センター」を選択した方にうかがいます。
特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。

幼稚園または保育所等を利用したい方のうち、幼稚園の利用を強く希望する方が 65.0% となった。

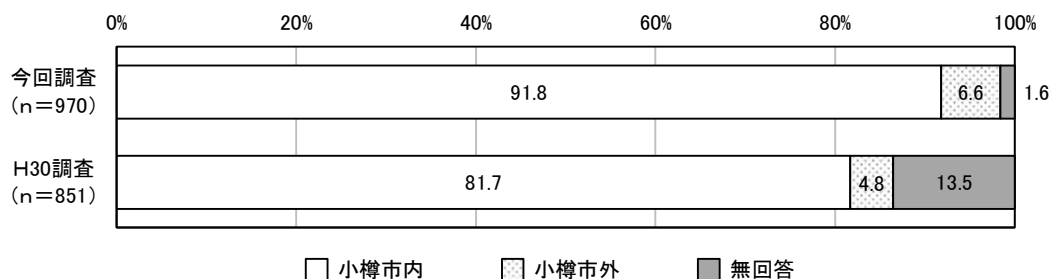


H30 調査と比較すると、依然として過半数（65.0%）が強く希望しているものの、その割合は減少傾向となっている。

【教育・保育事業の利用希望場所】

問 12-2 教育・保育事業を利用したい場所はどちらですか。

教育・保育事業を利用したい場所は、「小樽市内」が 91.8%、「小樽市外」が 6.6% となった。

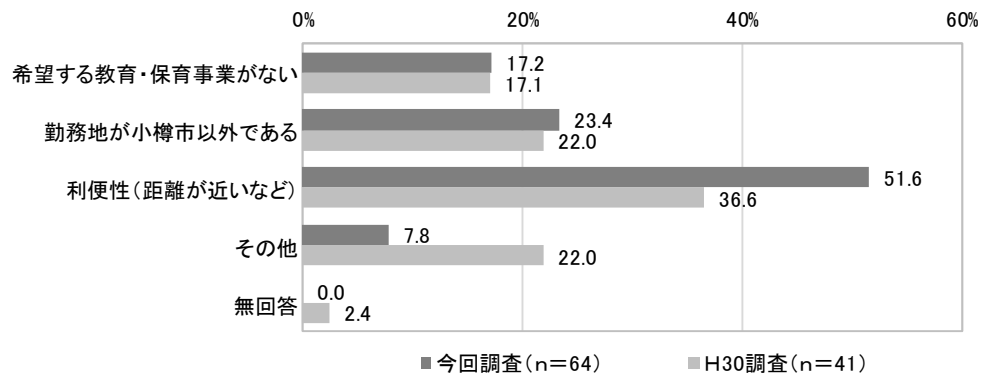


H30 調査と比較すると、「小樽市内」が 10.1% 増加した。

【市外を希望した理由】

問 12-2 で「小樽市外」を選択した方はその理由をお答えください。

「小樽市外」を希望する理由としては、「利便性（距離が近いなど）」（51.6%）が最も多く、次いで「勤務地が小樽市以外である」（23.4%）となった。



H30 調査と比較すると、「利便性（距離が近いなど）」が 15.0%増加した。

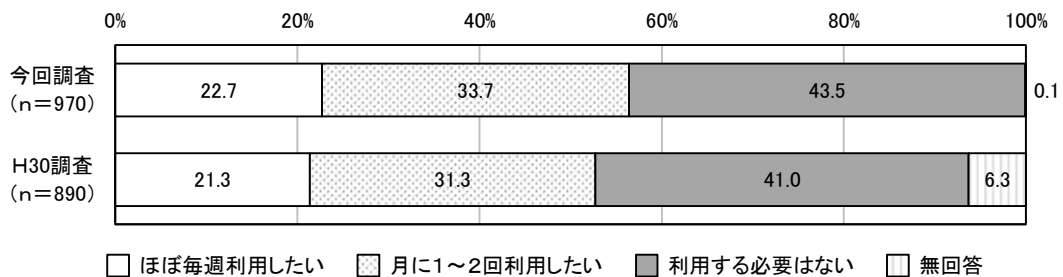
6. お子さんの土曜日・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

【教育・保育事業の利用希望】

問 13 お子さんについて、土・日・祝日及び春・夏・冬休みなどの長期休暇中における定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。（一時的な利用は除く）利用希望の有無をお答えください。

■土曜日の利用希望について

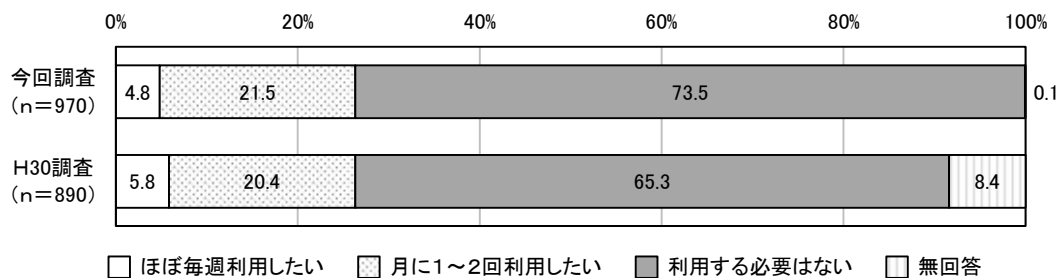
土曜日における定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」（43.5%）が最も多く、次いで「月1～2回利用したい」（33.7%）、「ほぼ毎週利用したい」（22.7%）となった。



H30 調査と比較すると、「月に1～2回利用したい」が2.4%、「利用する必要はない」が2.5%増加した。

■日曜日・祝日の利用希望について

日曜日・祝日における定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」（73.5%）が最も多く、次いで「月1～2回利用したい」（21.5%）、「ほぼ毎週利用したい」（4.8%）となった。

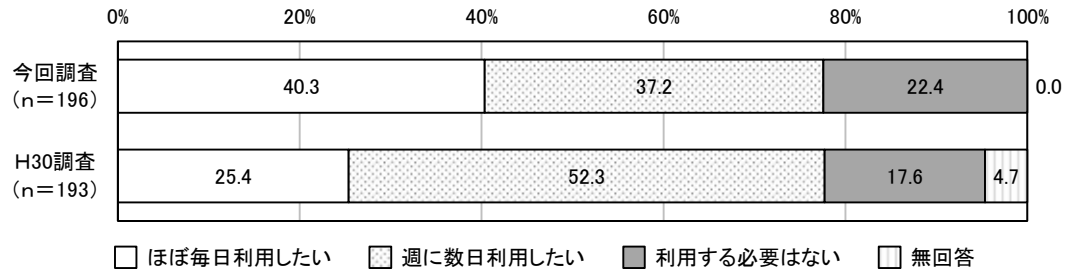


H30 調査と比較すると、「利用する必要はない」が8.2%増加した。

■長期休暇中の利用希望について（幼稚園利用者のみ回答してください）

◆回答対象者：問 11-2 教育・保育事業の利用状況で「幼稚園」を選択した方

春・夏・冬休みなどの長期休暇中における定期的な教育・保育事業の利用希望は、「ほぼ毎日利用したい」（40.3%）が最も多く、次いで「週に数日利用したい」（37.2%）、「利用する必要はない」（22.4%）となった。



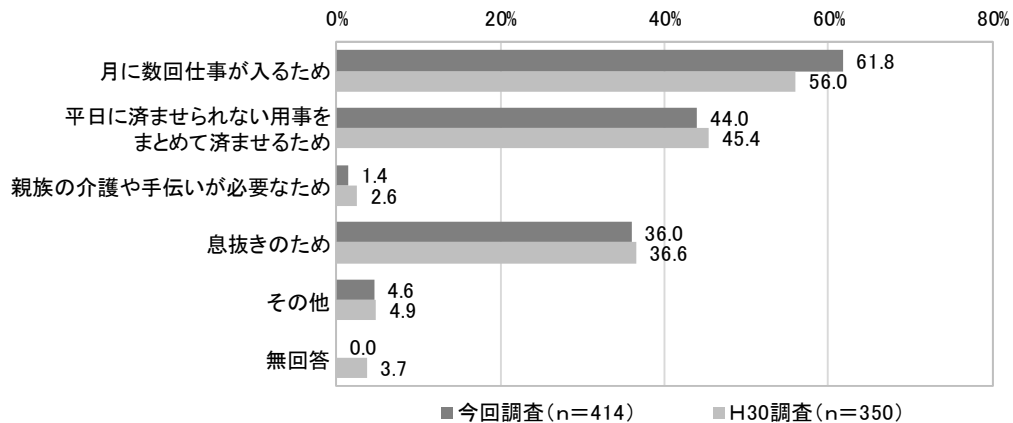
H30 調査と比較すると、「ほぼ毎日利用したい」が 14.9%増加し、「週に数日利用したい」が 15.1%減少した。

【たまに利用したい理由（土曜日、日曜日・祝日）】

問 13 たまに利用したい理由は何ですか。（土曜日、日曜日・祝日）
（当てはまるものすべてを選択）

◆回答対象者：問 13 利用希望有無で「月に1～2回利用したい」を選択した方

土曜日あるいは日曜日・祝日に「月に1～2回利用したい」方のたまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」（61.8%）が最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」（44.0%）、「息抜きのため」（36.0%）となった。



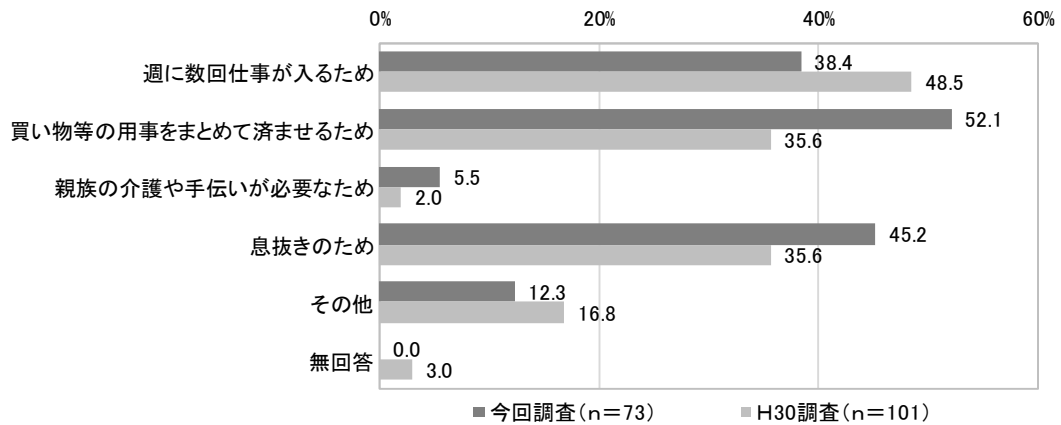
H30 調査と比較すると、「月に数回仕事が入るため」が 5.8%増加した。

【たまに利用したい理由（長期休暇中）】

問 13 たまに利用したい理由は何ですか。（長期休暇中）
（当てはまるものすべてを選択）

◆回答対象者：問 13 利用希望有無で「週に数日利用したい」を選択した方

長期休暇中に「週に数日利用したい」方のたまに利用したい理由は、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」（52.1%）が最も多く、次いで「息抜きのため」（45.2%）、「週に数回仕事が入るため」（38.4%）となった。



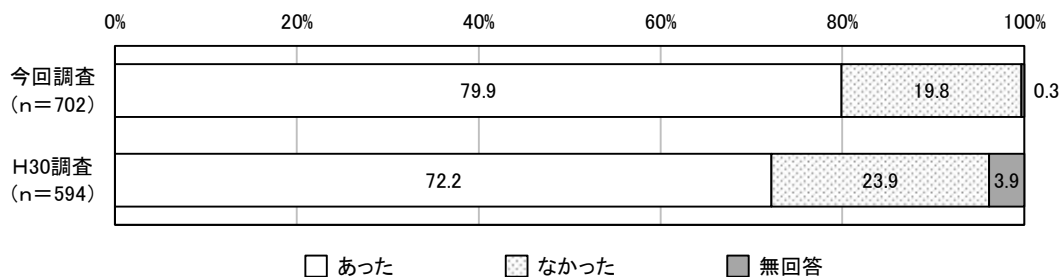
H30 調査と比較すると、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 16.5%、「息抜きのため」が 9.6%増加し、「週に数回仕事が入るため」が 10.1%減少した。

7. お子さんの病気の際の対応

【お子さんの病気やケガによる特別な対応の必要性の有無】

問 14 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 11 で「利用している」を選択した方）にうかがいます。
この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できず、仕事を休むなどの対応をとる必要がありましたか。

この1年間にお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できず、仕事を休むなどの対応をとる必要があったかについては、「あった」が79.9%、「なかった」が19.8%となった。

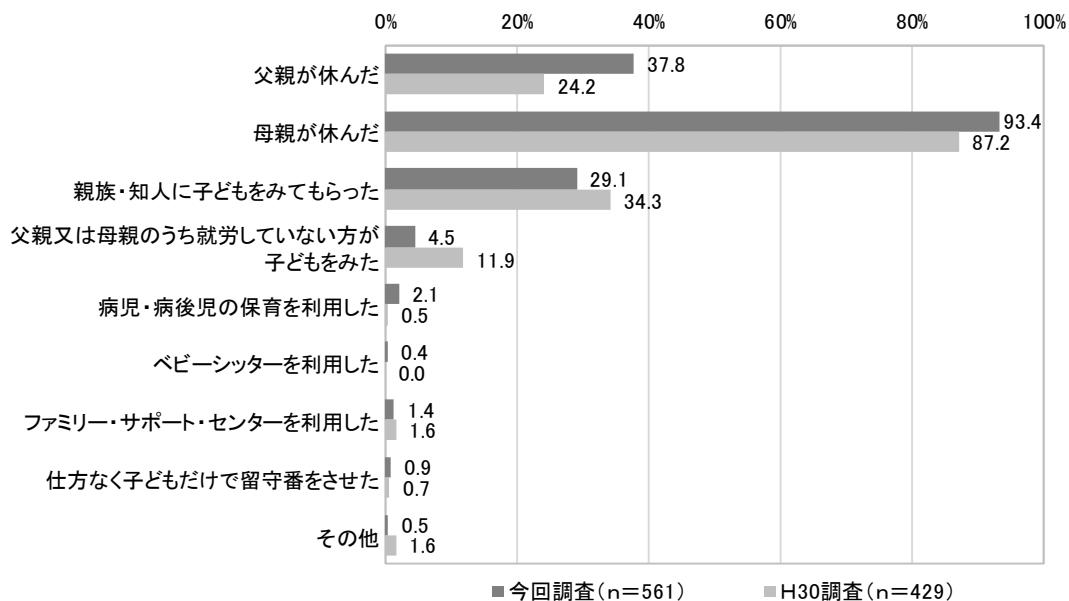


H30 調査と比較すると、「あった」が7.7%増加し、「なかった」が4.1%減少した。

【この1年間に行った対処方法】

問 14 で「必要があった」を選択した方は、この1年間に行った対処方法をすべて選択してください。（当てはまるものすべてを選択）

仕事を休むなどの対応をとる必要があった方の対処方法は、「母親が休んだ」(93.4%)が最も多く、次いで「父親が休んだ」(37.8%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(29.1%)となった。



H30 調査と比較すると、「父親が休んだ」が13.6%、「母親が休んだ」が6.2%増加し、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が7.4%、「親族・知人に子どもをみてもらった」が5.2%減少した。

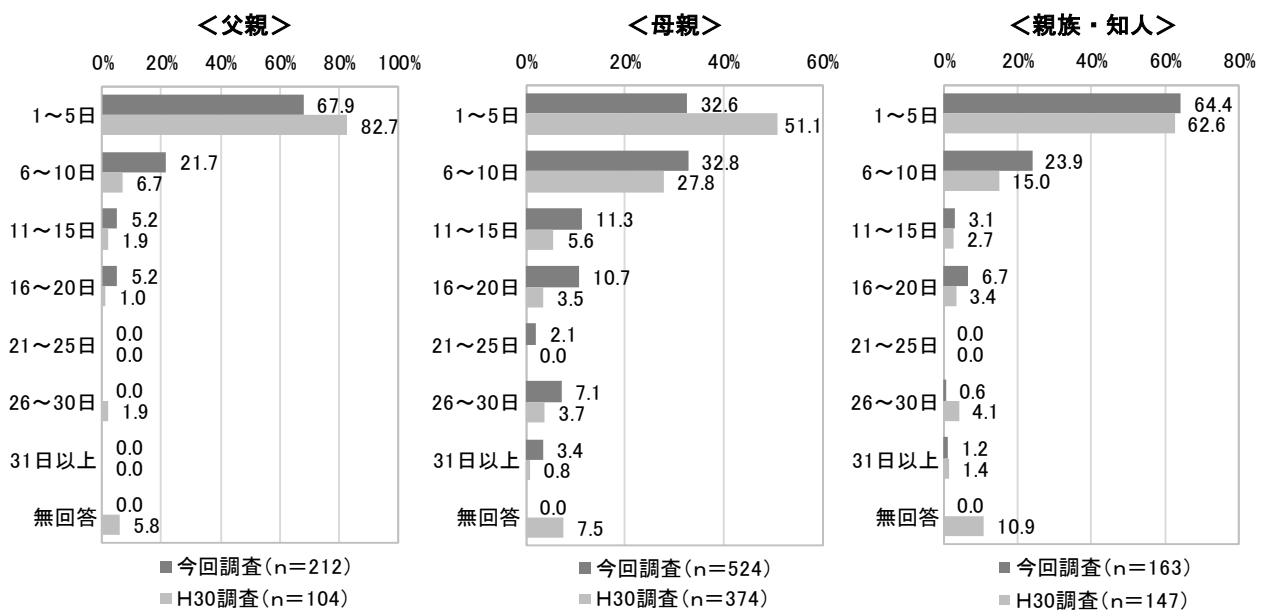
【1年間で対処した日数】

問 14 おおよその日数をお答えください（半日の場合も1日とカウントしてください）。

◆回答対象者：問 14 この1年間に行った対処方法でいずれかの選択肢を選択した方

「父親が休んだ」、「母親が休んだ」、「親族・知人に子どもをみてもらった」と回答した方が大半を占めた。その具体的な日数については、「父親」と「親族・知人」では「1～5日」が最も多く、次いで「6～10日」となったが、「母親」では「6～10日」が最も多く、次いで「1～5日」となった。

回答数の多かった上位3つの日数のグラフ

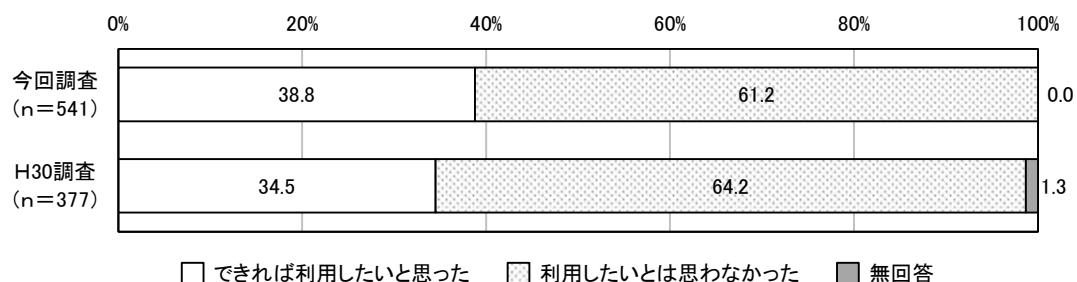


H30 調査と比較すると、対処した日数は「1～5日」で父親が14.8%、母親が18.5%減少し、「6～10日」で父親が15.0%、母親が5.0%それぞれ増加した。

【病児・病後児保育事業の利用意向】

問 14-1 問 14 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかを選択した方にうかがいます。
 その際、できれば「病児・病後児保育事業」を利用したいと思われましたか。

対処方法として、「父親が休んだ」または「母親が休んだ」方の病児・病後児保育事業の利用意向は、「できれば利用したいと思った」が 38.8%、「利用したいとは思わなかった」が 61.2% となった。

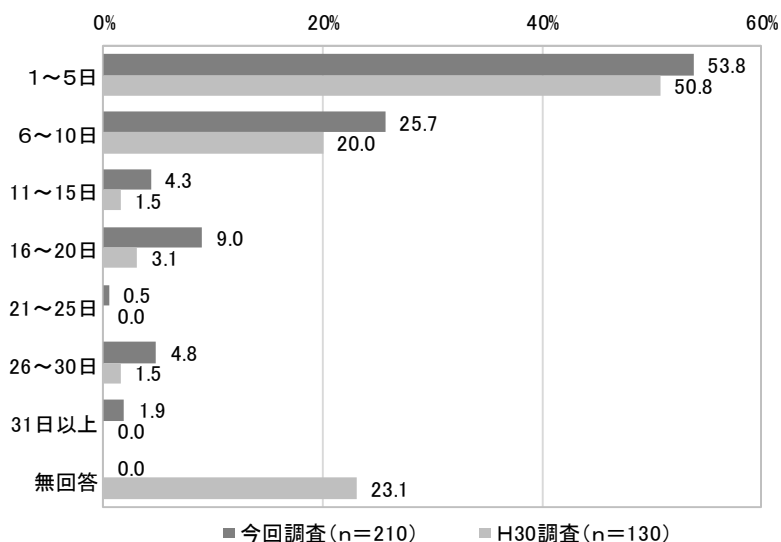


H30 調査と比較すると、「できれば利用したいと思った」が 4.3%増加した。

【病児・病後児保育事業の利用希望日数】

問 14-1 希望日数をお答えください。

病児・病後児保育事業を「できれば利用したいと思った」方の希望日数は、「1～5日」(53.8%) が最も多く、次いで「6～10日」(25.7%) となった。

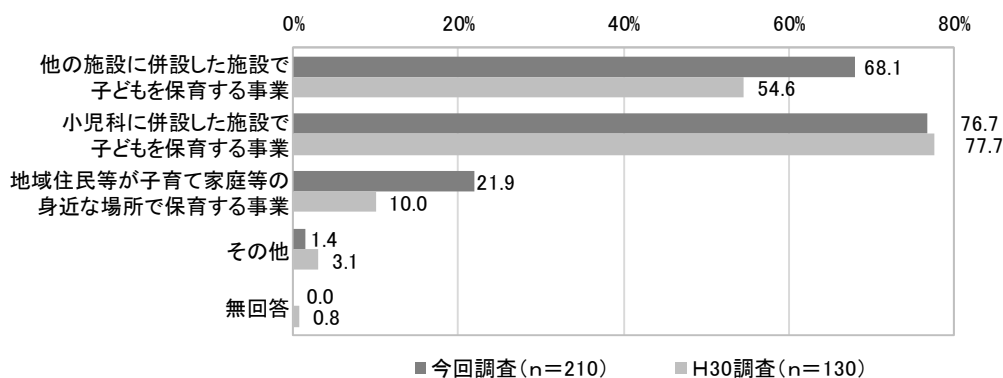


H30 調査と比較すると、「1～5日」が 3.0%、「6～10日」が 5.7%、「16～20日」が 5.9%増加した。

【病児・病後児保育事業で利用希望する事業形態】

問 14-1 利用したい事業形態をお選びください。(当てはまるものすべてを選択)

利用したい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(76.7%)が最も多く、次いで「他の施設(例:幼稚園、保育園等)に併設した施設で子どもを保育する事業」(68.1%)となった。



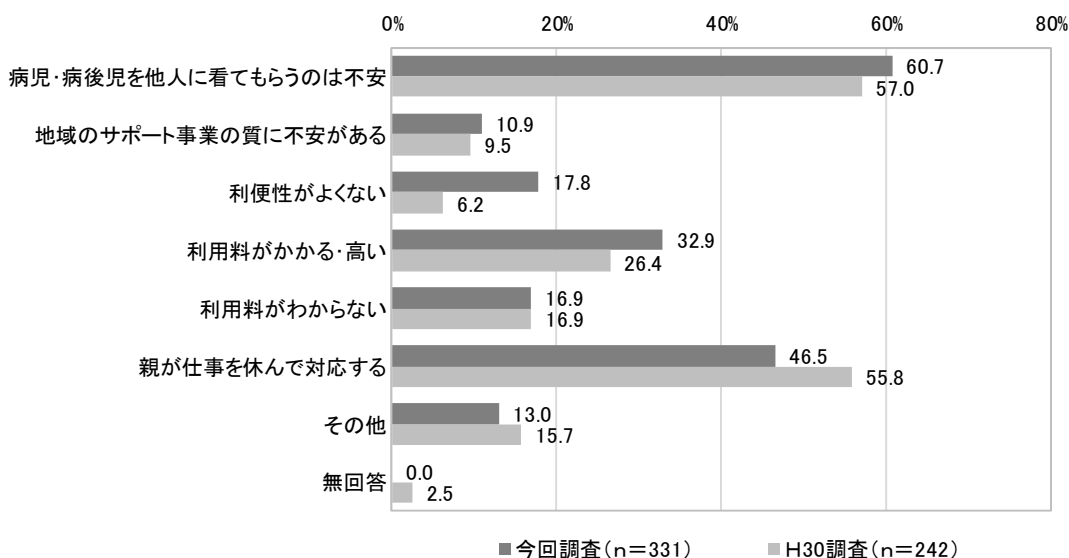
H30調査と比較すると、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が13.5%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が11.9%増加した。

【利用を希望しない理由】

問 14-1 利用したいと思わなかった理由をお答えください。(当てはまるものすべてを選択)

◆回答対象者: 問 14-1 病児・病後児保育事業の利用意向で「利用したいと思わなかった」を選択した方

病児・病後児保育事業を「利用したいと思わなかった」方の理由は、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(60.7%)が最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」(46.5%)となった。



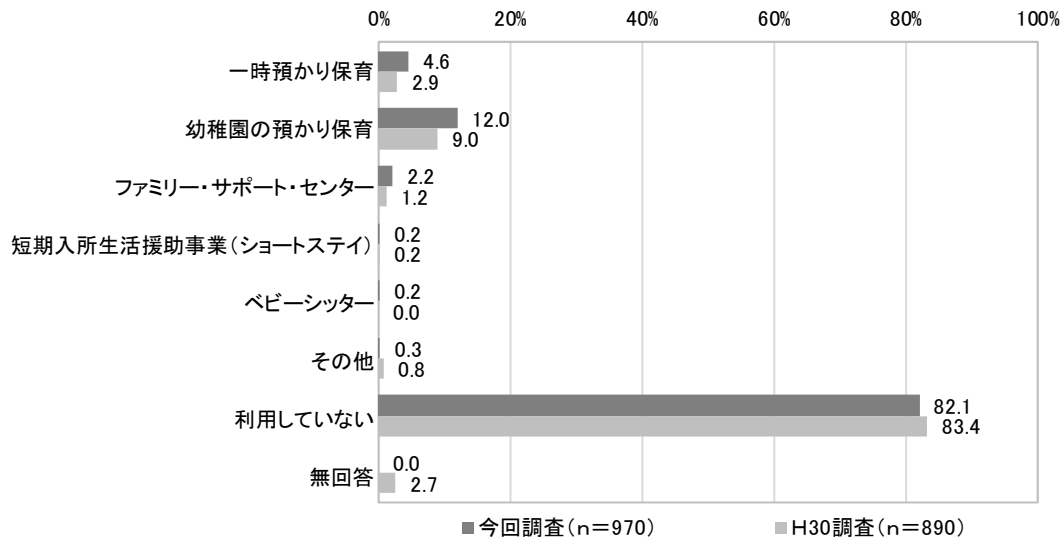
H30調査と比較すると、利用したくない理由として「利便性がよくない」が11.6%、「利用料がかかる・高い」が6.5%増加し、「親が仕事を休んで対応する」が9.3%減少した。

8. お子さんの不特定の教育・保育事業や、宿泊を伴う一時預かり等の利用

【不定期的に利用している事業の有無】

問 15 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。(当てはまるものすべてを選択)

不定期的に利用している事業については、「利用していない」(82.1%)が最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」(12.0%)、「一時預かり保育」(4.6%)となった。



H30 調査と比較すると、「一時預かり保育」が 1.7%、「幼稚園の預かり保育」が 3.0%増加した。

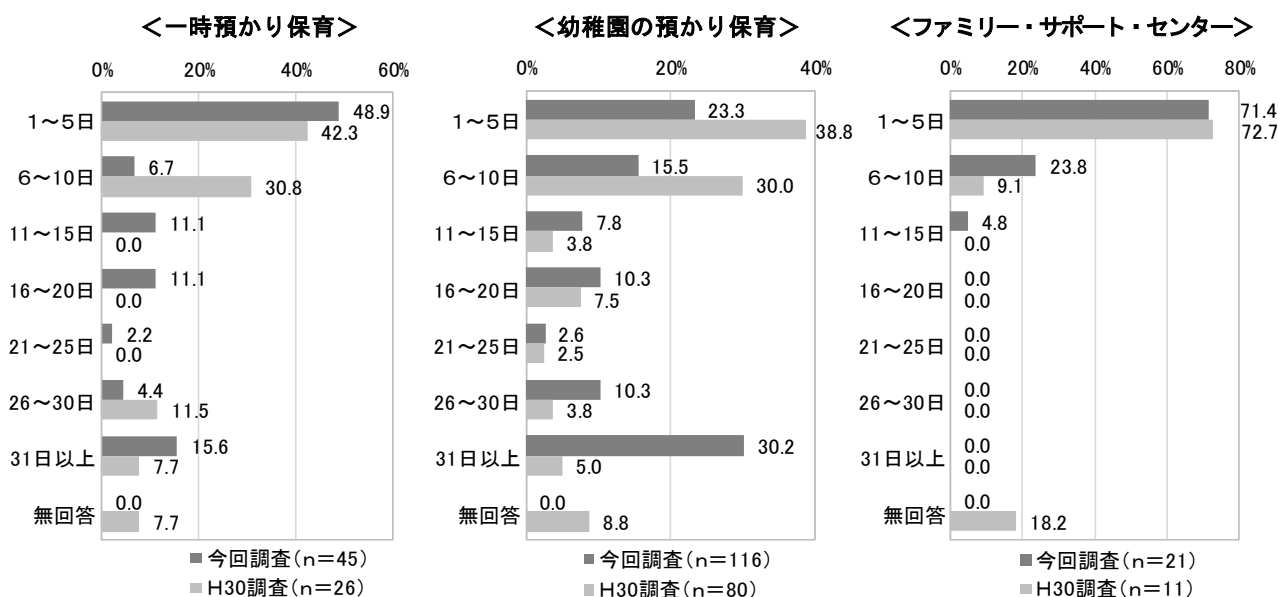
【不定期に利用している事業の利用日数】

問 15 1年間の利用日数（おおよそ）をお答えください。

◆回答対象者：問 15 不定期に利用している教育・保育事業をそれぞれ選択した方

実際に利用している1年間の日数は、それぞれ「一時預かり保育」で「1～5日」（48.9%）、「幼稚園の預かり保育」で「31日以上」（30.2%）、「ファミリー・サポート・センター」で「1～5日」（71.4%）が最も多かった。

回答数の多かった上位3つの利用事業の日数のグラフ

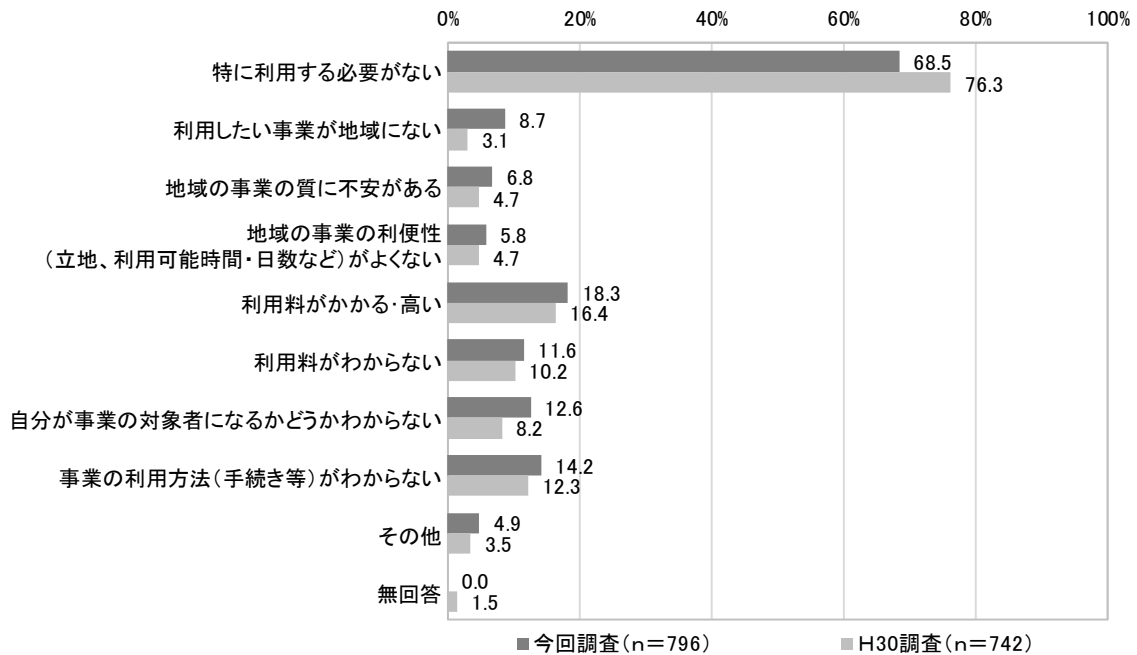


H30 調査と比較すると、「一時預かり保育」で「31 日以上」が 7.9%、「幼稚園の預かり保育」で「31 日以上」が 25.2%、「ファミリー・サポート・センター」で「6～10 日」が 14.7%増加した。

【事業を利用していない理由】

問 15-1 問 15 で「利用していない」を選択した方にうかがいます。
現在利用していない理由は何ですか。(当てはまるものすべてを選択)

「利用していない」方の理由は、「特に利用する必要がない」(68.5%)と最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」(18.3%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(14.2%)となった。

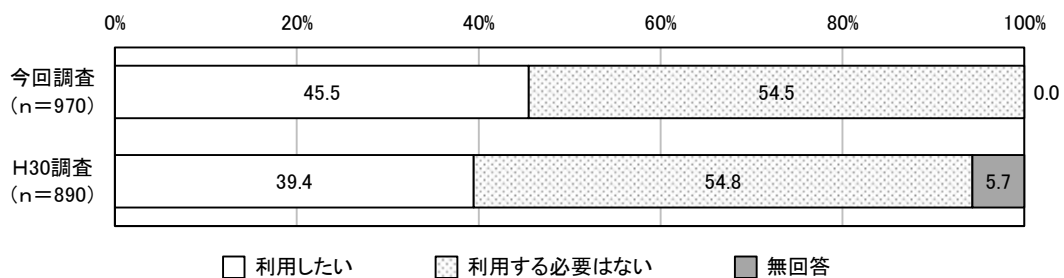


H30 調査と比較すると、「特に利用する必要がない」のみが 7.8%減少し、それ以外の理由はそれぞれやや増加した。

【事業の利用希望有無】

問 16 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、問 15 で挙げた事業※を利用したいと思いませんか。
※一時預かり保育、幼稚園の預かり保育、ファミリー・サポート・センター、短期入所生活援助事業：ショートステイ、ベビーシッター等

不定期な事業の利用希望は、「利用したい」が 45.5%、「利用する必要はない」が 54.5%となった。



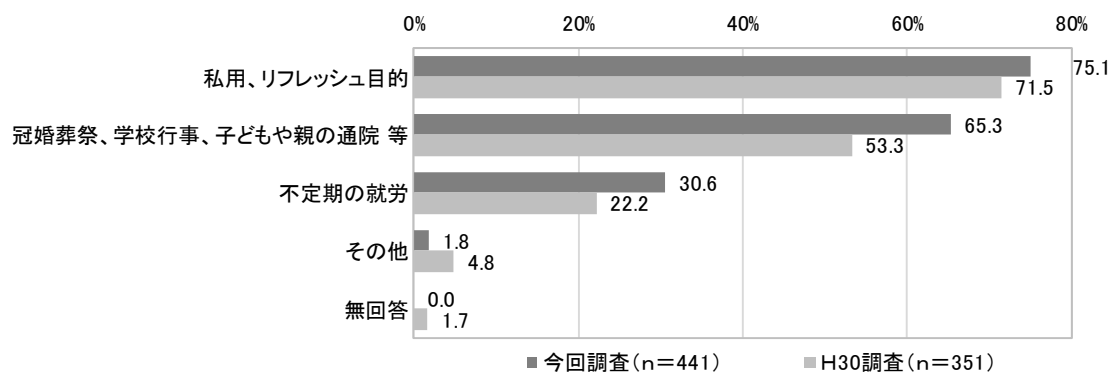
H30 調査と比較すると、「利用したい」が 6.1%増加した。

【事業を利用したい理由】

問 16 利用したい場合は、どのような場合に利用したいですか。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（当てはまるものすべてを選択）

◆回答対象者：問 16 事業の利用希望有無で「利用したい」を選択した方

「利用したい」方の理由は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」（75.1%）が最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（65.3%）となった。



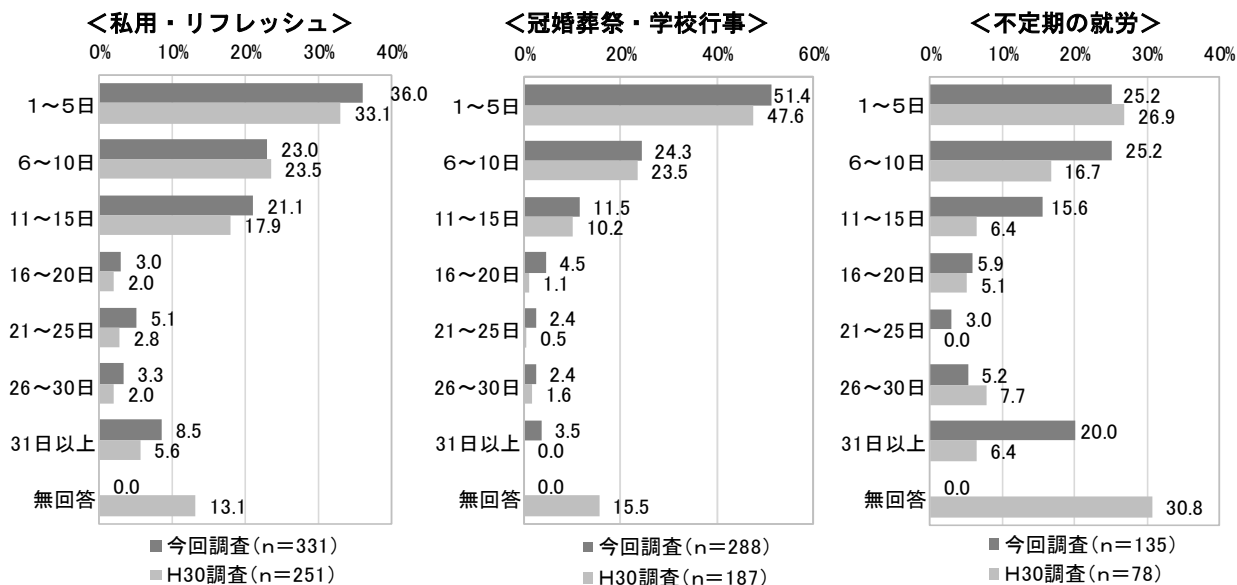
H30 調査と比較すると、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が 12.0%、「不定期の就労」が 8.4%、「私用、リフレッシュ目的」が 3.6%増加した。

【事業の利用希望日数】

問 16 1年間の利用希望日数（おおよそ）をお答えください。

◆回答対象者：問 16 事業を利用したい理由で「その他」以外を選択した方

利用したい理由別の希望利用日数は、「私用・リフレッシュ目的」、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」では、「1～5日」が最も多かった。なお「不定期の就労」では「1～5日」と「6～10日」が同率となった。



H30 調査と比較すると、「私用・リフレッシュ」で「31 日以上」が 2.9%、「冠婚葬祭・学校行事」で「31 日以上」が 3.5%、「不定期の就労」で「31 日以上」が 13.6%増加した。

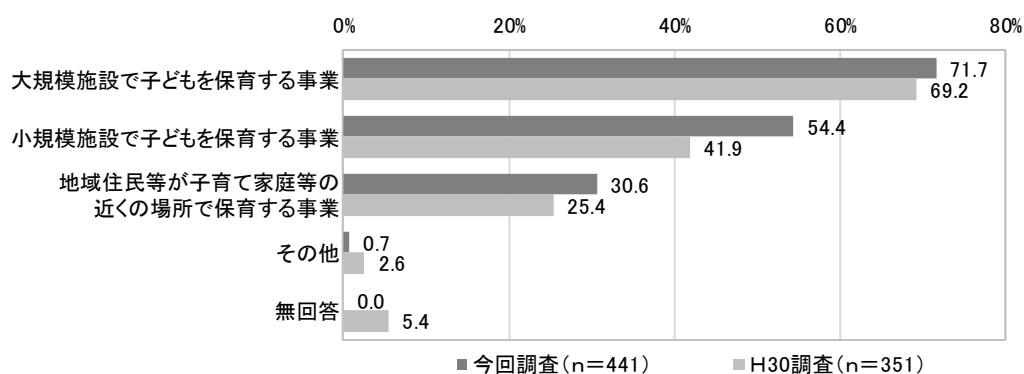
【希望する事業形態】

問 16-1 問 16 で「利用したい」を選択した方にうかがいます。

問 16 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われる
 ですか。(当てはまるものすべてを選択)

◆回答対象者：問 16 利用希望の有無で「利用したい」を選択した方

「利用したい」方が望む事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」（71.7%）が最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）」（54.4%）となった。

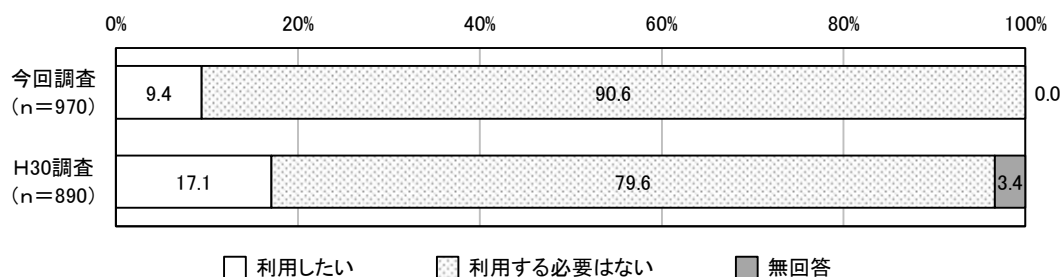


H30 調査と比較すると、「大規模施設で子どもを保育する事業」が 2.5%、「小規模施設で子どもを保育する事業」が 12.5%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が 5.2%それぞれ増加した。

【子どもを預ける必要性の有無】

問 17 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで年間何日くらい家族以外（短期入所生活援助事業：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業の利用希望の有無についてお答えください。

保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）でお子さんを泊りがけで家族以外に預ける必要性について、「利用したい」が 9.4%、「利用する必要はない」が 90.6%となった。



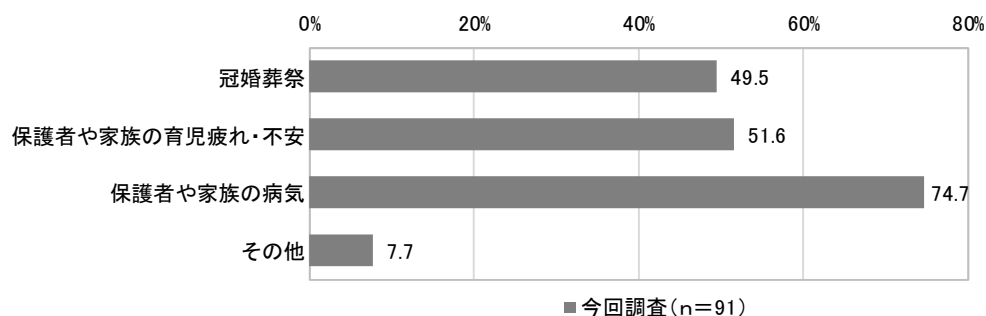
H30 調査と比較すると、「利用したい」が 7.7%減少し、「利用する必要はない」が 11.0%増加した。

【子どもを預ける場合の理由】

問 17 「利用したい」場合は、年間の希望として当てはまるものを選択しそれぞれの泊数をお答えください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
(当てはまるものすべてを選択)

◆回答対象者：問 17 子どもを預ける必要性の有無で「利用したい」を選択した方

保護者の用事により、お子さんを泊りがけで家族以外に預ける場合の理由は「保護者や家族の病気」(74.7%)が最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」(51.6%)、「冠婚葬祭」(49.5%)となった。

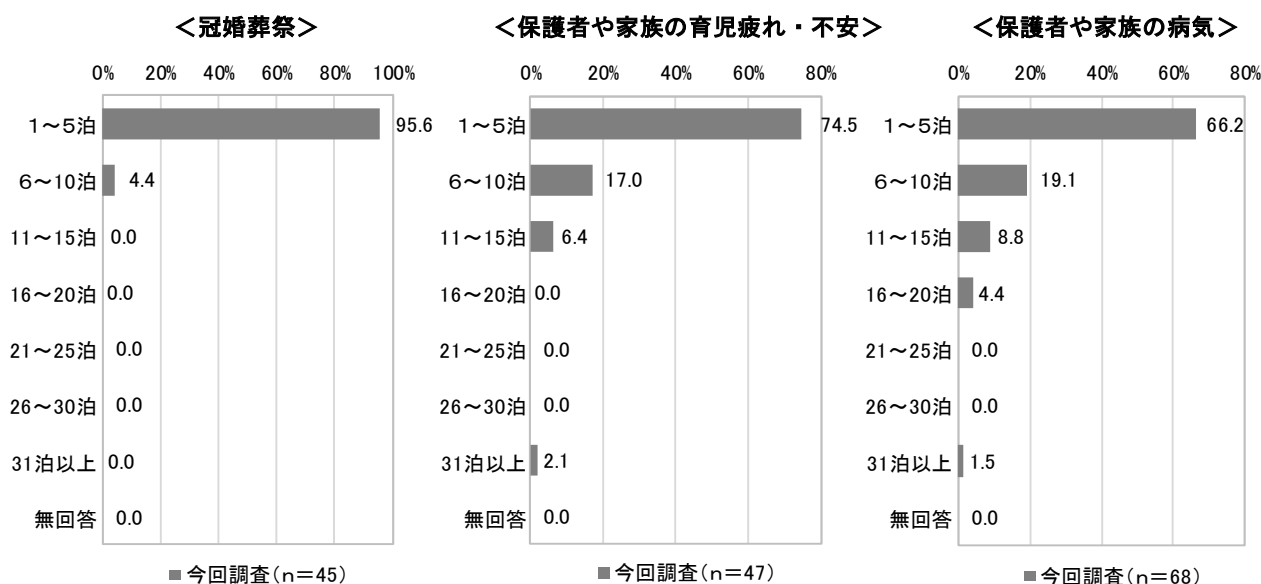


【希望宿泊日数】

問 17 年間の希望としてそれぞれ泊数をお答えください。

◆回答対象者：問 17 子どもを預ける場合の理由をそれぞれ選択した方

お子さんを泊りがけで預ける理由別の年間希望宿泊日数は、すべての理由において「1～5日」が最も多く、次いで「6～10日」となった。

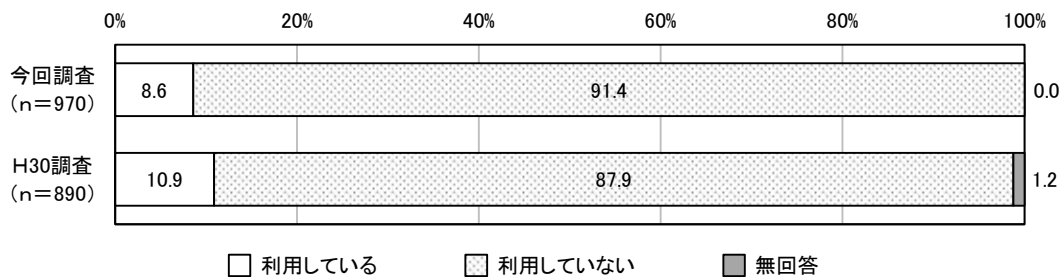


9. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況

【地域子育て支援拠点事業の利用有無】

問 18 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点※事業を利用していますか。
 ※地域子育て支援拠点…本市では、地域子育て支援センターげんき（奥沢保育所）、風の子（赤岩保育所）、あそぼ（銭函保育所）、わくわく広場（朝里幼稚園）の各施設で、子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等の事業を行っています。

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用している」が8.6%、「利用していない」が91.4%となった。



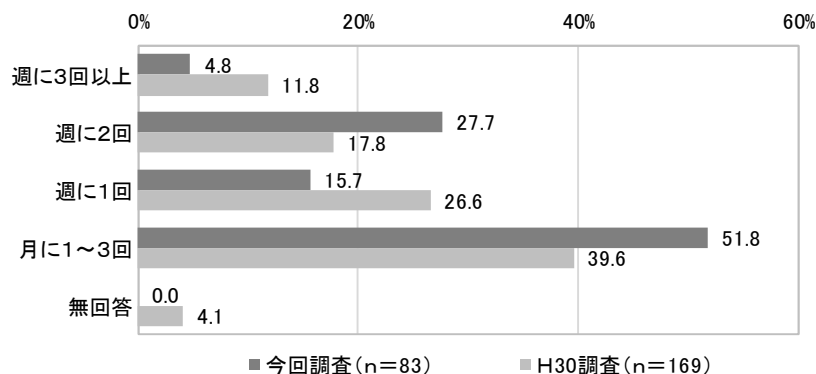
H30 調査と比較すると、「利用していない」が3.5%増加した。

【地域子育て支援拠点事業の利用回数】

問 18 利用している場合は、おおよその利用回数をお答えください。なお、事業の内容によっては、利用料がかかるものもあります。

◆回答対象者：問 18 地域子育て支援拠点事業の利用有無で「利用している」を選択した方

利用回数は「月に1～3回」（51.8%）が最も多く、次いで「週に2回」（27.7%）となった。



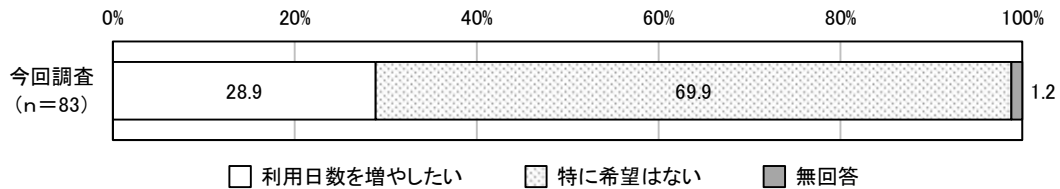
H30 調査と比較すると、「週に2回」が9.9%、「月に1～3回」が12.2%増加し、「週に3回以上」が7.0%、「週に1回」が10.9%減少した。

【今後の利用希望有無】

問 19 今後の地域子育て支援拠点事業の利用希望についてお答えください。

◆回答対象者：問 18 地域子育て支援拠点事業の利用有無で「利用している」を選択した方

地域子育て支援拠点事業を「利用している」と回答した方の今後の利用希望は「利用日数を増やしたい」が 28.9%、「特に希望はない」が 69.9%となった。

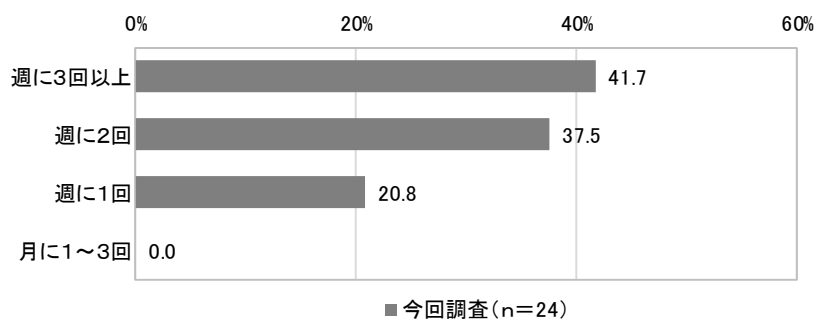


【利用希望回数】

問 19-1 利用希望回数（おおよそ）をお答えください。

◆回答対象者：問 19-1 今後の利用希望で「利用日数を増やしたい」を選択した方

「利用日数を増やしたい」と回答した方に利用希望回数をうかがったところ、「週に 3 回以上」(41.7%) が最も多く、次いで「週に 2 回」(37.5%)、「週に 1 回」(20.8%) となった

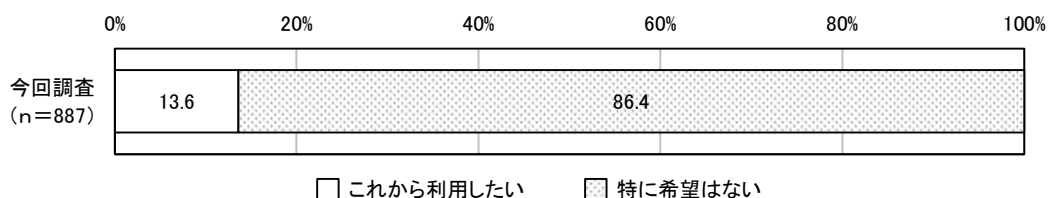


【今後の利用希望有無（未利用者）】

問 19-2 地域子育て支援拠点事業について、今後の利用希望の有無をお答えください。

◆回答対象者：問 18 地域子育て支援拠点事業の利用有無で「利用していない」を選択した方

地域子育て支援拠点事業の利用有無で「利用していない」と回答した方の今後の利用希望は、「これから利用したい」が 13.6%、「特に希望はない」が 86.4%となった。

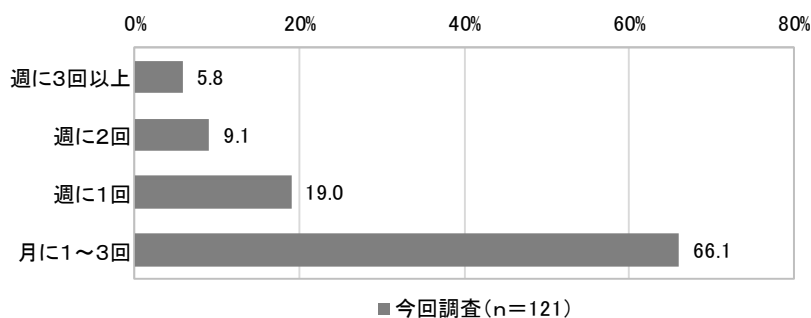


【利用希望回数（未利用者）】

問 19-2 利用希望回数（おおよそ）をお答えください。

◆回答対象者：問 19-2 今後の利用希望（未利用者）で「これから利用したい」を選択した方

地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望で「これから利用したい」と回答した方に利用希望回数をうかがったところ、「月に1～3回」(66.1%)が最も多く、次いで「週に1回」(19.0%)となった。



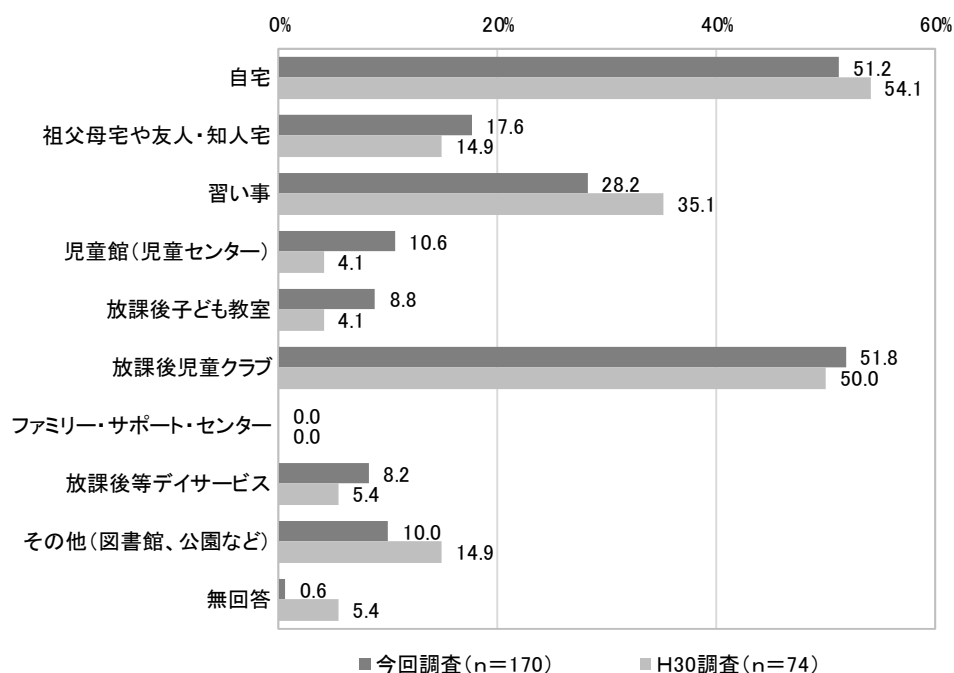
10. お子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方

本項は調査対象のお子さんが令和6年4月に小学校入学予定となる方への質問となります。

【放課後を過ごさせたい場所（1～3年生）】

問 20 お子さんが小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。場所と日数について、それぞれお答えください。（当てはまるものすべてを選択）

小学校低学年のうち放課後を過ごさせたい場所は、「放課後児童クラブ」(51.8%)が最も多く、次いで、「自宅」(51.2%)、「習い事」(28.2%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(17.6%)となった。

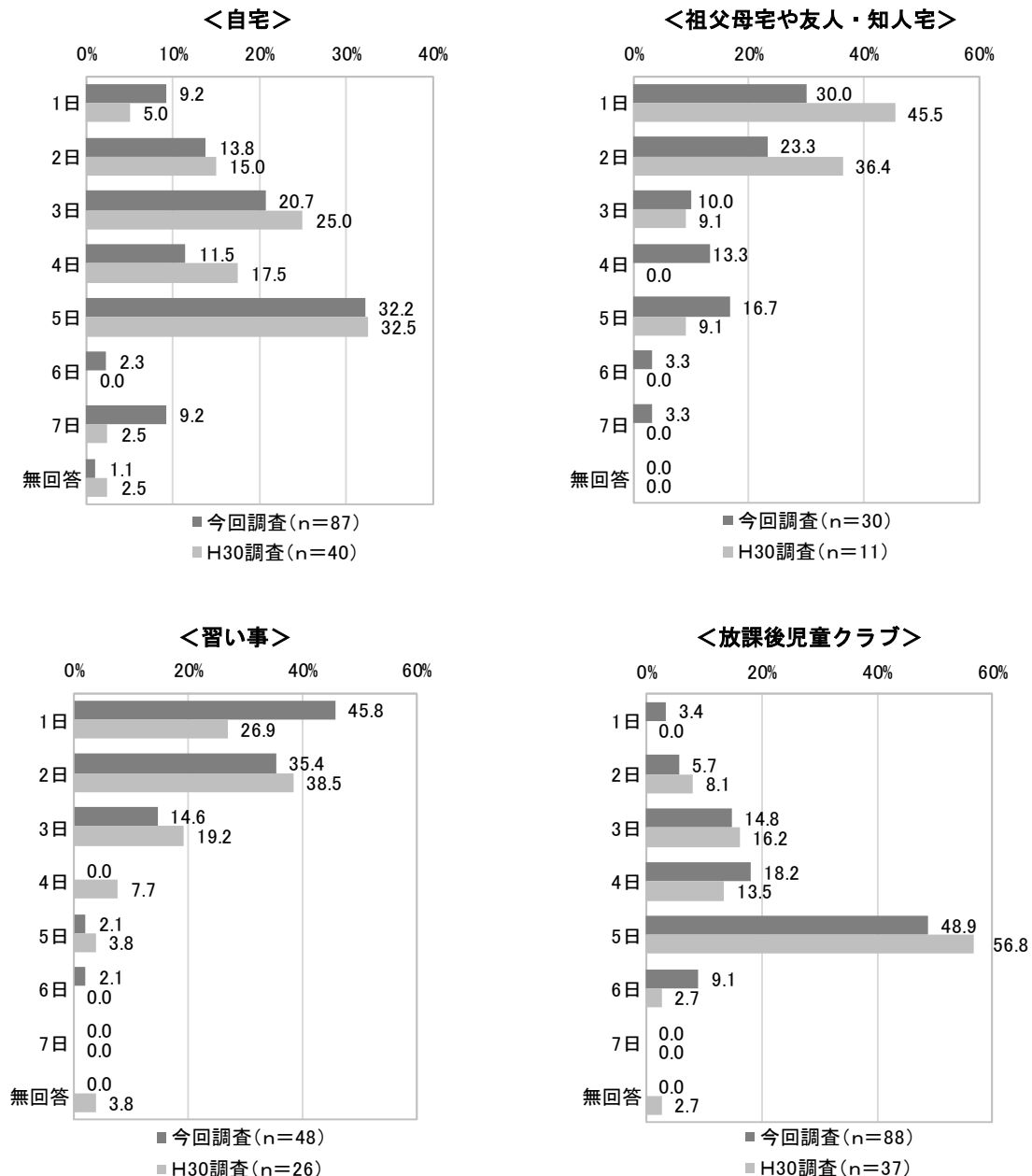


H30調査と比較すると、「祖父母宅や友人・知人宅」が2.7%、「放課後子ども教室」が4.7%、「放課後児童クラブ」が1.8%増加し、「自宅」が2.9%、「習い事」が6.9%減少した。

「自宅」、「祖父母宅や友人・知人宅」、「習い事」、「放課後児童クラブ」と回答した方の1週当たりの利用希望日数は、「自宅」では「5日」(32.2%)、「祖父母宅や友人・知人宅」では「1日」(30.0%)、「習い事」では「1日」(45.8%)、「放課後児童クラブ」では「5日」(48.9%)が最も多かった。

上記以外では、「児童館」では「5日」(50.0%)、「放課後子ども教室」では「1日」、「2日」、「5日」(それぞれ 26.7%)、「放課後等デイサービス」では「1日」(50.0%)、「その他(図書館、公園など)」では「1日」(52.9%)が最も多かった。

回答数の多かった上位4つの放課後を過ごさせたい場所のグラフ



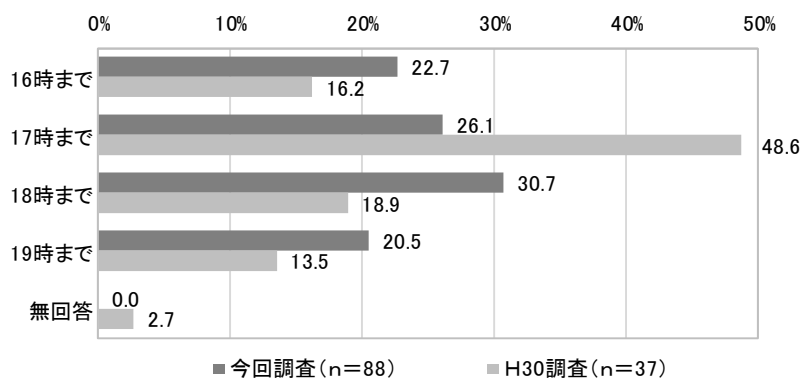
H30調査と比較すると、「習い事」の「1日」が18.9%増加し、「祖父母宅や友人・知人宅」の「1日」が15.5%、「2日」が13.1%減少した。

【放課後児童クラブの利用希望時間（1～3年生）】

問 20 「放課後児童クラブ」の場合は、下校時から何時まで利用したいかお答えください。

◆回答対象者：問 20 で 放課後を過ごさせたい場所で「放課後児童クラブ」を選択した方

放課後を過ごさせたい場所として「放課後児童クラブ」と回答した方の利用希望時間は、下校時から「18時まで」（30.7%）が最も多く、次いで「17時まで」（26.1%）となった。

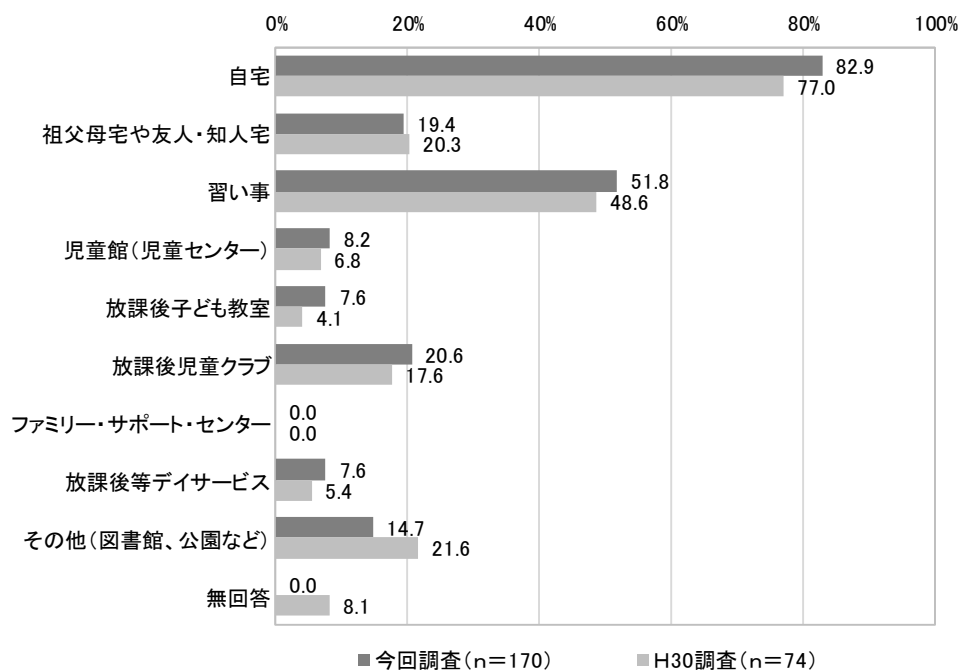


H30 調査と比較すると、「16時まで」が6.5%、「18時まで」が11.8%、「19時まで」が7.0%増加し、「17時まで」が22.5%減少した。

【放課後を過ごさせたい場所（4～6年生）】

問 21 お子さんが小学校高学年（4～6年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。場所と日数について、それぞれお答えください。【当てはまるものすべてを選択】

小学校高学年のうち放課後を過ごさせたい場所は、「自宅」（82.9%）が最も多く、次いで「習い事」（51.8%）、「放課後児童クラブ」（20.6%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（19.4%）、「その他（図書館、公園など）」（14.7%）、となった。

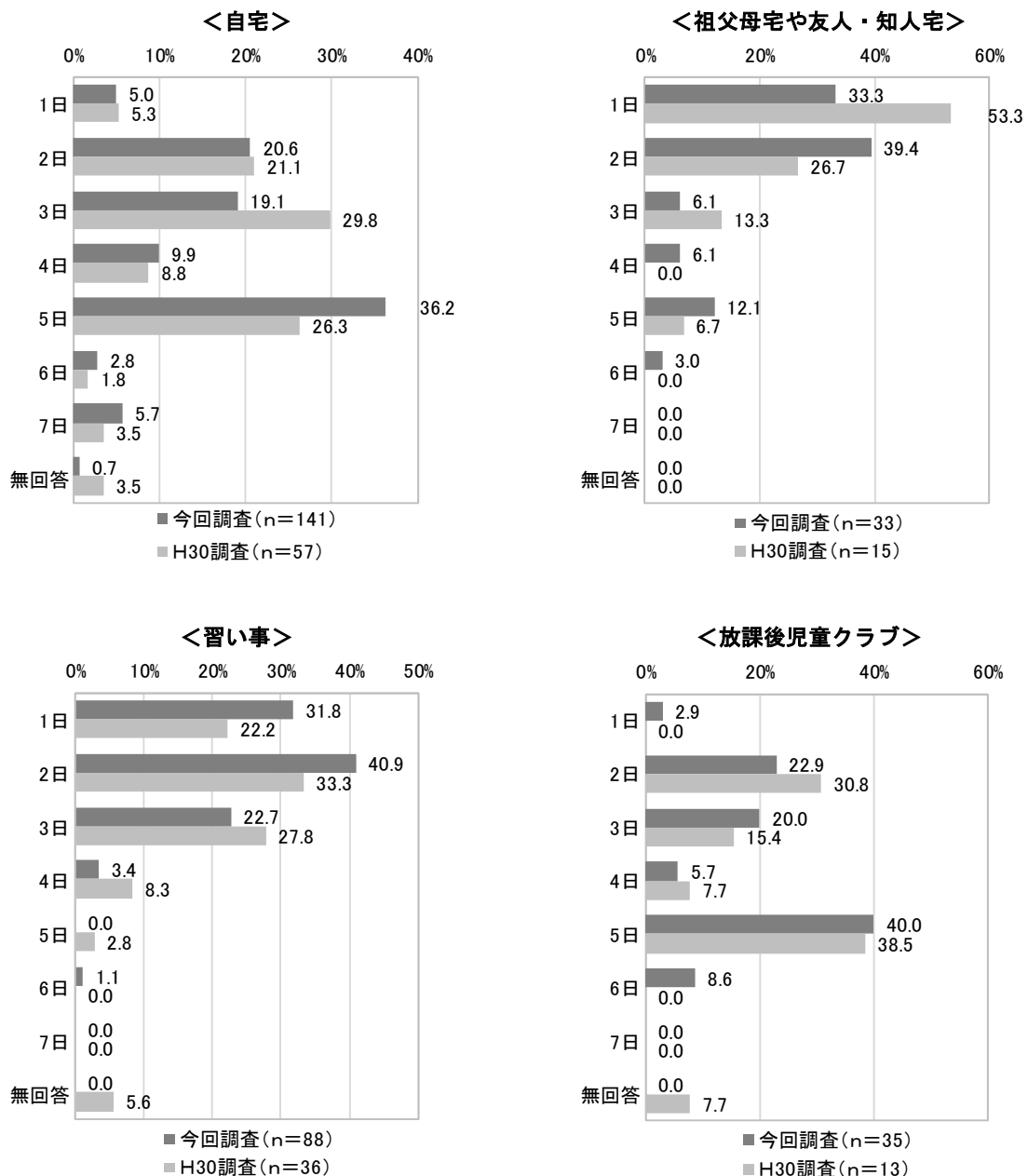


H30 調査と比較すると、「自宅」が 5.9%、「習い事」が 3.2%、「放課後児童クラブ」が 3.0%、「放課後子ども教室」が 3.5%増加した。

「自宅」、「祖父母宅や友人・知人宅」、「習い事」、「放課後児童クラブ」と回答した方の1週当たりの利用希望日数は、「自宅」では「5日」(36.2%)、「祖父母宅や友人・知人宅」では「2日」(39.4%)、「習い事」では「2日」(40.9%)、「放課後児童クラブ」では「5日」(40.0%)が最も多かった。

上記以外では、「児童館」では「5日」(35.7%)、「放課後子ども教室」では「1日」(38.5%)、「放課後等デイサービス」では「1日」(58.3%)、「その他」では「1日」(44.0%)が最も多かった。

回答数の多かった上位4つの放課後を過ごさせたい場所のグラフ



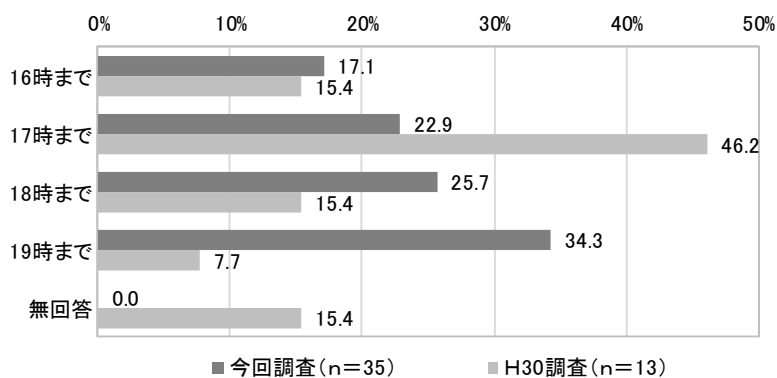
H30調査と比較すると、「自宅」の「3日」が10.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」の「1日」が20.0%、「習い事」の「3日」が5.1%、「放課後児童クラブ」の「2日」が7.9%減少し、「自宅」の「5日」が9.9%、「祖父母宅や友人・知人宅」の「2日」が12.7%、「習い事」の「1日」が9.6%、「2日」が7.6%増加した。

【放課後児童クラブの利用希望時間（4～6年生）】

問 21 「放課後児童クラブ」の場合は、下校時から何時まで利用したいかお答えください。

◆回答対象者：問 21 で 放課後を過ごさせたい場所で「放課後児童クラブ」を選択した方

放課後を過ごさせたい場所として「放課後児童クラブ」と回答した方の利用希望時間は、下校時から「19時まで」(34.3%)が最も多く、次いで「18時まで」(25.7%)、「17時まで」(22.9%)となった。



H30 調査と比較すると、「16時まで」が1.7%、「18時まで」が10.3%、「19時まで」が26.6%増加し、「17時まで」が23.3%減少した。

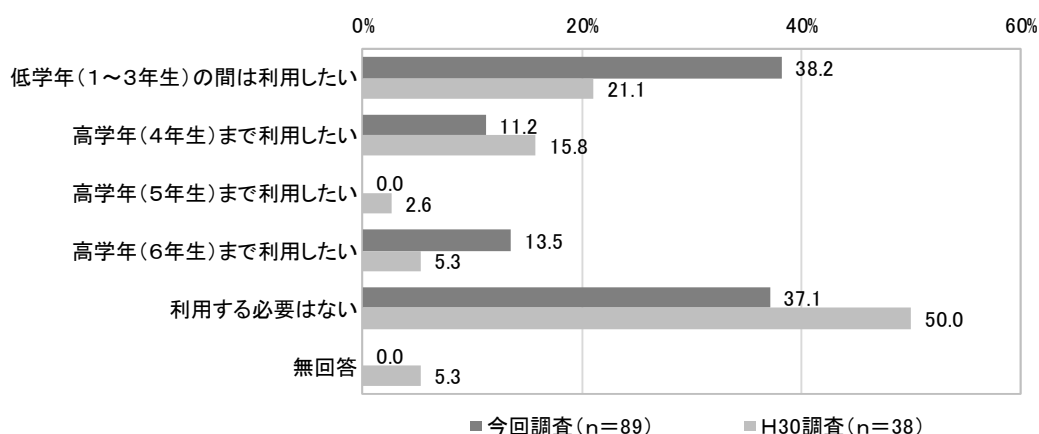
【放課後児童クラブの利用希望】

問 22 問 20 または問 21 で「放課後児童クラブ」を選択した方にうかがいます。
 お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、長期休業期間（春・夏・冬休み）中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（事業の利用には、前記のとおり一定の利用料がかかります）利用希望の有無と利用したい時間帯について、それぞれお答えください。

■問 22 土曜日の利用希望について

土曜日の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（38.2%）（34名）が最も多く、次いで「利用する必要はない」（37.1%）（33名）となった。

利用したい時間帯は、開始時間「8時～8時59分」（50.0%）（28名）、終了時間「18時～18時59分」（28.6%）（16名）が最も多い。



H30 調査と比較すると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が17.1%、「高学年（6年生）まで利用したい」が8.2%増加し、「利用する必要はない」が12.9%減少した。

放課後児童クラブの学年別利用希望時間（土曜日）

開始時間	1～3年生		4年生		5年生		6年生		合計	
	R 5	H 30	R 5	H 30	R 5	H 30	R 5	H 30	R 5	H 30
8時前	2	0	0	0	0	0	2	0	4	0
8時～8時59分	17	4	8	2	0	1	3	1	28	8
9時～9時59分	9	3	2	1	0	0	7	1	18	5
10時以降	6	1	0	1	0	0	0	0	6	2
無回答	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
総計	34	8	10	6	0	1	12	2	56	17

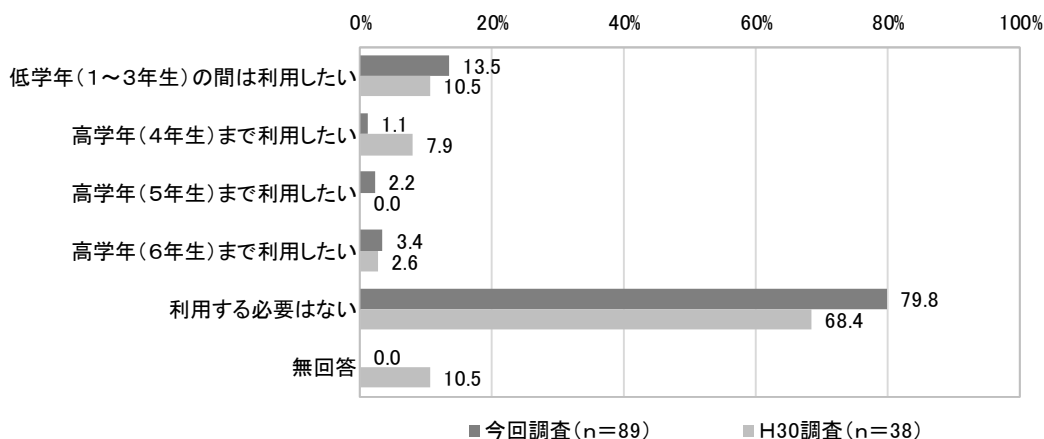
終了時間	1～3年生		4年生		5年生		6年生		合計	
	R 5	H 30	R 5	H 30	R 5	H 30	R 5	H 30	R 5	H 30
15時前	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
15時～15時59分	3	1	2	0	0	0	0	0	5	1
16時～16時59分	7	1	2	1	0	0	2	0	11	2
17時～17時59分	9	3	3	2	0	1	2	2	14	8
18時～18時59分	10	2	1	0	0	0	5	0	16	2
19時以降	4	0	2	1	0	0	3	0	9	1
無回答	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
総計	34	8	10	6	0	1	12	2	56	17

※網掛け部分については各集計の最大値を表示

■問 22 日曜日・祝日の利用希望について

日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」(79.8%) (71名) が最も多く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(13.5%) (12名) となった。

利用したい時間帯は、開始時間「8時～8時59分」(61.1%) (11名)、終了時間「17時～17時59分」(33.3%) (6名) が最も多い。



H30 調査と比較すると、「利用する必要はない」が 11.4%増加し、「高学年(4年生)まで利用したい」が 6.8%減少した。

放課後児童クラブの学年別利用希望時間(日曜日・祝日)

開始時間	1～3年生		4年生		5年生		6年生		合計	
	R5	H30	R5	H30	R5	H30	R5	H30	R5	H30
8時前	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
8時～8時59分	6	3	1	1	2	0	2	0	11	4
9時～9時59分	4	0	0	1	0	0	0	1	4	2
10時以降	1	1	0	0	0	0	1	0	2	1
無回答	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
総計	12	4	1	3	2	0	3	1	18	8

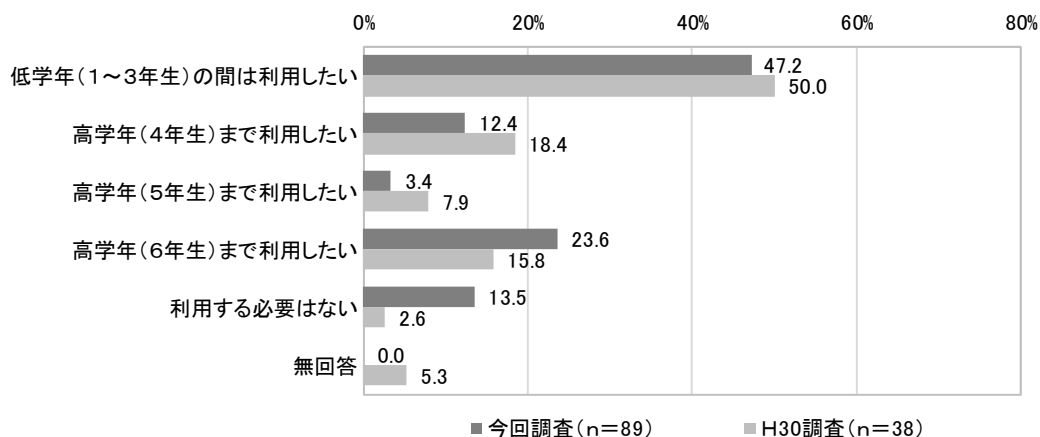
終了時間	1～3年生		4年生		5年生		6年生		合計	
	R5	H30	R5	H30	R5	H30	R5	H30	R5	H30
15時前	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0
15時～15時59分	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
16時～16時59分	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0
17時～17時59分	4	2	1	1	1	0	0	1	6	4
18時～18時59分	3	1	0	0	0	0	1	0	4	1
19時以降	1	0	0	1	1	0	0	0	2	1
無回答	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
総計	12	4	1	3	2	0	3	1	18	8

※網掛け部分については各集計の最大値を表示

■問 22 長期休業期間中の利用希望について

長期休業期間の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（47.2%）が最も多く、次いで「高学年（6年生）まで利用したい」（23.6%）、「利用する必要はない」（13.5%）となった。

利用したい時間帯は、開始時間「8時～8時59分」（57.1%）（44名）、終了時間「18時～18時59分」（31.2%）（24名）が最も多い。



H30 調査と比較すると、「高学年（4年生）まで利用したい」が6.0%、「高学年（5年生）まで利用したい」が4.5%減少し、「高学年（6年生）まで利用したい」が7.8%増加していることから、利用希望の高学年化の傾向が見られる。また、低学年の利用希望に大きな変化は見られない。

放課後児童クラブの学年別利用希望時間（長期休業期間中）

開始時間	1～3年生		4年生		5年生		6年生		合計	
	R 5	H 30	R 5	H 30	R 5	H 30	R 5	H 30	R 5	H 30
8時前	4	0	0	0	0	0	3	0	7	0
8時～8時59分	25	7	9	4	3	3	7	4	44	18
9時～9時59分	12	9	2	1	0	0	10	2	24	12
10時以降	1	1	0	1	0	0	1	0	2	2
無回答	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3
総計	42	19	11	7	3	3	21	6	77	35

終了時間	1～3年生		4年生		5年生		6年生		合計	
	R 5	H 30	R 5	H 30	R 5	H 30	R 5	H 30	R 5	H 30
15時前	1	1	0	0	0	0	1	0	2	1
15時～15時59分	4	2	2	0	0	0	0	0	6	2
16時～16時59分	9	1	3	0	0	0	3	1	15	2
17時～17時59分	9	12	3	4	1	2	3	3	16	21
18時～18時59分	14	2	1	1	1	1	8	1	24	5
19時以降	5	0	2	1	1	0	6	1	14	2
無回答	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
総計	42	19	11	7	3	3	21	6	77	35

※網掛け部分については各集計の最大値を表示

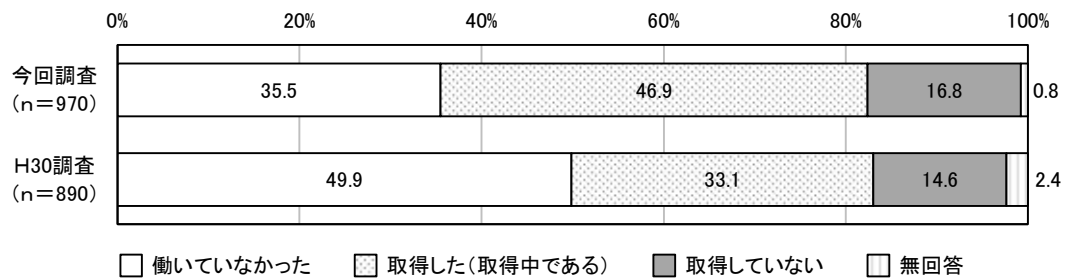
11. 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について

【育児休業の取得有無】

問 23 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

■母親の取得状況

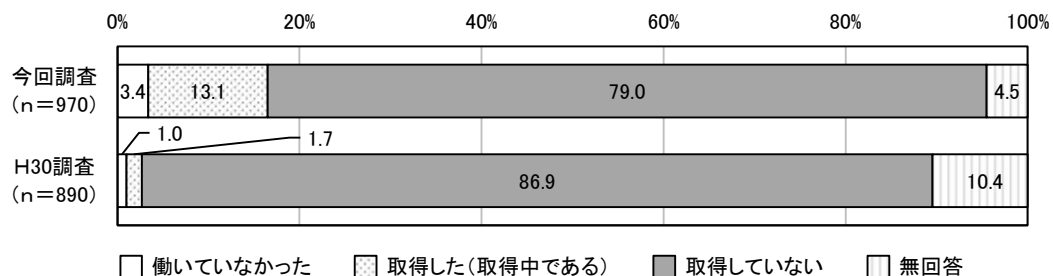
母親の育児休業の取得状況は、「取得した（取得中である）」（46.9%）が最も多く、次いで「働いていなかった」（35.5%）となった。



H30 調査と比較すると、「取得した（取得中である）」が 13.8%増加し、「働いていなかった」が 14.4%減少した。

■父親の取得状況

父親の育児休業の取得状況は、「取得していない」が 79.0%と圧倒的に多く、「取得した（取得中である）」は 13.1%となった。



H30 調査と比較すると、「取得した（取得中である）」が 11.4%増加し、「取得していない」が 7.9%減少した。

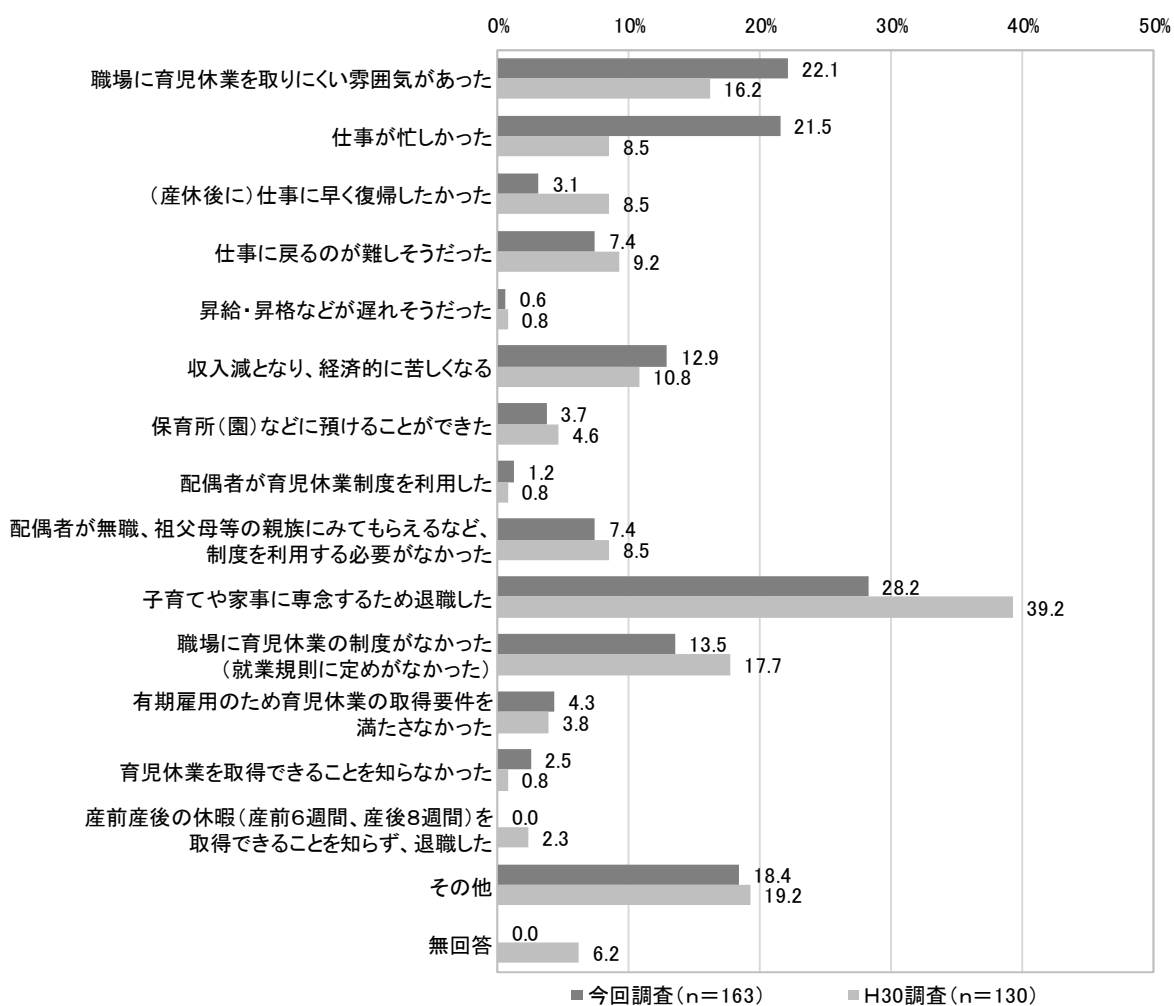
【育児休業を取得していない理由】

問 23 取得していない理由をお選びください。(当てはまるものすべてを選択)

◆回答対象者：問 23 育児休業の取得有無で「取得していない」を選択した方

■取得していない理由（母親）

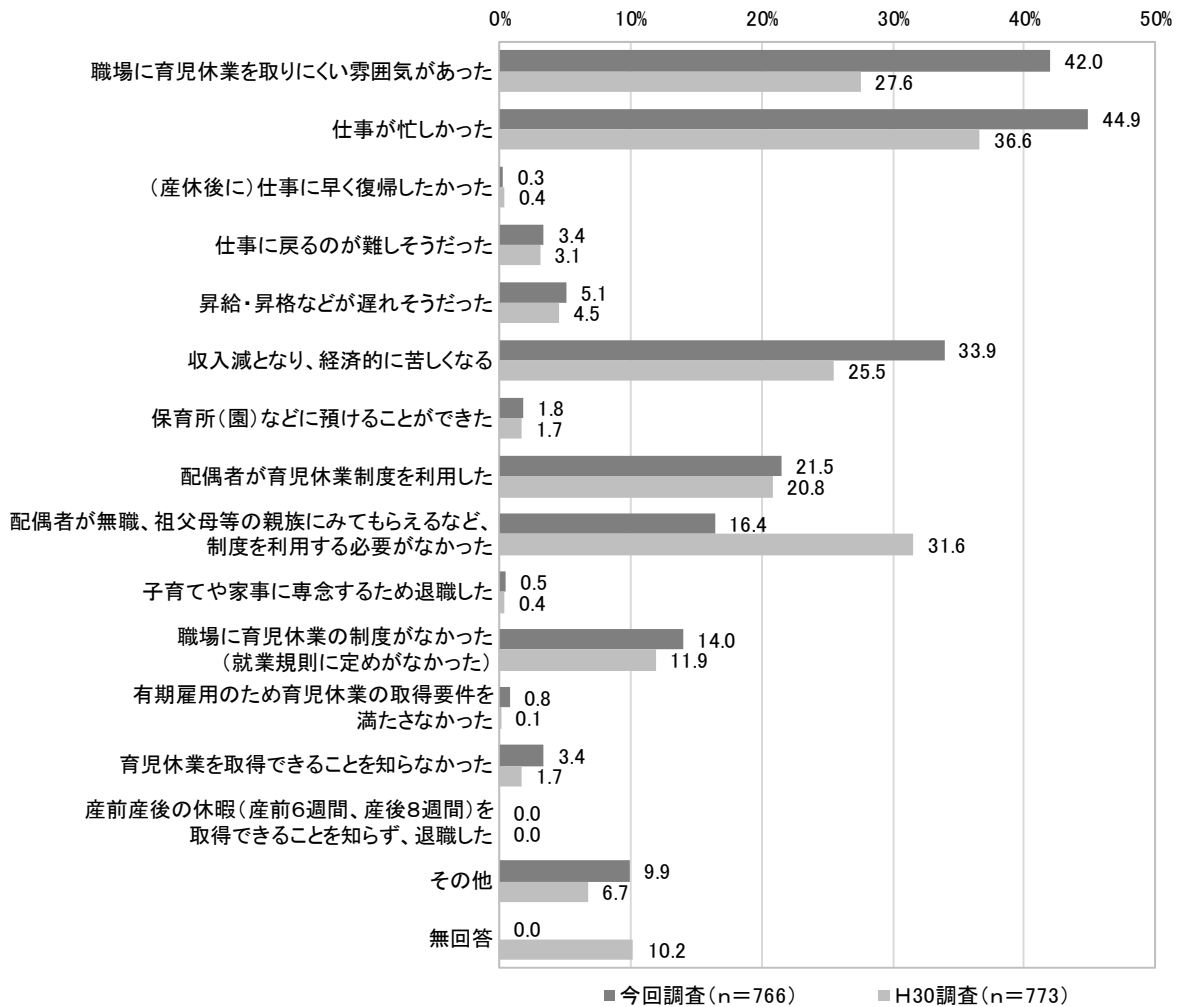
母親で育児休業を「取得していない」方の理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」(28.2%)が最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(22.1%)、「仕事が忙しかった」(21.5%)となった。



H30 調査と比較すると、「子育てや家事に専念するために退職した」が 11.0%、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が 4.2%減少し、「職場に育児休暇を取りにくい雰囲気があった」が 5.9%、「仕事が忙しかった」が 13.0%増加した。

■取得していない理由（父親）

父親で育児休業を「取得していない」方の理由は、「仕事が忙しかった」（44.9%）が最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（42.0%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（33.9%）、「配偶者が育児休業制度を利用した」（21.5%）となった。



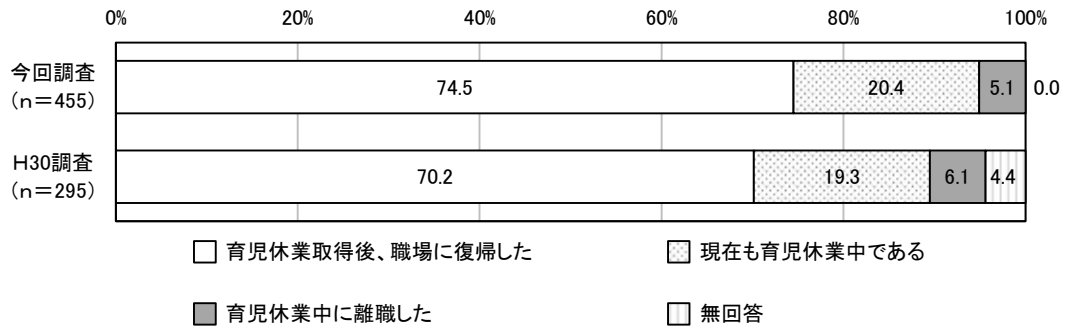
H30 調査と比較すると、「制度を利用する必要がなかった」が 15.2%減少し、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 14.4%、「仕事が忙しかった」が 8.3%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 8.4%増加した。

【職場復帰の有無】

問 24 問 23 で「取得した（取得中である）」を選択した方にうかがいます。
 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

■母親の職場復帰状況

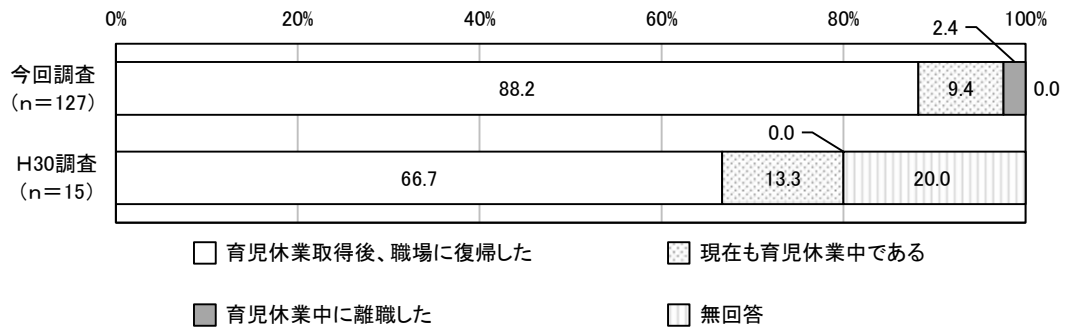
母親で育児休業を「取得した（取得中である）」方の職場復帰状況については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が74.5%となった。



H30 調査と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が4.3%増加した。

■父親の職場復帰状況

父親で育児休業を「取得した（取得中である）」方の職場復帰状況については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が88.2%となった。



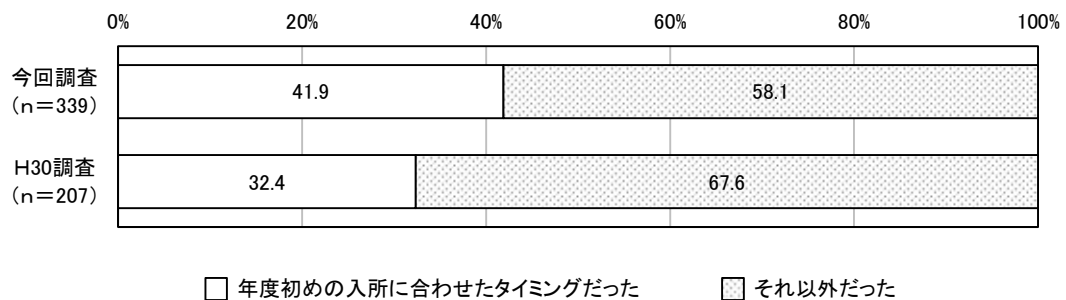
※問 25-1～問 25-6 までは、問 24 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

【育児休業から職場復帰へのタイミング】

問 25-1 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか、あるいはそれ以外でしたか。
 ※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。

■職場復帰へのタイミング（母親）

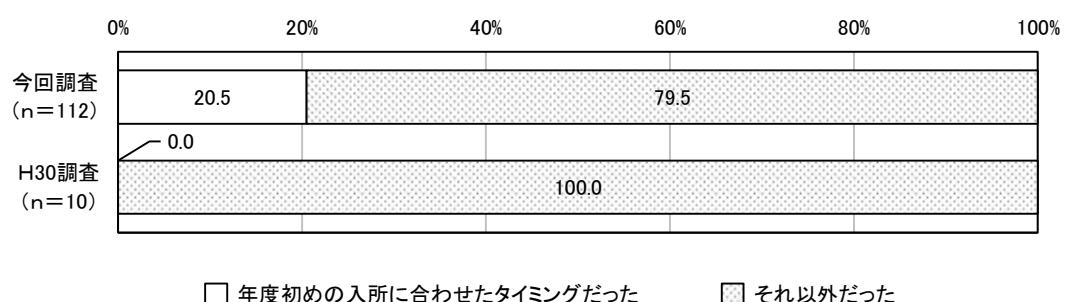
母親で「育児休業取得後、職場に復帰した」方の職場復帰のタイミングは、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が41.9%、「それ以外だった」が58.1%となった。



H30 調査と比較すると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が9.5%増加した。

■職場復帰へのタイミング（父親）

父親で「育児休業取得後、職場に復帰した」方の職場復帰のタイミングは、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が20.5%、「それ以外だった」が79.5%となった。

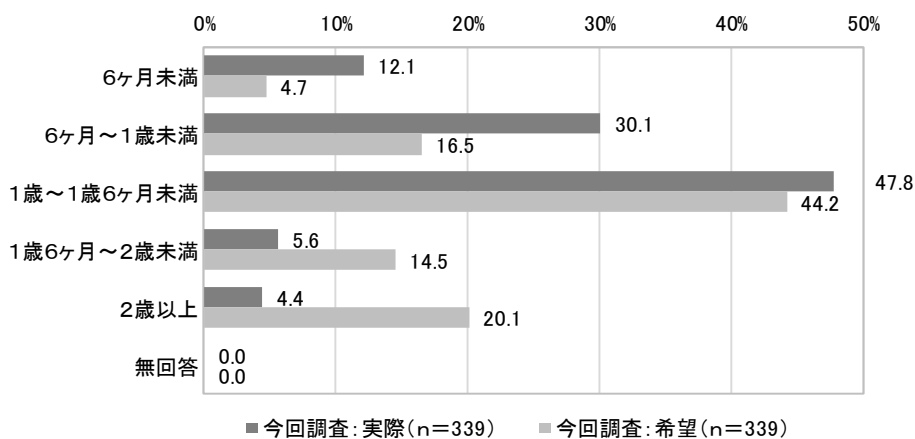


【育児休業の実際の取得期間と希望の取得期間】

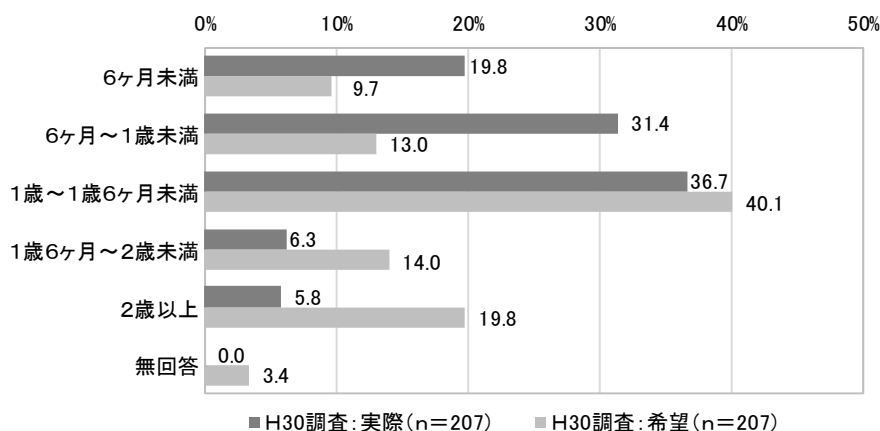
問 25-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

■実際の取得期間と希望の取得期間（母親）

母親が職場復帰した時期は、子どもが「1歳～1歳6ヶ月未満」（47.8%）の頃が最も多く、次いで「6ヶ月～1歳未満」（30.1%）の頃となった。希望する育児休業の取得期間は、「1歳～1歳6ヶ月未満」（44.2%）が最も多く、次いで「2歳以上」（20.1%）となった。



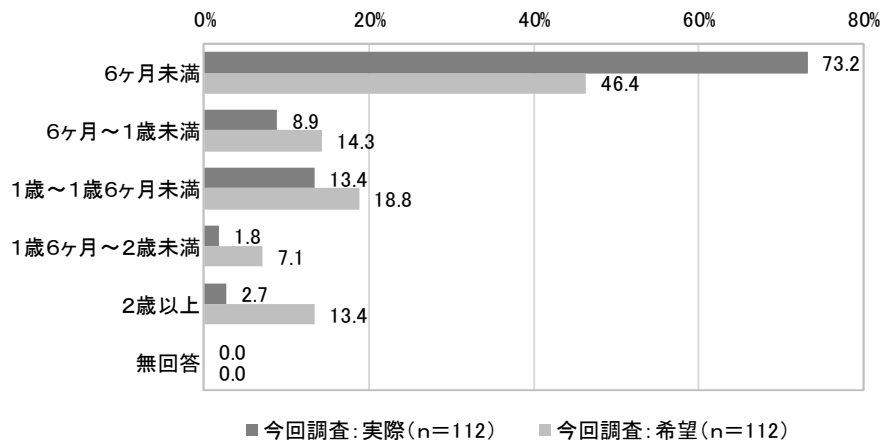
【参考：H30 調査の集計結果】



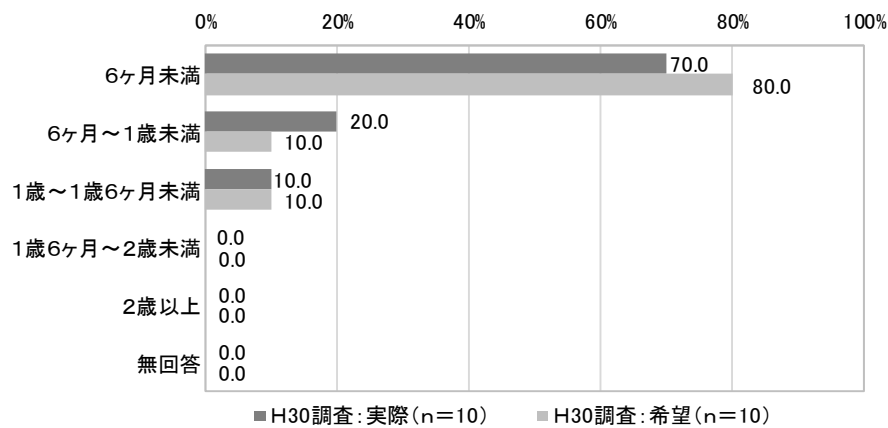
H30 調査と比較すると、実際の職場復帰は「1歳～1歳6ヶ月未満」が 11.1%増加し、「6ヶ月未満」が 7.7%、「6ヶ月～1歳未満」が 1.3%減少した。希望する育児休業の取得期間は「6ヶ月未満」が 5.0%減少し、「1歳～1歳6ヶ月未満」が 4.1%、「6ヶ月～1歳未満」が 3.5%増加した。

■ 実際の取得期間と希望の取得期間（父親）

父親が職場復帰した時期は、子どもが「6ヶ月未満」(73.2%)が最も多く、希望する育児休業の取得期間は、子どもが「6ヶ月未満」(46.4%)が最も多かった。



【参考：H30調査の集計結果】



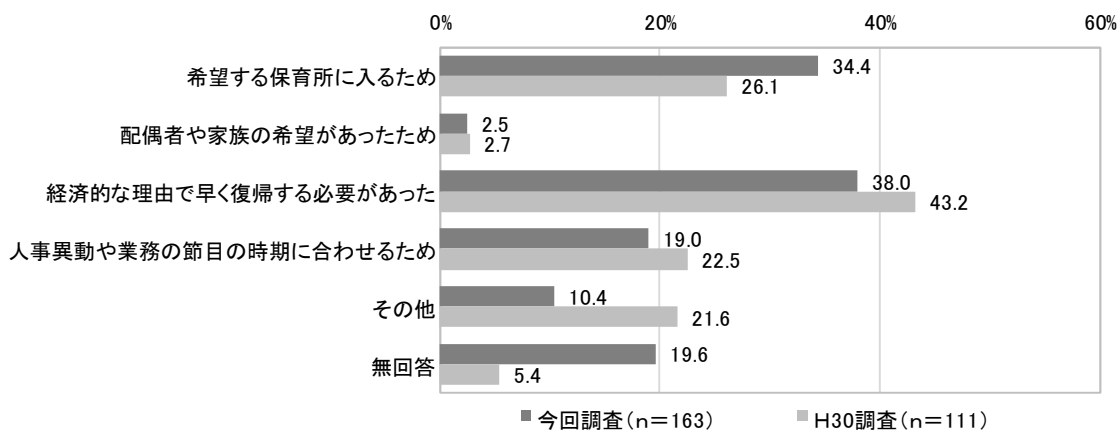
【早く復帰した理由】

問 25-3 希望より早く復帰した理由についてお答えください。(当てはまるものすべてを選択)

■希望より早く復帰した理由（母親）

◆回答対象者：問 25-2 実際の職場復帰時期について（母親）で希望より早く復帰した方

母親が希望より早く復帰した理由は、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(38.0%)が最も多く、次いで「希望する保育所に入るため」(34.4%)、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(19.0%)となった。



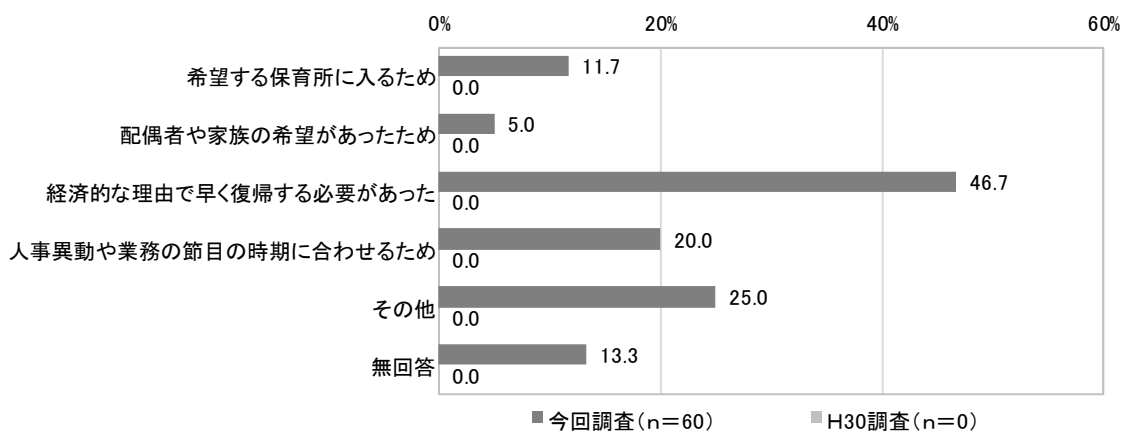
H30 調査と比較すると、「希望する保育所に入るため」が 8.3%増加し、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 5.2%減少した。

■希望より早く復帰した理由（父親）

◆回答対象者：問 25-2 実際の職場復帰時期について（父親）で希望より早く復帰した方

父親が希望より早く復帰した理由は、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(46.7%)が最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(20.0%)、「その他」(25.0%)となった。

なお、H30 調査では回答対象者はいなかった。



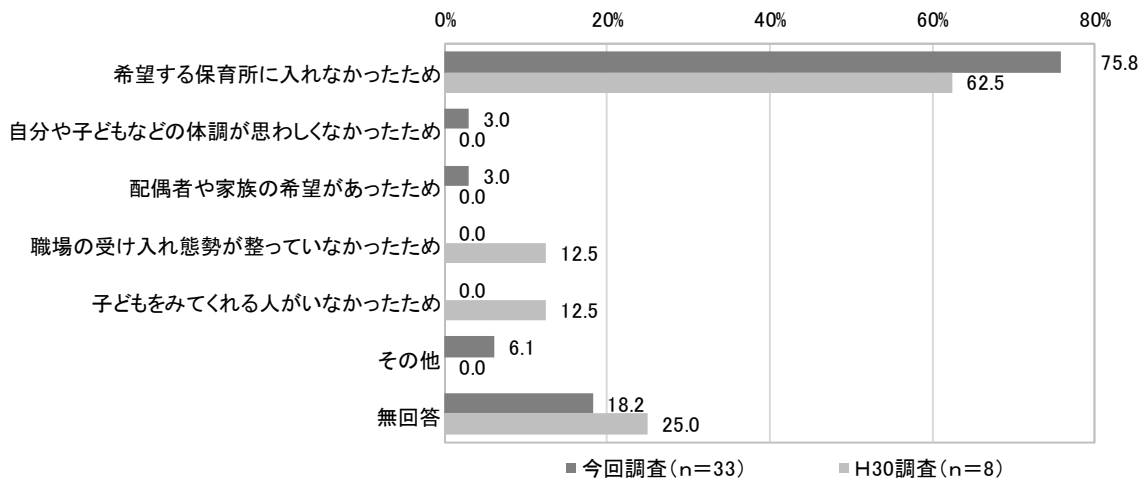
【遅く復帰した理由】

問 25-3 希望より遅く復帰した理由についてお答えください。(当てはまるものすべてを選択)

■希望より遅く復帰した理由（母親）

◆回答対象者：問 25-2 実際の職場復帰時期（母親）について希望より遅く復帰した方

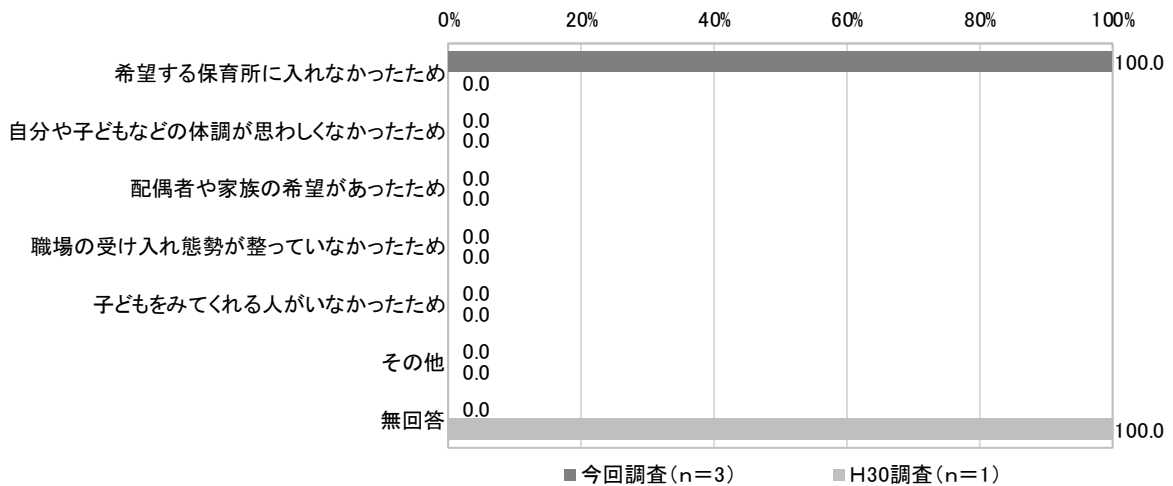
母親が希望より遅く復帰した理由は、全体 33 名の内「希望する保育所に入れなかったため」(75.8%) (25 名) が最も多くなった。



■希望より遅く復帰した理由（父親）

◆回答対象者：問 25-2 実際の職場復帰時期（父親）について希望より遅く復帰した方

父親が希望より遅く復帰した理由は、全 3 名の内、「希望する保育所に入れなかったため」(100.0%) (3 名) となった。

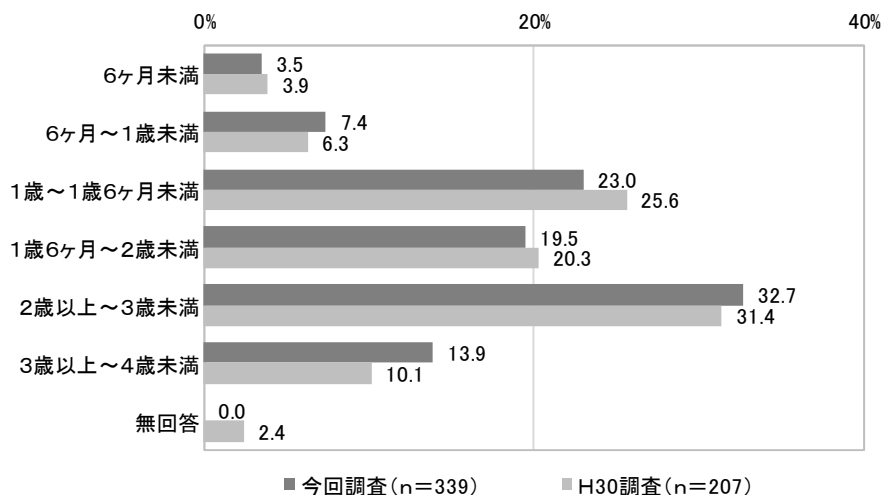


【育児休暇が3歳まで取得できる場合に希望する復帰時期のお子さんの年齢】

問 25-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

■ 育児休暇希望時期とするお子さんの年齢（母親）

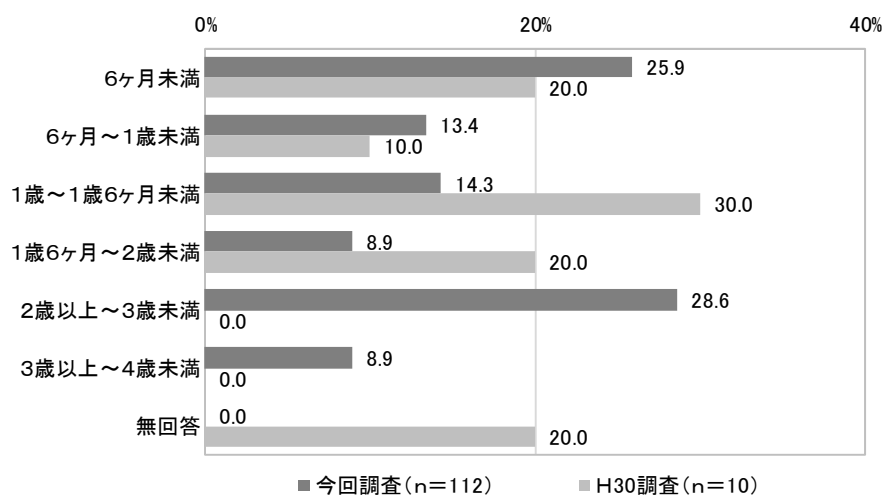
母親が育児休業希望時期とするお子さんの年齢は「2歳以上～3歳未満」（32.7%）が最も多く、次いで「1歳～1歳6ヶ月未満」（23.0%）となった。



H30 調査と比較すると、「6ヶ月～1歳未満」が1.1%、「2歳以上～3歳未満」が1.3%、「3歳以上～4歳未満」が3.8%増加し、「1歳～1歳6ヶ月未満」が2.6%減少した。6ヶ月から2歳未満が減少傾向、2歳から4歳が増加傾向となっている。

■ 育児休暇希望時期とするお子さんの年齢（父親）

父親が育児休業希望時期とするお子さんの年齢は「2歳以上～3歳未満」（28.6%）が最も多く、次いで「6ヶ月未満」（25.9%）となった。

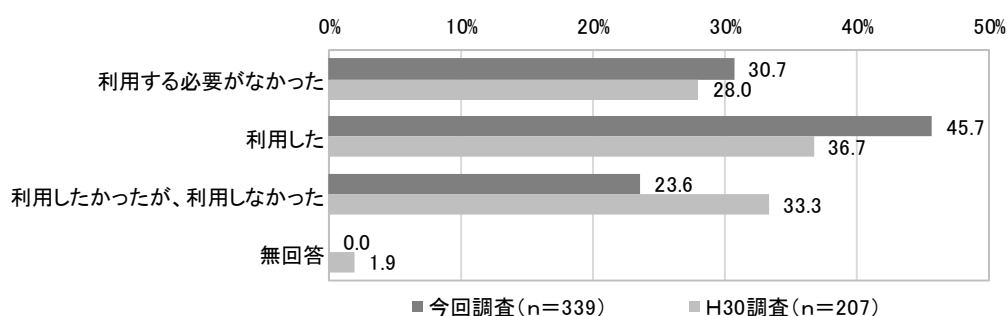


【職場復帰時の短時間勤務制度の利用有無】

問 25-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

■短時間勤務制度の利用有無（母親）

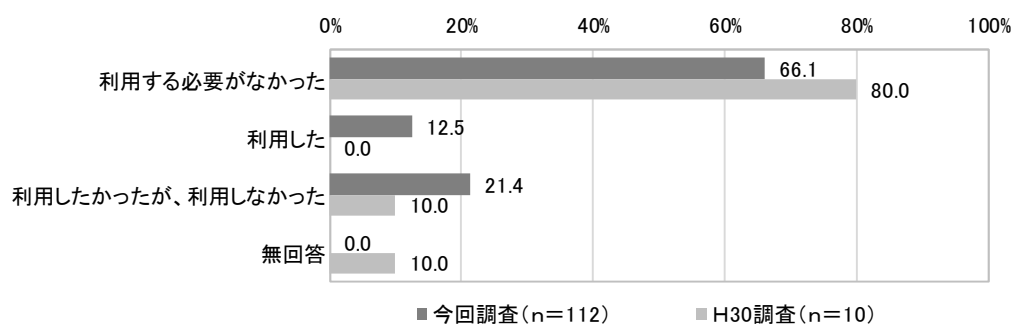
母親の職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況は「利用した」（45.7％）が最も多く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともとフルタイムだった）」（30.7％）、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」（23.6％）となった。



H30 調査と比較すると、「利用する必要がなかった」が 2.7％、「利用した」が 9.0％増加し、「利用したかったが、利用しなかった」が 9.7％減少した。

■短時間勤務制度の利用有無（父親）

父親の職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況は「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともとフルタイムだった）」（66.1％）が最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」（21.4％）、「利用した」（12.5％）となった。



H30 調査と比較すると、「利用する必要がなかった」が 13.9％減少し、「利用した」が 12.5％、「利用したかったが、利用しなかった」が 11.4％増加した。

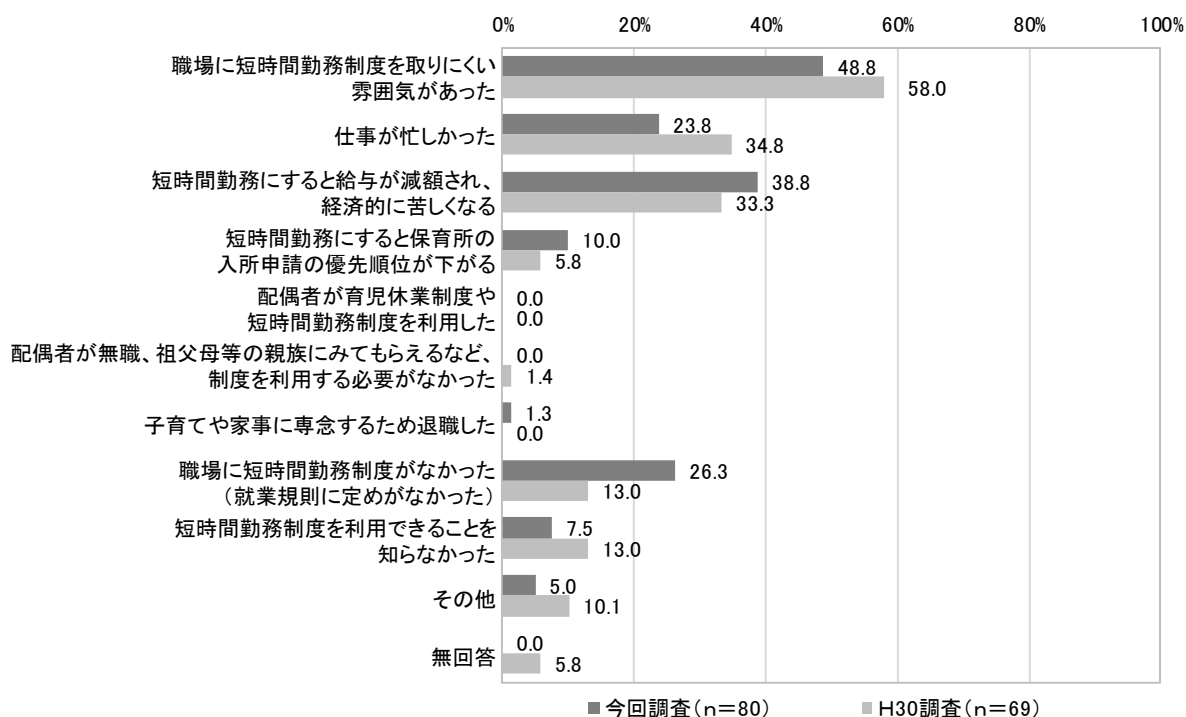
【短時間勤務制度を利用しなかった理由】

問 25-6 問 25-5 で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」を選択した方
 うかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。（当てはまるものすべてを選択）

■利用しなかった理由（母親）

母親における短時間勤務制度の「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」
 方の理由は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」（48.8%）が最も多く、次
 いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」（38.8%）、「職場に短時間勤
 務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（26.3%）、「仕事が忙しかった」（23.8%）、
 となった。

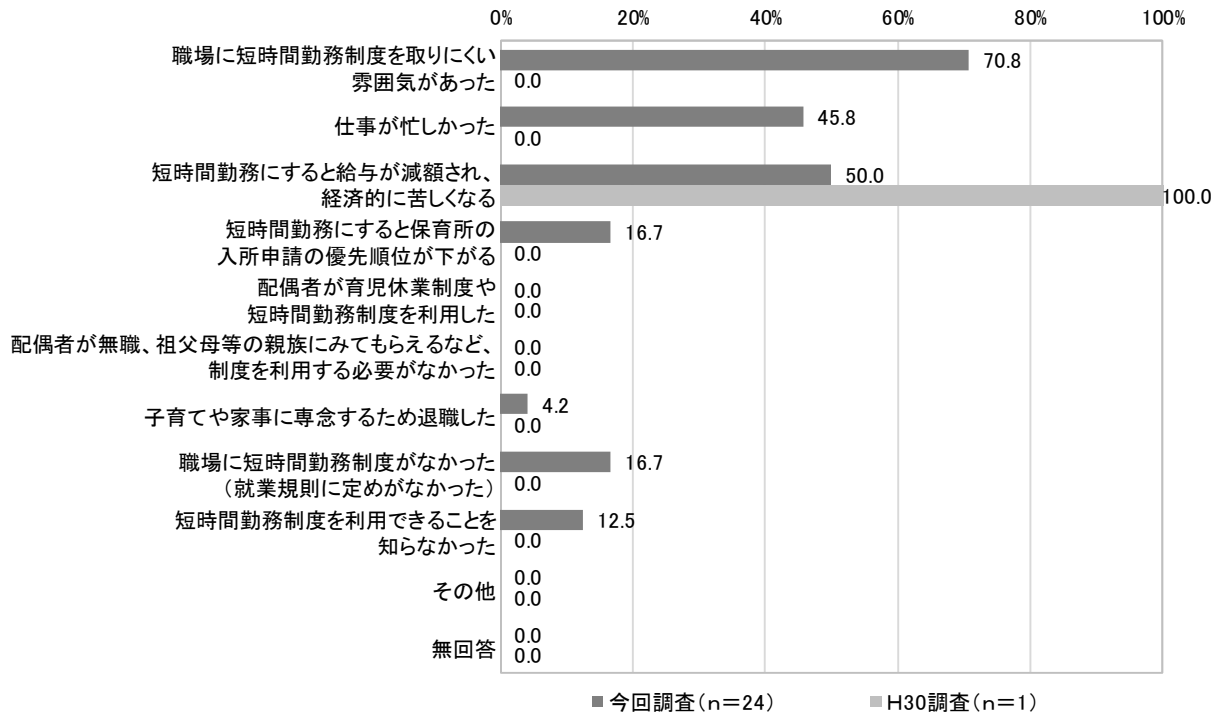


H30 調査と比較すると、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 9.2%、「仕事が忙しかった」が 11.0%減少し、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が 5.5%、「職場に短時間勤務制度がなかった」が 13.3%増加した。

■ 利用しなかった理由（父親）

父親における短時間勤務制度の「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」方の理由は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」（70.8%）が最も多く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」（50.0%）、「仕事が忙しかった」（45.8%）となり、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」と「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が同率（16.7%）となった。

なお、H30 調査では回答対象者は1名（無回答）であった。

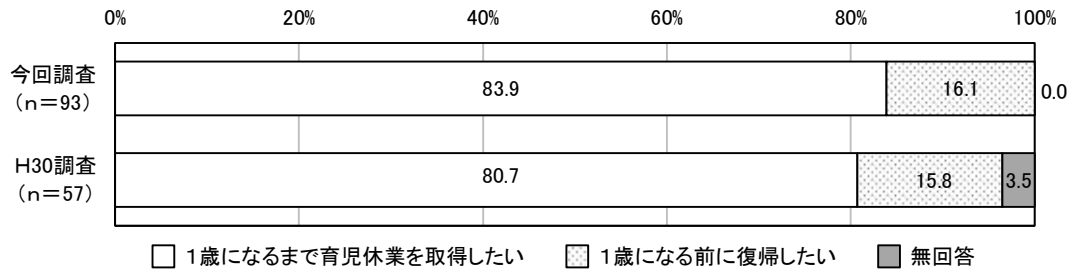


【1歳になるまでの育児休業の取得希望有無】

問 26 問 24 で「現在も育児休業中である」を選択した方にうかがいます。
 お子さんが1歳になったときに預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得
 しますか。または、このような事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

■取得希望の有無（母親）

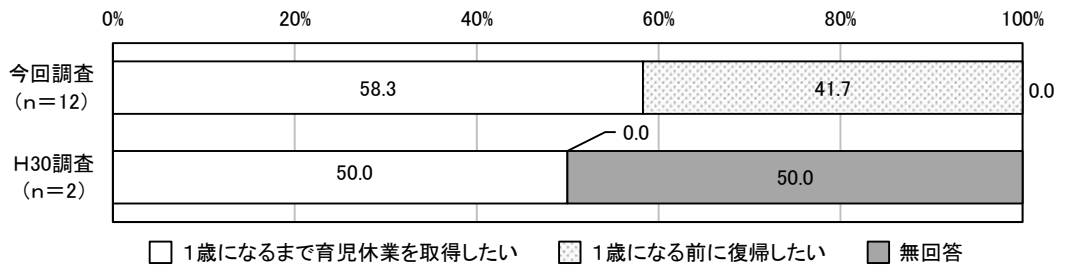
「1歳になるまで育児休業を取得したい」が83.9%、「1歳になる前に復帰したい」が16.1%
 となった。



H30 調査と比較するにあたり、H30 調査の無回答を除くと「1歳になるまで育児休業を取得したい」は
 0.3%増加し、「1歳になる前に復帰したい」は0.2%減少しており、大きな変化は見られない。

■取得希望の有無（父親）

「1歳になるまで育児休業を取得したい」が58.3%、「1歳になる前に復帰したい」が41.7%
 となった。

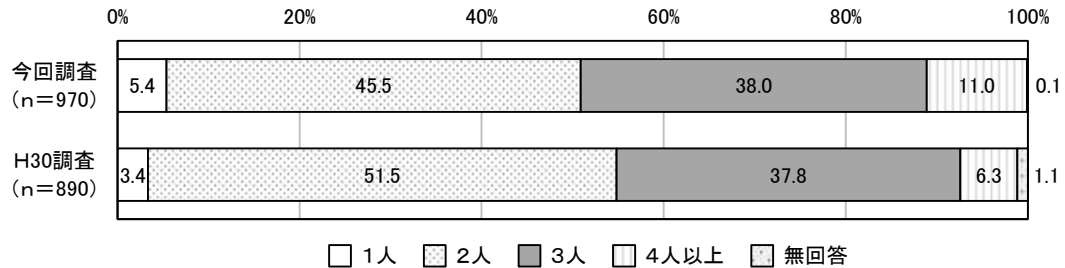


12. その他

【理想の子どもの人数】

問 27 理想とするお子さんの人数は何人ですか。

理想と考える子どもの人数は、「2人」(45.5%)が最も多く、次いで「3人」(38.0%)、「4人以上」(11.0%)となった。



H30調査と比較すると、「1人」が2.0%、「4人以上」がそれぞれ4.7%増加し、「2人」が6.0%減少した。

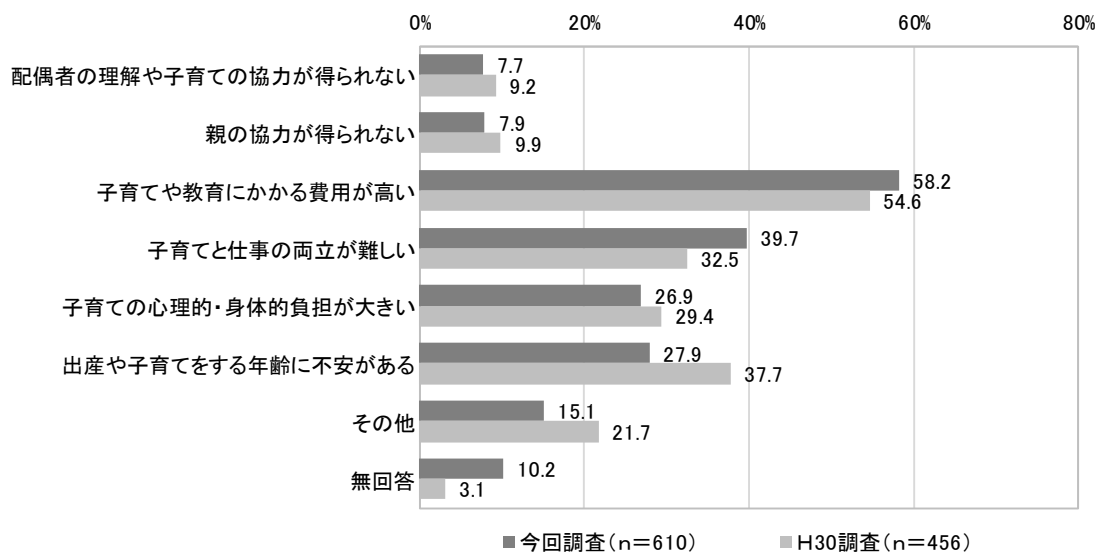
【理想の人数よりも少ない理由】

問 28 お子さんの実際の子どもの人数(これからの予定がある場合も含む)が理想とする人数より少ない方にお聞きします。

お子さんの実際の子どもの人数(これからの予定がある場合も含む)が理想とする人数より少ない理由はなんですか。(主なものを3つまで選択)

◆回答対象者：問3 きょうだいの数が問27 理想とするお子さんの人数より少ない方

実際の子どもの人数が理想の人数より少ない理由は、「子育てや教育にかかる費用が高い」(58.2%)が最も多く、次いで「子育てと仕事の両立が難しい」(39.7%)、「出産や子育てをする年齢に不安がある」(27.9%)、「子育ての心理的・身体的負担が大きい」(26.9%)となった。

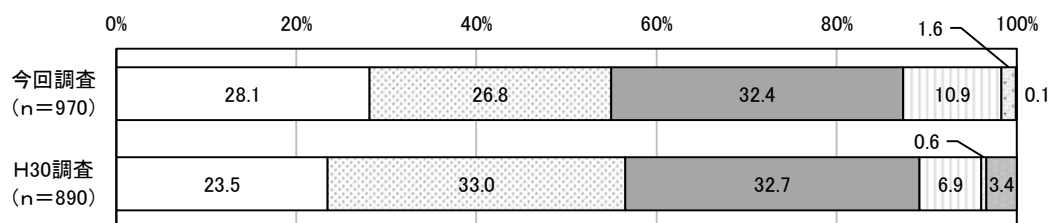


H30調査と比較すると、「子育てや教育にかかる費用が高い」が3.6%、「子育てと仕事の両立が難しい」が7.2%増加し、「出産や子育てをする年齢に不安がある」が9.8%減少した。

【子育て環境や支援への満足度】

問 29 本市の子育ての環境や支援への満足度について、お答えください。

本市の子育ての環境や支援への満足度は、「どちらでもない」(32.4%)が最も多く、次いで「満足度が低い」(28.1%)、「満足度がやや低い」(26.8%)となった。



- 満足度が低い
- 満足度がやや低い
- どちらでもない
- 満足度がやや高い
- 満足度が高い
- 無回答

H30 調査と比較すると、「満足度が低い」が4.6%、「満足度がやや高い」が4.0%、「満足度が高い」が1.0%増加し、「満足度がやや低い」が6.2%減少した。

【クロス集計】 市の「子育て支援の満足度」を子どもの「年齢別」で見ると、「満足度が低い」と「満足度がやや低い」の割合を足した値は、「0歳(R5.4 未満)」で5割を切っており、「4歳」で6割を超えている。他の年齢は5割台となっている。

本市の子育ての環境や支援への満足度について

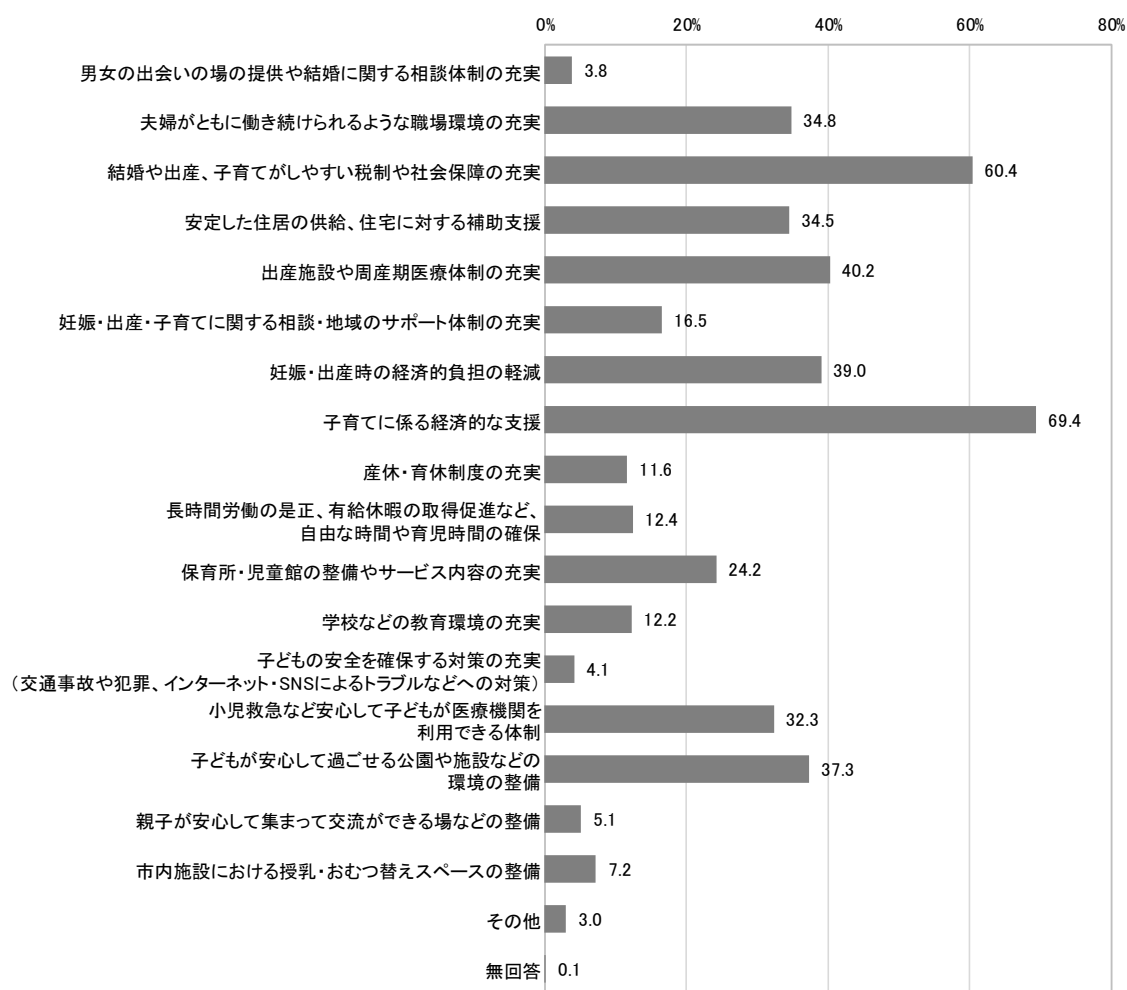
		合計	満足度が低い	満足度がやや低い	どちらでもない	満足度がやや高い	満足度が高い	無回答
全体		970	273	260	314	106	16	1
		100.0%	28.1%	26.8%	32.4%	10.9%	1.6%	0.1%
年齢	0歳(R5.4以降)	99	20	24	41	13	1	-
		100.0%	20.2%	24.2%	41.4%	13.1%	1.0%	-
	0歳	160	35	46	47	27	5	-
		100.0%	21.9%	28.8%	29.4%	16.9%	3.1%	-
	1歳	161	45	45	53	14	4	-
		100.0%	28.0%	28.0%	32.9%	8.7%	2.5%	-
	2歳	125	38	34	35	15	3	-
		100.0%	30.4%	27.2%	28.0%	12.0%	2.4%	-
	3歳	115	39	28	40	8	-	-
	100.0%	33.9%	24.3%	34.8%	7.0%	-	-	
4歳	138	43	40	42	12	1	-	
	100.0%	31.2%	29.0%	30.4%	8.7%	0.7%	-	
5歳	170	53	43	55	16	2	1	
	100.0%	31.2%	25.3%	32.4%	9.4%	1.2%	0.6%	
無回答	2	-	-	1	1	-	-	-
	100.0%	-	-	50.0%	50.0%	-	-	-

※網掛け部分については各集計の最大値を表示

【少子化対策に向けて重要だと思うサポート】

問 30 小樽市の少子化対策に向けて、結婚や出産、子育てしやすい環境をつくるには、どのようなサポートが重要とされますか。(主なもの5つまで選択)

少子化対策に向けて重要なことは、「子育てに係る経済的な支援」(69.4%)が最も多く、次いで「結婚や出産、子育てがしやすい税制や社会保障の充実」(60.4%)、「出産施設や周産期医療体制の充実」(40.2%)、「妊娠・出産時の経済的負担の軽減」(39.0%)、「子どもが安心して過ごせる公園や施設などの環境の整備」(37.3%)となった。



■今回調査(n=970)

【クロス集計】「市の少子化対策に向けて、どのようなサポートが重要か」を子どもの「年齢別」で見ると、どの年齢でも、「子育てに係る経済的な支援」の割合が高く、次いで「結婚や出産、子育てがしやすい税制や社会保障の充実」の割合が高くなった。

小樽市の少子化対策に向けて、結婚や出産、子育てしやすい環境をつくるための重要なサポートについて

	合計	男女の出会場の提供や結婚に関する相談体制の充実	夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実	結婚や出産、子育てがしやすい税制や社会保障の充実	安定した住居の供給、住宅に対する補助支援	出産施設や周産期医療体制の充実	妊娠・出産・子育てに関する相談・地域のサポート体制の充実	妊娠・出産時の経済的負担の軽減	子育てに係る経済的な支援	産休・育休制度の充実	長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、自由な時間や育児時間の確保	
全体	970 100.0%	37 3.8%	338 34.8%	586 60.4%	335 34.5%	390 40.2%	160 16.5%	378 39.0%	673 69.4%	113 11.6%	120 12.4%	
年齢	0歳(R5.4以降)	99 100.0%	2 2.0%	23 23.2%	61 61.6%	29 29.3%	41 41.4%	19 19.2%	49 49.5%	79 79.8%	19 19.2%	8 8.1%
	0歳	160 100.0%	7 4.4%	45 28.1%	97 60.6%	49 30.6%	72 45.0%	32 20.0%	75 46.9%	106 66.3%	26 16.3%	15 9.4%
	1歳	161 100.0%	6 3.7%	71 44.1%	101 62.7%	57 35.4%	64 39.8%	27 16.8%	73 45.3%	113 70.2%	19 11.8%	26 16.1%
	2歳	125 100.0%	4 3.2%	44 35.2%	80 64.0%	48 38.4%	48 38.4%	16 12.8%	49 39.2%	94 75.2%	16 12.8%	17 13.6%
	3歳	115 100.0%	3 2.6%	41 35.7%	66 57.4%	43 37.4%	52 45.2%	19 16.5%	42 36.5%	76 66.1%	11 9.6%	12 10.4%
	4歳	138 100.0%	11 8.0%	54 39.1%	86 62.3%	45 32.6%	40 29.0%	19 13.8%	34 24.6%	88 63.8%	14 10.1%	25 18.1%
	5歳	170 100.0%	4 2.4%	59 34.7%	94 55.3%	64 37.6%	73 42.9%	28 16.5%	56 32.9%	116 68.2%	8 4.7%	17 10.0%
	無回答	2 100.0%	-	1 50.0%	1 50.0%	-	-	-	-	1 50.0%	-	-

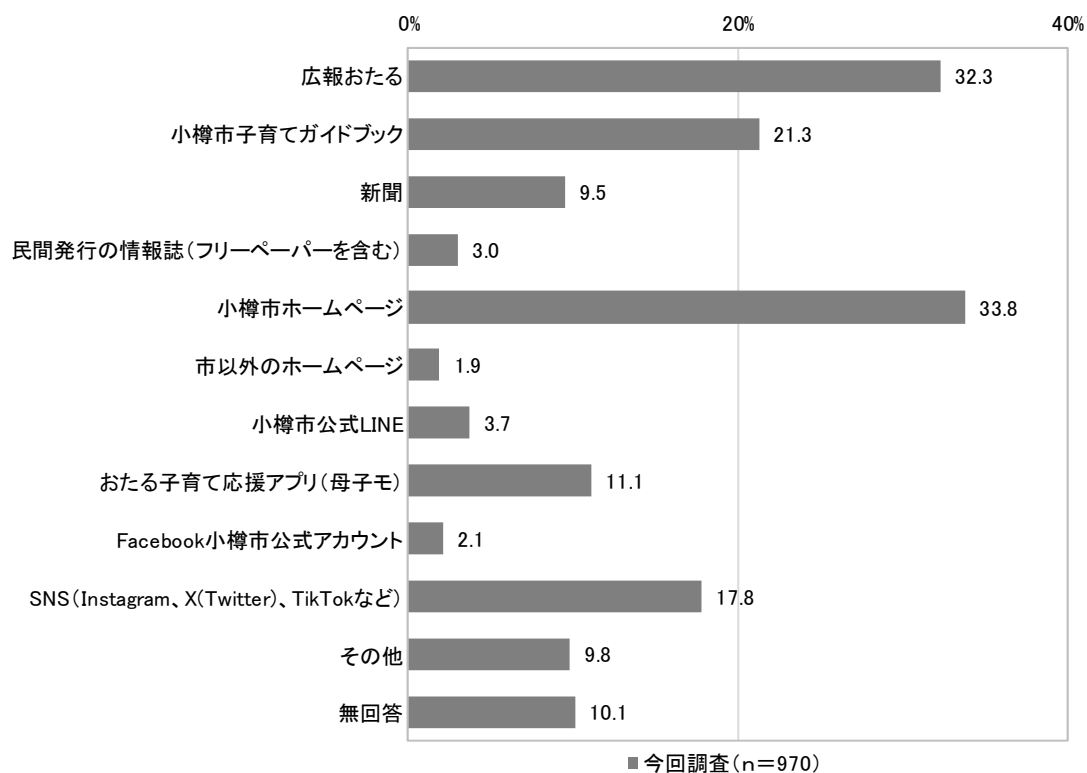
	合計	保育所・児童館の整備やサービス内容の充実	学校などの教育環境の充実	子どもの安全を確保する対策の充実(交通事故や犯罪、インターネット・SNSによるトラブルなどへの対策)	小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制	子どもが安心して過ごせる公園や施設などの環境の整備	親子が安心して集まることができる場などの整備	市内施設における授乳・おむつ替えスペースの整備	その他	無回答	
全体	970 100.0%	235 24.2%	118 12.2%	40 4.1%	313 32.3%	362 37.3%	49 5.1%	70 7.2%	29 3.0%	1 0.1%	
年齢	0歳(R5.4以降)	99 100.0%	26 26.3%	8 8.1%	2 2.0%	28 28.3%	34 34.3%	3 3.0%	14 14.1%	3 3.0%	-
	0歳	160 100.0%	46 28.8%	11 6.9%	3 1.9%	48 30.0%	48 30.0%	12 7.5%	26 16.3%	5 3.1%	-
	1歳	161 100.0%	40 24.8%	8 5.0%	9 5.6%	53 32.9%	55 34.2%	7 4.3%	9 5.6%	2 1.2%	-
	2歳	125 100.0%	33 26.4%	16 12.8%	2 1.6%	38 30.4%	47 37.6%	5 4.0%	7 5.6%	3 2.4%	-
	3歳	115 100.0%	28 24.3%	18 15.7%	3 2.6%	39 33.9%	49 42.6%	6 5.2%	5 4.3%	3 2.6%	-
	4歳	138 100.0%	27 19.6%	24 17.4%	7 5.1%	47 34.1%	58 42.0%	8 5.8%	7 5.1%	3 2.2%	-
	5歳	170 100.0%	34 20.0%	31 18.2%	14 8.2%	60 35.3%	69 40.6%	8 4.7%	2 1.2%	10 5.9%	1 0.6%
	無回答	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	-	-	2 100.0%	-	-	-	-

※網掛け部分については各集計の最大値を表示

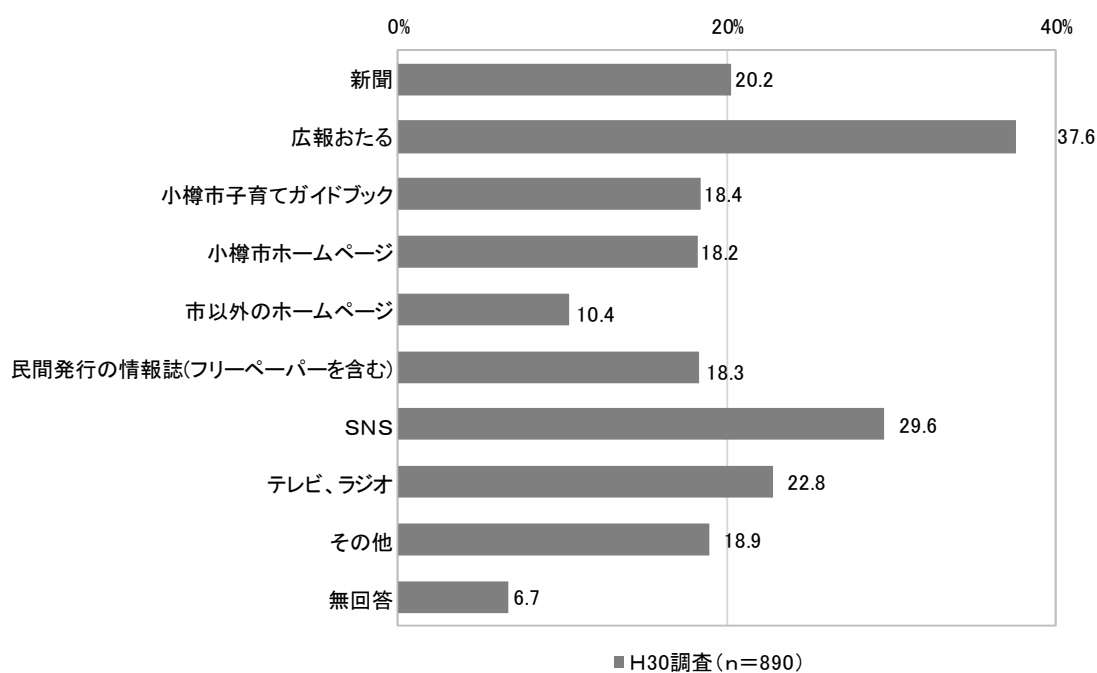
【子育てに関する情報の入手先】

問 31 普段、本市の子育てに関する情報をどこから入手していますか。(主なもの3つまで選択)

子育てに関する情報の入手先については、「小樽市ホームページ」(33.8%)が最も多く、次いで「広報おたる」(32.3%)、「小樽市子育てガイドブック」(21.3%)、「SNS」(17.8%)、となった。



【参考：H30調査の集計結果】



【自由記述回答】

最後に、本市の子育て支援の取組について、ご意見がございましたらご記入ください。

子育て支援の取組について 539 件の意見が得られ、「行政の子育て支援サービスに関する意見」238 件、「生活環境に関する意見」176 件、「保育所・幼稚園などの保育環境等の整備に関する意見」76 件、「労働環境に関する意見」14 件、「その他」35 件となった。

各項目の詳細については、次頁以降に示すとおり。

項 目	R 5	H30	H25
	件数	件数	件数
①行政の子育て支援サービスに関する意見	238	239	195
②生活環境に関する意見	176	137	85
③保育所・幼稚園などの保育環境等の整備に関する意見	76	37	97
④労働環境に関する意見	14	5	10
⑤その他	35	14	15
合計	539	432	402

① 行政の子育て支援サービスに関する意見

行政の子育て支援サービスに関する意見についてみると、「子育てに係る負担軽減や経済的支援について」が60件、「子どもの居場所（児童館、放課後児童クラブなど）について」が29件、「子育て支援の充実について」が27件となった。

①行政の子育て支援サービスに関する意見	件数
子育てに係る負担軽減や経済的支援について	60
子どもの居場所（児童館、放課後児童クラブなど）について	29
子育て支援の充実について	27
医療費助成について	20
子育て支援センター事業について	17
学校教育について	16
産前・産後の支援について	9
子育て支援に関する情報発信について	8
一時的な託児や生活援助などについて	7
子育てに係る相談支援体制について	6
各種サービスの地域格差の解消	5
ひとり親世帯に対する支援について	5
医療サービスなどの広域利用について	4
子ども向けイベントについて	4
子育て世帯の交流の場について	3
多子世帯に対する支援について	3
子どもの健康について	2
障がいのある子どもへの支援について	2
その他	11
合計	238

【参考：過去の調査時に多かった主な意見】

H30 調査時

乳幼児医療等の医療費助成の拡大	27
子育て支援情報の提供・周知方法の工夫充実	19
金銭的支援	15

H25 調査時

子育て支援情報の提供・周知方法の工夫充実	24
乳幼児医療等の医療費助成の拡大	16
遊び場について	15

② 生活環境に関する意見

生活環境に関する意見についてみると、「遊び場について（公園・屋内遊戯場など）」が 105 件、「産科・小児科・小児救急の充実について」が 32 件となった。

②生活環境に関する意見	件数
遊び場について（公園・屋内遊戯場など）	105
産科・小児科・小児救急の充実について	32
子連れで利用しやすい施設の充実について	8
子どもの安全について	7
社会教育施設などについて	5
子育てがしやすい生活環境の整備について	4
ベビーカーの通りやすい歩道・道路の管理などについて	3
その他	12
合計	176

【参考：過去の調査時に多かった主な意見】

H30 調査時

安心して遊べる公園の整備、遊具の整備・拡充	73
遊べる施設について	25
子連れで利用しやすい施設設備	20

H25 調査時

安心して遊べる公園の整備、遊具の整備・拡充	38
子連れで利用しやすい施設設備	26
図書館について	4

③ 保育所・幼稚園などの保育環境等の整備に関する意見

保育所・幼稚園などの保育環境等の整備に関する意見についてみると、「入園・入所に関して」が12件、「病児保育の充実」、「保育所の入所待ち児童（潜在的待機児童）の解消」が10件となった。

③保育所・幼稚園などの保育環境等の整備に関する意見	件数
入園・入所に関して	12
病児保育の充実	10
保育所の入所待ち児童（潜在的待機児童）の解消	10
保育士・幼稚園教諭の確保について	9
保育料について（無償化など）	8
一時預かり保育の充実	6
保育所・幼稚園などの施設の改善・充実	6
給食の無償化について	4
おむつのサブスク・無償化について	2
公立保育所の配置見直しについて	1
その他	8
合計	76

【参考：過去の調査時に多かった主な意見】

H30 調査時

保育所、幼稚園の保育料の軽減・助成	12
休日保育の充実	6
病気や病後時の際の保育の充実	4

H25 調査時

保育所、幼稚園の保育料の軽減・助成	38
延長保育（開始・終了）の充実	12
保育士の資質向上、保育内容の充実、 保育士間の保育内容の均一化	7

④ 労働環境に関する意見

労働環境に関する意見についてみると「育児休業・休暇を取得しやすい環境づくり」が11件となった。

④労働環境に関する意見	件数
育児休業・休暇を取得しやすい環境づくり	11
子育て世代の時間外労働時間の削減	2
子育て世帯に対する雇用先の拡充	1
合計	14

【参考：過去の調査時に多かった主な意見】

H30 調査時

男性の育児休業の取得促進	2
民間企業への子育て家庭に対する理解・配慮の啓発促進	1
育児休暇制度の充実	1

H25 調査時

育児休業制度等の民間企業への啓発促進	2
子育て家庭に対する雇用先の拡充・求人年齢層の拡大	2
男性の育児休業の取得促進	1
民間企業への子育て家庭に対する理解・配慮の啓発促進	1
育児休暇制度の充実	1

⑤ その他

その他の意見についてみると、「子どもに関する予算の拡充について」が13件となった。

⑤その他	件数
子どもに関する予算の拡充について	13
その他	22
合計	35

【参考：過去の調査時に多かった主な意見】

H30 調査時

アンケート調査について	5
税金の有効な使い方	2
全体的な行政サービスの向上	1

H25 調査時

アンケート調査について	8
行政サービスの地域間格差の解消	1

《資料編》 調査票について

小樽市子ども・子育て支援アンケート 【就学前児童用】

小樽市では、令和2年度に「第2期小樽市子ども・子育て支援事業計画（計画期間：令和2年～6年度）」を策定し、子育て支援施策の推進を図っていますが、この度「第3期小樽市子ども・子育て支援事業計画（令和7年度～11年度）」の策定に向けて、幼稚園や保育所、子育て支援事業などについての「現在の利用状況」や「今後の利用希望」などを把握するため、WEBアンケート調査を実施することといたしました。

日々のお仕事や子育てなどでお忙しいこととは思いますが、今後の子育て支援施策のために重要なアンケートになりますので、ぜひ、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和5年12月 小樽市長 迫 俊哉

- 本アンケートは問1～31の設問があります。回答時間は15分程度を想定しています。
回答を保存する「一時保存機能」もありますので、ご活用いただき、ご協力をお願い致します。

1 あて名のお子さんをご家族の状況

問1 お住まいの住所はどちらになりますか？地域を選択してください ※必須

- 蘭島、塩谷、オタモイ地域
- 手宮、高島地域
- 中央、山手地域
- 南小樽地域
- 朝里、銭函地域

蘭島、塩谷、オタモイ地域 当てはまる住所にチェックをつけてください ※必須

1. 蘭島 2. 忍路 3. 桃内 4. 塩谷
 5. オタモイ 6. 幸 7. 長橋 8. 旭町

手宮、高島地域 当てはまる住所にチェックをつけてください ※必須

9. 手宮 10. 末広町 11. 梅ヶ枝町 12. 錦町
 13. 清水町 14. 豊川町 15. 石山町 16. 色内3丁目
 17. 祝津 18. 赤岩 19. 高島

中央、山手地域 当てはまる住所にチェックをつけてください ※必須

20. 稲穂 21. 花園 22. 色内1・2丁目 23. 港町
 24. 堺町 25. 東雲町 26. 山田町 27. 相生町
 28. 入船1・2丁目 29. 富岡 30. 緑 31. 最上
 32. 松ヶ枝 33. 入船3～5丁目 34. 天狗山

南小樽地域 当てはまる住所にチェックをつけてください ※必須

35. 住ノ江 36. 住吉町 37. 有幌町 38. 信香町
 39. 若松 40. 奥沢 41. 天神 42. 真米
 43. 潮見台 44. 新富町 45. 勝納町 46. 若竹町
 47. 築港

朝里、銭函地域 当てはまる住所にチェックをつけてください ※必須

48. 桜 49. 船浜町 50. 朝里 51. 新光
 52. 望洋台 53. 新光町 54. 朝里川温泉 55. 張碓町
 56. 春香町 57. 桂岡町 58. 銭函 59. 見晴町
 60. 星野町

問2 あて名のお子さんの生年月をご入力ください。 ※必須

平成 令和

※必須

年

※必須

月 生まれ

問3 あて名のお子さんは何人きょうだいですか？ あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。 ※必須

1人 2人 3人 4人以上

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか？ あて名のお子さんからみた関係でお答えください。 ※必須

1. 母親 2. 父親

3. その他

問5 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。 ※必須

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか？（お子さんからみた関係で1つにチェック） ※必須

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母

5. その他

2 子どもの育ちをめぐる環境

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか？

預かってもらうことに関する状況とあわせてお答えください。（当てはまる番号全てにチェック）

※必須

- 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
- 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
- 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 5. いずれもない

【上記1.2を選択した場合】

預かってもらうことに関する状況をお答えください（当てはまる番号全てにチェック） ※必須

- 1. 祖父母等の負担を心配することなく、安心して預けられる
- 2. 祖父母等の身体的負担がとても心配である
- 3. 祖父母等の時間的制約や精神的負担が大きく心配である
- 4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境か、少し不安がある
- 6. その他

【上記3.4を選択した場合】

預かってもらうことに関する状況をお答えください（当てはまる番号全てにチェック） ※必須

- 1. 友人・知人の負担を心配することなく、安心して預けられる
- 2. 友人・知人の身体的負担がとても心配である
- 3. 友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である
- 4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境か、少し不安がある
- 6. その他

問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人（場所）はいますか（ありますか）？ ※必須

1. いる（ある） 2. いない（ない）

その相談先についてお答えください。（当てはまる番号全てにチェック） ※必須

1. 祖父母・叔父母等の親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設(子育て世代包括支援センター※1、地域子育て支援拠点※2、児童館等)
5. 保健所
6. 保育士
7. 幼稚園教諭
8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師
10. 自治体の子育て関連担当窓口
11. こども発達支援センター等※3
12. その他

※1 子育て世代包括支援センター…妊娠期から子育て期まで切れ目のないサポートを提供する「ワンストップ相談窓口」で、本市では、小樽市保健所内に開設しています。

※2 地域子育て支援拠点…本市では、地域子育て支援センターげんき(奥沢保育所)、風の子(赤岩保育所)、あそぼ(銭函保育所)、わくわく広場(朝里幼稚園)の各施設で、子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等の事業を行っています。

※3 こども発達支援センター等…お子さんの発達などに不安のある方が利用する施設です。

3 母親の就労状況

問9 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。（父子家庭などで、母親がいない場合は回答不要です）

問9-1 就労状況と就労時間【母親】

母親の「就労状況」と「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合はもっとも多いパターンについてお答えください。

※フルタイムとは1週5日程度、1日8時間程度の就労を、パート・アルバイト等とはそれ以外の就労をいいます。

- 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6. これまで就労したことがない

チェックを外す

1週あたりの就労日数をお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況でお答えください。 ※必須

- 1日 2日 3日 4日 5日
 6日 7日

就労時間をお答えください。おおよその時間でも結構です。

※産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況でお答えください。 ※必須

- 1時間 2時間 3時間 4時間 5時間
 6時間 7時間 8時間 9時間 10時間以上

問9-2 フルタイムへの転換希望【母親】

問9-1で「3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」または「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」にチェックを付けた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか？ ※必須

1. フルタイムへの転換希望があり、1年以内の実現できる見込みがある
 2. フルタイムへの転換希望はあるが、1年以内の実現できる見込みはない
 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問9-3 就労希望【母親】

問9-1で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」にチェックを付けた方にうかがいます。

就労したいという希望はありますか？ ※必須

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
 2. 1年以上先、一番下の子どもが（※）歳になったころに就労したい
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

※選択肢の2をチェックすると設問にある（※）歳の年齢を入力する欄が表示されます。

2と回答した方に伺います。一番下のお子さんが何歳になったら就労したいか、お子さんの年齢を入力してください。 ※必須

一番下の子どもが 歳になったら就労したい

上記で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」にチェックを付けた方にうかがいます。
希望する就労形態についてお答えください。 ※必須

1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）
2. パート、アルバイト等（フルタイム以外）

パート、アルバイト等（フルタイム以外）を選択した方にうかがいます。
希望する就労日数を入力してください ※必須

1週あたり 日

希望する就労時間を選択してください
※おおよその時間でも結構です ※必須

- 1時間 2時間 3時間 4時間 5時間
- 6時間 7時間 8時間 9時間 10時間以上

4 父親の就労状況

問10 父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。（母子家庭などで、父親がいない場合は回答不要です）

問10-1 就労状況と就労時間【父親】

父親の「就労状況」と「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合はもっとも多いパターンについてお答えください。

※フルタイムとは1週5日程度、1日8時間程度の就労を、パート・アルバイト等とはそれ以外の就労をいいます。

- 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6. これまで就労したことがない

チェックを外す

1週あたりの就労日数をお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況でお答えください。 ※必須

- 1日 2日 3日 4日 5日
 6日 7日

就労時間をお答えください。おおよその時間でも結構です。

※産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況でお答えください。 ※必須

- 1時間 2時間 3時間 4時間 5時間
 6時間 7時間 8時間 9時間 10時間以上

問10-2 フルタイムへの転換希望【父親】

問10-1で「3.パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」または「4.パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」にチェックを付けた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか？ ※必須

1. フルタイムへの転換希望があり、1年以内の実現できる見込みがある
 2. フルタイムへの転換希望はあるが、1年以内の実現できる見込みはない
 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問10-3 就労希望【父親】

問10-1で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」にチェックを付けた方にうかがいます。

就労したいという希望はありますか？ ※必須

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
 2. 1年以上先、一番下の子どもが（※）歳になったころに就労したい
 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

※選択肢の2をチェックすると設問にある（※）歳の年齢を入力する欄が表示されます。

2と回答した方に伺います。一番下のお子さんが何歳になったら就労したいか、お子さんの年齢を入力してください。 ※必須

一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

上記で「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」にチェックを付けた方にうかがいます。
希望する就労形態についてお答えください。 ※必須

1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）
2. パート、アルバイト等（フルタイム以外）

パート、アルバイト等（フルタイム以外）を選択した方にうかがいます。
希望する就労日数を入力してください ※必須

1週あたり 日

希望する就労時間を選択してください
※おおよその時間でも結構です ※必須

- 1時間 2時間 3時間 4時間 5時間 6時間
- 7時間 8時間 9時間 10時間以上

5 あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

次の設問以降に出てくる「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には幼稚園や保育所など、下記に示した事業が含まれます。

幼稚園	通常の就園時間の利用
幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ
認可保育所	法令で定める基準に適合し北海道知事の認可を受けた施設
認定こども園	幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設
事業所内保育施設	病院や企業が従業員用に運営する施設
認可外の保育施設	認可は受けていないが、北海道知事へ届け出た施設

●上記のほか、「教育・保育事業」には、「小規模な保育施設」「家庭的保育事業」「自治体の認証・認定保育施設」「居宅訪問型保育」がありますが、令和5年12月現在、本市ではいずれも実施していません。

問11 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか？ ※必須

1. 利用している 2. 利用していない

問11で「1. 利用している」にチェックを付けた方にうかがいます。

問11-1 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか？ ※必須

1. 小樽市内 2. 小樽市外

問11-2 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか？ 年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。

こちらから市内の保育所・幼稚園等の一覧を確認できます

表示する 表示を消す

利用しているものすべてにチェックしてください **※必須**

- 1. 幼稚園
- 2. 幼稚園の預かり保育
- 3. 認可保育所
- 4. 認定こども園
- 5. 事業所内保育施設
- 6. 認可外の保育施設
- 7. その他

問11-3 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、現在の利用時間と希望する利用時間をお答えください。

【現在の利用開始時間】 **※必須**

- 7時29分より前
- 7時30分から8時29分の間
- 8時30分以降

【現在の利用終了時間】 **※必須**

- 16時30分より前
- 16時31分～17時59分の間
- 18時00分以降

【希望の利用開始時間】 ※必須

- 7時29分より前
- 7時30分から8時29分の間
- 8時30分以降

【希望の利用終了時間】 ※必須

- 16時30分より前
- 16時31分～17時59分の間
- 18時00分以降

問11-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は何ですか？
(当てはまる番号すべてにチェック) ※必須

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労している
3. 子育てをしている方が就労予定である／休職中である
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育てをしている方が病気や障がいがある
6. 子育てをしている方が学生である
7. その他

問11-5 問11で「2. 利用していない」にチェックを付けた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか？（当てはまる番号すべてにチェック） ※必須

1. 利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）
2. 子どもの祖父母や親戚がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため、（※）歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他

※選択肢の8をチェックすると設問にある（※）歳の年齢を入力する欄が表示されます。

「8」を選択した方は、お子さんが何歳になったら利用したいか年齢を入力してください。 ※必須

子どもが 歳くらいになったら利用しようと考えている

問12 現在、利用している、利用していないに関わらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業で、「定期的に」利用したい事業は何ですか？（当てはまる番号全てにチェック）

- 1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
- 2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
- 3. 認可保育所（法令で定める基準に適合し、北海道知事の認可を受けた施設）
- 4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
- 5. 事業所内保育施設（病院や企業が従業員用に運営する施設）
- 6. 認可外の保育施設（認可は受けていないが、北海道知事へ届け出た施設）
- 7. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合し、市町村の認可を受けた定員概ね6～19名の施設）
- 8. 家庭的保育事業（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）
- 9. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
- 10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
- 11. ファミリー・サポート・センター
- 12. その他

問12-1 問12で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」にチェックを付け、かつ「3. 認可保育所」～「11. ファミリー・サポート・センター」にもチェックを付けた方にうかがいます。

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか？

※必須

1. はい 2. いいえ

問12-2 教育・保育事業を利用したい場所はどちらですか？

1. 小樽市内 2. 小樽市外

チェックを外す

「2. 小樽市外」にチェックを付けた方はその理由をお答えください。

1. 希望する教育・保育事業がない
2. 勤務地が小樽市以外である
3. 利便性（距離が近いなど）
4. その他

6 あて名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

問13 あて名のお子さんについて、土・日・祝日及び春・夏・冬休みなどの長期休暇中における定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか？（一時的な利用は除く） 利用希望の有無をお答えください。

【土曜日】 ※必須

- 1. ほぼ毎週利用したい
- 2. 月に1～2回利用したい
- 3. 利用する必要はない

【日曜日・祝日】 ※必須

- 1. ほぼ毎週利用したい
- 2. 月に1～2回利用したい
- 3. 利用する必要はない

「2.月に1～2回利用したい」を選択した方

たまに利用したい理由は何ですか？（当てはまる番号すべてにチェック） ※必須

- 1. 月に数回仕事が入るため
- 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
- 3. 親族の介護や手伝いが必要なため
- 4. 息抜きのため
- 5. その他

【長期休暇中（幼稚園利用者のみ回答してください）】 ※必須

- 1. ほぼ毎日利用したい
- 2. 週に数日利用したい
- 3. 利用する必要はない

「2. 週に数日利用したい」を選択した方
たまに利用したい理由は何ですか？（当てはまる番号すべてにチェック） ※必須

- 1. 週に数回仕事が入るため
- 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
- 3. 親族の介護や手伝いが必要なため
- 4. 息抜きのため
- 5. その他

7 あて名のお子さんの病気の際の対応 (平日の教育・保育事業を利用している方のみ)

問14 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問11で「1.利用している」にチェックを付けた方）にうかがいます。

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できず、仕事を休むなどの対応をとる必要がありましたか？ **※必須**

1. あった 2. なかった

必要があった場合は、この1年間に行った対処方法にチェックを付けてください。（当てはまる番号全てにチェック） **※必須**

- ア. 父親が休んだ
- イ. 母親が休んだ
- ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった
- エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた
- オ. 病児・病後児の保育を利用した
- カ. ベビーシッターを利用した
- キ. ファミリーサポートセンターを利用した
- ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた
- ケ. その他

おおよその日数をお答えください（半日の場合も1日とカウントしてください）。

ア. 父親が休んだ **※必須**

日

イ. 母親が休んだ **※必須**

日

ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった ※必須

 日

エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた ※必須

 日

オ. 病児・病後児の保育を利用した ※必須

 日

カ. ベビーシッターを利用した ※必須

 日

キ. ファミリーサポートセンターを利用した ※必須

 日

ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた ※必須

 日

ケ. その他 ※必須

 日

問14-1 問14で「ア.父親が休んだ」「イ.母親が休んだ」のいずれかにチェックを付けた方にうかがいます。

その際、できれば「病児・病後児保育事業」を利用したいと思われましたか？ ※必須

1. できれば利用したいと思った
2. 利用したいとは思わなかった

希望日数を入力してください ※必須

 日

利用したい事業形態をお選びください。（当てはまる番号全てにチェック） ※必須

- ア. 他の施設（例：幼稚園、保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業
- イ. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
- ウ. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリーサポートセンター等）
- エ. その他

利用したいと思わなかった理由をお答えください。（当てはまる番号全てにチェック） ※必須

- ア. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
- イ. 地域のサポート事業の質に不安がある
- ウ. 利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
- エ. 利用料がかかる・高い
- オ. 利用料がわからない
- カ. 親が仕事を休んで対応する
- キ. その他

8 あて名のお子さんの不特定の教育・保育事業や、宿泊を伴う一時預かり等の利用

問15 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか？（当てはまる番号全てにチェック）

※必須

1. 一時預かり保育（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）
2. 幼稚園の預かり保育（通常就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）
3. ファミリーサポートセンター（地域住民の会員組織の仕組みにより子どもを預かる事業）
4. 短期入所生活援助事業：ショートステイ（児童養護施設等で一時的に子どもを預かる事業）
5. ベビーシッター
6. その他
7. 利用していない

※令和5年12月現在、本市では、「夜間養護等事業：トワイライトステイ」は行っていません。

1年間の利用日数（おおよそ）をお答えください。

1. 一時預かり保育 ※必須

日

2. 幼稚園の預かり保育 ※必須

日

3. ファミリーサポートセンター ※必須

日

4. 短期入所生活援助事業：ショートステイ ※必須

 日

5. ベビーシッター ※必須

 日

6. その他 ※必須

 日

問15-1 問15で「7. 利用していない」にチェックを付けた方にうかがいます。
現在利用していない理由は何ですか？（当てはまる番号すべてにチェック） ※必須

- 1. 特に利用する必要がない
- 2. 利用したい事業が地域にない
- 3. 地域の事業の質に不安がある
- 4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない
- 5. 利用料がかかる・高い
- 6. 利用料がわからない
- 7. 自分が事業の対象になるかどうかわからない
- 8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
- 9. その他

問16 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、問15で挙げた事業※を利用したいと思いますか？

※一時預かり保育、幼稚園の預かり保育、ファミリーサポートセンター、短期入所生活援助事業：ショートステイ、ベビーシッター等 ※必須

1. 利用したい 2. 利用する必要はない

利用したい場合は、どのような場合に利用したいですか。

なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（当てはまる番号全てにチェック）

※必須

ア. 私用(買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等)、リフレッシュ目的

イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等

ウ. 不定期の就労

エ. その他

1年間の利用希望日数（おおよそ）をお答えください。

ア. 私用(買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等)、リフレッシュ目的 ※必須

日

イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等 ※必須

日

ウ. 不定期の就労 ※必須

日

エ. その他 ※必須

日

問16-1 問16で「1.利用したい」にチェックを付けた方にうかがいます。

問16の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか？

(当てはまる番号すべてにチェック) ※必須

1. 大規模施設で子どもを保育する事業 (例：幼稚園・保育所等)
2. 小規模施設で子どもを保育する事業 (例：地域子育て支援拠点等)
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業 (例：ファミリーサポートセンター等)
4. その他

問17 保護者の用事 (冠婚葬祭、保護者・家族の病気など) により、あて名のお子さんを泊りがけで年間何日くらい家族以外 (短期入所生活援助事業：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業) に預ける必要があると思いませんか？ ※必須

1. 利用したい 2. 利用する必要はない

「1.利用したい」場合は、年間の希望として当てはまるものにチェックを付けそれぞれの泊数を入力してください。

なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

(当てはまる番号全てにチェック) ※必須

- ア. 冠婚葬祭
- イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安
- ウ. 保護者や家族の病気
- エ. その他

年間の希望としてそれぞれ泊数を入力してください

ア.冠婚葬祭 ※必須

泊

イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安 ※必須

泊

ウ. 保護者や家族の病気 ※必須

泊

エ. その他 ※必須

泊

9 あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況

問18 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点※事業を利用していますか？ ※必須

1. 利用している 2. 利用していない

※地域子育て支援拠点…本市では、地域子育て支援センターげんき（奥沢保育所）、風の子（赤岩保育所）、あそぼ（銭函保育所）、わくわく広場（朝里幼稚園）の各施設で、子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等の事業を行っています。

利用している場合は、おおよその利用回数をお答えください。
なお、事業の内容によっては、利用料がかかるものもあります。 ※必須

1. 週に3回以上
 2. 週に2回
 3. 週に1回
 4. 月に1～3回

問19-1 今後の地域子育て支援拠点事業の利用希望についてお答えください。 ※必須

1. 利用日数を増やしたい 2. 特に希望はない

利用希望回数（おおよそ）をお答えください。 ※必須

1. 週に3回以上
 2. 週に2回
 3. 週に1回
 4. 月に1～3回

問19-2 地域子育て支援拠点事業について、今後の利用希望の有無をお答えください。 ※必須

1. これから利用したい 2. 特に希望はない

利用希望回数（おおよそ）をお答えください。 ※必須

1. 週に3回以上
 2. 週に2回
 3. 週に1回
 4. 月に1～3回

10 あて名のお子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方

あて名のお子さんが令和6年4月小学校入学予定の方への質問です。 **※必須**

1. 令和6年4月に小学校入学します。
2. 対象のお子さんが居ない場合にはこちらにチェックをつけてお進みください

問20 あて名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか？ 場所と日数について、それぞれお答えください。（当てはまる番号全てにチェック） **※必須**

1. 自宅
2. 祖父母宅や友人・知人宅
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）
4. 児童館（児童センター） ※1
5. 放課後子ども教室 ※2
6. 放課後児童クラブ ※3
7. ファミリーサポートセンター ※4
8. 放課後等デイサービス（こども発達支援センターなど） ※5
9. その他（図書館、公園など）

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用する場合は「6」にチェックを付けてください。

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校などで学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組ですが、本市では行っておりません。

※3 「放課後児童クラブ」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、クラブ指導員の下で、子どもに生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※4 「ファミリーサポートセンター」…地域住民の会員組織の仕組みにより子どもを預かる事業です。日常の預り30分300円などの料金設定があります。

※5 「放課後等デイサービス（こども発達支援センターなど）」…お子さんの発達などに不安のある方が利用する施設です。

1週当たりの希望日数を入力してください

1. 自宅 ※必須

週 日くらい

2. 祖父母宅や友人・知人宅 ※必須

週 日くらい

3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） ※必須

週 日くらい

4. 児童館（児童センター） ※必須

週 日くらい

5. 放課後子ども教室 ※必須

週 日くらい

6. 放課後児童クラブ ※必須

週 日くらい

「放課後児童クラブ」の場合は、下校時から何時まで利用したいかお答えください。 ※必須

16時まで 17時まで 18時まで 19時まで

7. ファミリーサポートセンター ※必須

週 日くらい

8. 放課後等デイサービス（こども発達支援センターなど） ※必須

週 日くらい

9. その他（図書館、公園など） ※必須

週 日くらい

問21 あて名のお子さんが小学校高学年（4～6年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか？ 場所と日数について、それぞれお答えください。（当てはまる番号全てにチェック） ※必須

- 1. 自宅
- 2. 祖父母宅や友人・知人宅
- 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）
- 4. 児童館（児童センター） ※1
- 5. 放課後子ども教室 ※2
- 6. 放課後児童クラブ ※3
- 7. ファミリーサポートセンター ※4
- 8. 放課後等デイサービス（こども発達支援センターなど） ※5
- 9. その他（図書館、公園など）

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用する場合は「6」にチェックを付けてください。

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校などで学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組ですが、本市では行っておりません。

※3 「放課後児童クラブ」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、クラブ指導員の下で、子どもに生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※4 「ファミリーサポートセンター」…地域住民の会員組織の仕組みにより子どもを預かる事業です。日常の預り30分300円などの料金設定があります。

※5 「放課後等デイサービス（こども発達支援センターなど）」…お子さんの発達などに不安のある方が利用する施設です。

1週当たりの希望日数を入力してください

1. 自宅 ※必須

週 日くらい

2. 祖父母宅や友人・知人宅 ※必須

週 日くらい

3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） ※必須

週 日くらい

4. 児童館（児童センター） ※必須

週 日くらい

5. 放課後子ども教室 ※必須

週 日くらい

6. 放課後児童クラブ ※必須

週 日くらい

「放課後児童クラブ」の場合は、下校時から何時まで利用したいかお答えください。 **※必須**

16時まで 17時まで 18時まで 19時まで

7. ファミリーサポートセンター ※必須

週 日くらい

8. 放課後等デイサービス（こども発達支援センターなど） ※必須

週 日くらい

9. その他（図書館、公園など） ※必須

週 日くらい

問22 問20または問21で「6. 放課後児童クラブ」にチェックを付けた方にうかがいます。
あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、長期休業期間（春・夏・冬休み）中の放課
後児童クラブの利用希望はありますか？
（事業の利用には、前記のとおり一定の利用料がかかります）
利用希望の有無と利用したい時間帯について、それぞれお答えください。

【土曜日】 ※必須

- 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
- 2. 高学年（4年生）まで利用したい
- 3. 高学年（5年生）まで利用したい
- 4. 高学年（6年生）まで利用したい
- 5. 利用する必要はない

利用したい時間帯 ※必須

時から

（例）9時～16時のように24時間制で
記入 ※必須

時まで

【日曜日・祝日】 ※必須

- 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
- 2. 高学年（4年生）まで利用したい
- 3. 高学年（5年生）まで利用したい
- 4. 高学年（6年生）まで利用したい
- 5. 利用する必要はない

※現在、日曜日・祝日に放課後児童クラブは開設していません。

利用したい時間帯 **※必須**

時から

（例）9時～16時のように24時間制で
記入 **※必須**

時まで

【長期休業期間（春・夏・冬休み）】 ※必須

- 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
- 2. 高学年（4年生）まで利用したい
- 3. 高学年（5年生）まで利用したい
- 4. 高学年（6年生）まで利用したい
- 5. 利用する必要はない

利用したい時間帯 **※必須**

時から

（例）9時～16時のように24時間制で
記入 **※必須**

時まで

11 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について

問23 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか？

【母親についてお答えください】

1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である）
3. 取得していない

チェックを外す

取得していない理由をお選びください。（当てはまる番号全てにチェック） ※必須

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所（園）などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
15. その他

問24 問23で「2. 取得した（取得中である）」にチェックを付けた方にうかがいます。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか？ ※必須

- 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
- 2. 現在も育児休業中である
- 3. 育児休業中に離職した

問25 問25-1～問25-6までは、問24で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」にチェックを付けた方にうかがいます。

問25-1 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか、あるいはそれ以外でしたか？
※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。 ※必須

- 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
- 2. それ以外だった

問25-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか？
【実際の取得期間】 ※必須

- 6ヶ月未満
- 6ヶ月～1歳未満
- 1歳～1歳6ヶ月未満
- 1歳6ヶ月～2歳未満
- 2歳以上

お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか？
【希望の取得期間】 ※必須

- 6ヶ月未満
- 6ヶ月～1歳未満
- 1歳～1歳6ヶ月未満
- 1歳6ヶ月～2歳未満
- 2歳以上

問25-3 問25-2で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。
職場復帰の状況についてお答えください。 ※必須

- 「希望」より早く復帰した方
- 「希望」より遅く復帰した方
- 希望通り復帰できた→そのまま次の設問をお進みください

「希望」より早く復帰した理由についてお答えください。（当てはまる番号全てにチェック）
※必須

- 1. 希望する保育所に入るため
- 2. 配偶者や家族の希望があったため
- 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
- 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
- 5. その他

「希望」より遅く復帰した理由についてお答えください。（当てはまる番号全てにチェック）
※必須

- 1. 希望する保育所に入れなかったため
- 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
- 3. 配偶者や家族の希望があったため
- 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
- 5. 子どもをみてる人がいなかったため
- 6. その他

問25-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか？ ※必須

- 6ヶ月未満
- 6ヶ月～1歳未満
- 1歳～1歳6ヶ月未満
- 1歳6ヶ月～2歳未満
- 2歳以上～3歳未満
- 3歳以上～4歳未満

問25-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか？ ※必須

- 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともとフルタイムだった）
- 2. 利用した
- 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問25-6 問25-5で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」にチェックを付けた方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか？（当てはまる番号全てにチェック） ※必須

- 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
- 2. 仕事が忙しかった
- 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
- 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
- 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
- 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 7. 子育てや家事に専念するため退職した
- 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
- 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
- 10. その他

問26 問24で「2. 現在も育児休業中である」にチェックを付けた方にうかがいます。
あて名のお子さんが1歳になったときに預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか？ または、このような事業があっても1歳になる前に復帰しますか？

【母親についてお答えください】 ※必須

- 1歳になるまで育児休業を取得したい
- 1歳になる前に復帰したい

問23 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか？

【父親についてお答えください】

- 1. 働いていなかった
- 2. 取得した（取得中である）
- 3. 取得していない

チェックを外す

取得していない理由をお選びください。（当てはまる番号全てにチェック） ※必須

- 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- 2. 仕事が忙しかった
- 3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった
- 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
- 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
- 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 7. 保育所（園）などに預けることができた
- 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
- 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 10. 子育てや家事に専念するため退職した
- 11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
- 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
- 14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
- 15. その他

問24 問23で「2. 取得した（取得中である）」にチェックを付けた方にうかがいます。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか？ ※必須

- 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
- 2. 現在も育児休業中である
- 3. 育児休業中に離職した

問25 問25-1～問25-6までは、問24で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」にチェックを付けた方にうかがいます。

問25-1 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか、あるいはそれ以外でしたか？
※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。 ※必須

- 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
- 2. それ以外だった

問25-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか？
【実際の取得期間】 ※必須

- 6ヶ月未満
- 6ヶ月～1歳未満
- 1歳～1歳6ヶ月未満
- 1歳6ヶ月～2歳未満
- 2歳以上

お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか？
【希望の取得期間】 ※必須

- 6ヶ月未満
- 6ヶ月～1歳未満
- 1歳～1歳6ヶ月未満
- 1歳6ヶ月～2歳未満
- 2歳以上

問25-3 問25-2で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。
職場復帰の状況についてお答えください。 ※必須

- 「希望」より早く復帰した方
- 「希望」より遅く復帰した方
- 希望通り復帰できた→そのまま次の設問をお進みください

「希望」より早く復帰した理由についてお答えください。（当てはまる番号全てにチェック） ※必須

- 1. 希望する保育所に入るため
- 2. 配偶者や家族の希望があったため
- 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
- 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
- 5. その他

「希望」より遅く復帰した理由についてお答えください。（当てはまる番号全てにチェック） ※必須

- 1. 希望する保育所に入れなかったため
- 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
- 3. 配偶者や家族の希望があったため
- 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
- 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
- 5. その他

問25-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか？ ※必須

- 6ヶ月未満
- 6ヶ月～1歳未満
- 1歳～1歳6ヶ月未満
- 1歳6ヶ月～2歳未満
- 2歳以上～3歳未満
- 3歳以上～4歳未満

問25-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか？ ※必須

- 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともとフルタイムだった）
- 2. 利用した
- 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問25-6 問25-5で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」にチェックを付けた方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか？（当てはまる番号全てにチェック） ※必須

- 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
- 2. 仕事が忙しかった
- 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
- 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
- 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
- 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 7. 子育てや家事に専念するため退職した
- 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
- 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
- 10. その他

問26 問24で「2. 現在も育児休業中である」にチェックを付けた方にうかがいます。

あて名のお子さんが1歳になったときに預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか？ または、このような事業があっても1歳になる前に復帰しますか？ ※必須

- 1歳になるまで育児休業を取得したい
- 1歳になる前に復帰したい

12 その他

問27 理想とするお子さんの人数は何人ですか。 ※必須

- 1人 2人 3人 4人以上

問28 お子さんの実際の人数（これからの予定がある場合も含む）が理想とする人数より少ない方にお聞きします。お子さんの実際の人数（これからの予定がある場合も含む）が理想とする人数より少ない理由はなんですか。（主なもの3つまでにチェック）

1. 配偶者の理解や子育ての協力が得られない
2. 親の協力が得られない
3. 子育てや教育にかかる費用が高い
4. 子育てと仕事の両立が難しい
5. 子育ての心理的・身体的負担が大きい
6. 出産や子育てをする年齢に不安がある
7. その他

問29 本市の子育ての環境や支援への満足度について、お答えください。 ※必須

1. 満足度が低い 2. 満足度がやや低い 3. どちらでもない 4. 満足度がやや高い 5. 満足度が高い

問30 小樽市の少子化対策に向けて、結婚や出産、子育てしやすい環境をつくるには、どのようなサポートが重要だと思いますか。（主なものを5つまでにチェック） ※必須

- 1. 男女の出会いの場の提供や結婚に関する相談体制の充実
- 2. 夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実
- 3. 結婚や出産、子育てがしやすい税制や社会保障の充実
- 4. 安定した住居の供給、住宅に対する補助支援
- 5. 出産施設や周産期医療体制の充実
- 6. 妊娠・出産・子育てに関する相談・地域のサポート体制の充実
- 7. 妊娠・出産時の経済的負担の軽減
- 8. 子育てに係る経済的な支援
- 9. 産休・育休制度の充実
- 10. 長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、自由な時間や育児時間の確保
- 11. 保育所・児童館の整備やサービス内容の充実
- 12. 学校などの教育環境の充実
- 13. 子どもの安全を確保する対策の充実（交通事故や犯罪、インターネット・SNSによるトラブルなどへの対策）
- 14. 小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制
- 15. 子どもが安心して過ごせる公園や施設などの環境の整備
- 16. 親子が安心して集まって交流ができる場などの整備
- 17. 市内施設における授乳・おむつ替えスペースの整備
- 18. その他

問31 普段、本市の子育てに関する情報をどこから入手していますか？（主なもの3つまでにチェック）

- 1. 広報おたる
- 2. 小樽市子育てガイドブック
- 3. 新聞
- 4. 民間発行の情報誌（フリーペーパーを含む）
- 5. 小樽市ホームページ
- 6. 市以外のホームページ
- 7. 小樽市公式LINE
- 8. おたる子育て応援アプリ（母子モ）
- 9. Facebook小樽市公式アカウント
- 10. SNS（Instagram、X(Twitter)、TikTokなど）
- 11. その他

最後に、本市の子育て支援の取組について、ご意見がございましたらご記入ください。

第三期小樽市子ども・子育て支援事業計画

ニーズ調査結果報告書

令和6年3月

発行 小樽市（こども未来部子育て支援課）

〒047-8660 北海道小樽市花園2丁目12番1号

電話 0134-32-4111